

Ⅲ. 医療経営統計

1. 医療経営統計

項目名		月平均		
		2013年	2014年	2015年
日数	日数(入院)	30.4	30.4	30.4
	日数(外来)	23.8	23.8	23.4
入院一般	実働病床数	330	315.0	325.0
	入院数	633	681.3	679.2
	法人内	14.8	15.9	20.3
	法人外	25.8	37.6	61.3
	退院数	620	674.3	662.7
	入院在院患者	7,702	7,299	7,440
	入院延患者数	8,322	7,973	8,103
	病棟一日当患者数	273.7	245.5	244.6
	平均在院日数(公式)	13.2	11.1	11.2
	占床率	83.2	85.9	82.0
	入院件数	857	889	872
	入院日数	8,172	7,967	7,924
	入院点数(千点)	43,507	42,620	44,748
	件当日	9.5	9.0	9.0
	入院 日当点	5,323	5,349	5,651
	入院 件当点	50,735	47,929	51,315
	入院回リハ	実働病床数	50.0	50.0
入院数		11.4	10.2	9.3
退院数		22.3	20.5	22.8
入院在院患者		1,424	1,405	1,390
入院延患者数		1,447	1,426	1,413
病棟一日当患者数		47.6	46.4	45.7
平均在院日数(公式)		58.2	63.0	61.5
占床率		95.1	93.8	92.9
入院件数		68.7	66.0	64.8
入院日数		1,600	1,564	1,527
入院点数(千点)		5,690	5,865	5,751
件当日	23.3	23.8	23.7	
入院 日当点	3,553	3,750	3,763	
入院 件当点	82,874	89,030	89,074	
入院緩和ケア	実働病床数	24.0	24.0	24.0
	入院数	13.0	13.2	17.9
	退院数	15.0	19.7	24.6
	入院在院患者	314	327	369
	入院延患者数	329	347	394
	病棟一日当患者数	10.6	10.9	12.1
	平均在院日数(公式)	29.3	22.7	18.3
	占床率	44.2	47.5	53.8
	入院件数	24.0	29.2	36.7
	入院日数	303	432	457
	入院点数(千点)	1,509	2,033	2,256
件当日	12.6	15.1	12.5	
入院 日当点	4,981	41,712	49,412	
入院 件当点	62,890	70,815	61,913	
外来	外来延患者数	24,488	24,459	23,952
	外来一日当患者数	1,033	1,032	1,025
	初診回数	2,678	2,491	2,354
	外来件数	15,287	15,097	15,060
	外来日数	21,765	21,397	21,453
	外来点数(千点)	21,099	21,045	21,184
	件当日	1.4	1.4	1.4
	外来 日当点	969	984	988
	外来 件当点	1,380	1,394	1,406
	外来組合員利用率	91.2%	90.4%	90.3%
	紹介新患	紹介受入患者数	470	668
紹介先数		360	375	465
救急搬入患者数		278	273	256
新患数		827	814	792
初診数		2,678	2,491	2,354
紹介率%		25.0	31.5	33.9
逆紹介率%		13.2	15.1	15.5
紹介率計%		38.2	46.7	49.4

項目名		月平均			
		2013年	2014年	2015年	
在宅	往診件数	78.3	65.8	57.5	
	往診 延回数	120.7	99.5	92.3	
健診	健康づくり健診	42.8	38.1	35.4	
	特定健診	279	288.5	306.6	
	国保 人間ドック	192	195.2	206.8	
	その他 人間ドック	68	63.3	66.0	
	事業所 健診	1,279	1,212.3	1,246.1	
	被爆者 健診	9.9	9.1	9.1	
	職員 健診	127	142.3	144.6	
	オプション健診のみ	305	344.3	346.8	
	実施件数合計	2,544	2,412.3	2,361.3	
	胃ガン 検診	725	803.3	835.8	
	大腸ガン 検診	1,309	1,285.8	1,296.8	
	子宮ガン 検診	349	336.9	355.0	
	乳ガン 検診	326	365.3	364.5	
	エコー 検診	315	318.3	353.7	
	骨粗鬆症 検診	51	53.9	50.2	
	前立腺 検診	79	74.4	79.5	
	乳幼児 検診	185	164.3	145.3	
	健診・胸部X P	1,994	1,944	2,015	
	健診・上部消化管	708	670	694	
健診・腹エコー	303	306	339		
相談	M S W相談のべ件数	1,051	1,023	1,023	
	M S W相談実件数	599	602	609	
職員	職員数(常勤)	596	606.3	607.7	
	職員数(非常勤)	209	211.1	203.0	
	医師数(常勤)	73.3	73.8	68.5	
	医師数(非常勤)	25.4	29.1	26.2	
	一人当り月収(千円)	1,020	1,035.3	1,049.1	
医師一人当り月収	8,317	8,234.2	8,970.6		
検査	尿一般件数	4,137	4,129	4,164	
	総検体数	11,655	11,317	11,820	
	心電図(ECG)	1,049	1,021	1,006	
	ホルター心電計	61.5	69	73	
	エコー(腹部)	378	369	379	
	エコー(乳房)	215	155	198	
	エコー(甲状腺)	21.6	22	14	
	心エコー(UCG)	250	236	262	
	頸動脈エコー	110	129	131	
	マンモグラフィ	138	98	138	
	眼底カメラ	42.1	48	40	
	トレッドミル	26.2	26	27	
	細菌・培養件数	1,360	1,340	1,410	
	細菌・総件数	2,665	2,659	2,701	
	病理・細胞診件数	581	576	602	
	病理・組織件数	452	428	389	
	放射線	単純撮影(胸部)	1,537	1,540	1,529
		造影(上部消化管)	15.9	15.2	15.1
		造影(下部消化管)	18.4	17.8	15.7
C T 件数		1,212	1,217	1,242	
C T(頭部)		273	253	271	
C T(胸腹部)造影なし		561	595	560	
C T(胸腹部)造影あり		276	247	289	
M R I	512	479	464		
内視鏡	ファイバー(胃)(GIF)	540	536	520	
	ファイバー(大腸)(CF)	184	195	199	
	ファイバー(肺)(BF)	10.5	10.8	8.6	
	血管造影(腹部・他)	20.1	15.5	14.3	
血管造影(心臓)	24.1	25.4	22.2		

項目名		月平均		
		2013年	2014年	2015年
薬 劑	処方箋枚数 (入)	4,100	4,362	5,542
	調剤剤数 (入)	10,572	10,625	11,971
	処方箋枚数 (外)	521	477	440
	調剤剤数 (外)	898	799	756
	院外処方箋枚数	15,131	14,740	14,653
	院外発行率%	96.4	96.9	97.1
	薬剤管理指導(350×)	1,234	1,470.6	1,860.3
食 養	患者給食数	23,102	22,839	23,605
	特別食	10,907	10,339	9,640
	食生活相談 (入院)	413	382	285
	食生活相談 (外来)	340	357	336
リ ハ ビ リ	P T (入院)	4,472	4,116	4,512
	O T (入院)	1,447	1,602	1,666
	S T (入院)	436	515	473
	P T (外来)	188	239	246
	O T (外来)	44.2	59.7	80.5
	S T (外来)	21.5	20.2	11.3
透 析	透析 実数	65.8	73.7	76.6
	透析 延べ数	743	851.8	892.9
手 術	手術室 手術件数	181	185.8	198.7
	全身麻酔 管理	119	120.2	124.1
	外科	56.1	56.4	57.6
	整形外科	67.7	66.3	76.7
	産婦人科	25.5	23.4	25.4
	眼科	19.5	19.5	20.1
	泌尿器科	12.0	17.6	18.3
	皮膚科 (外来)	25.4	21.1	20.8
	皮膚科(ケミカルピーリング)	14.8	14.5	14.2
	分娩	分娩数	40.3	41.4
化 療	外来化療 実人数	31.3	22.3	33.5
	延べ回数	41.0	30.0	49.4
死 亡	死亡患者数 (院内)	24.1	29.5	31.9
	死亡患者数 (外来)	3.8	4.1	3.8
	死亡患者数 (在宅)	4.2	3.9	2.9
	剖検数(外来死亡含む)	0.9	0.8	1.0

項目名		月平均		
		2013年	2014年	2015年
患 者 1 0 0 0 人 当 各 種 検 査 実 施 件 数	尿一般件数	126	127.4	130.0
	総検体数	355	348.5	368.9
	心電図 (ECG)	32.0	31.5	31.4
	ホルター心電計	1.9	2.1	2.3
	エコー (腹部)	11.5	11.4	11.8
	エコー (乳房)	6.6	4.8	6.2
	エコー (甲状腺)	0.7	0.7	0.4
	心エコー (UCG)	7.6	7.3	8.2
	トレッドミル	0.8	0.8	0.8
	細菌・培養件数	41.4	41.4	43.9
	細菌・総件数	81.2	82.0	84.1
	病理・細胞診件数	17.7	17.8	18.8
	病理・組織件数	11.9	11.3	10.2
	単純撮影 (胸部)	46.9	48.0	47.7
	造影 (上部消化管)	21.9	21.1	0.5
	造影 (下部消化管)	0.6	0.5	0.5
	C T 件数	36.9	37.7	38.7
	C T (頭部)	8.3	7.9	8.4
	C T (胸部)	17.1	18.4	17.5
	C T (腹部)	8.4	7.7	9.0
M R I	15.6	12.6	14.5	
ファイバー(胃) (GIF)	16.5	13.9	16.2	
ファイバー(大腸) (CF)	5.6	5.2	6.2	
ファイバー(肺) (BF)	0.3	0.3	0.3	
血管造影 (腹部・他)	0.6	0.4	0.4	
血管造影 (心臓)	0.7	0.7	0.7	

2. 医療の質の改善

(1) 医療の質改善の指標 領域一覧 (2015年度)

領域番号	領域名称	S	P	O
0	基礎情報 (共通分母)	/	/	/
1-1	医療機能・教育研修・パートナーシップと患者満足	-	6	5
1-2	安全管理・感染制御	-	7	6
2-1	入院医療の状況・標準的・効率的医療、治療の成功	1	5	6
2-2	入院患者の看護ケア・栄養管理	-	2	2
2-3	HCUの状況	1	1	1
2-4	回復期リハビリテーション病棟の状況	-	1	2
2-5	総合内科病棟の状況	-	1	2
3-1	外来医療の状況	2	1	0
3-2	救急医療の状況	4	7	2
3-3	在宅医療の状況	2	0	2
4-1	地域連携の状況	1	3	0
4-2	療養支援・相談機能	-	4	2
5	医療記録の適切性	-	3	0
6	保健予防・ヘルスプロモーション	2	8	8
7-1	呼吸器内科	1	2	2
7-2	消化器外科・呼吸器外科・乳腺外科	-	7	8
7-3	消化器内科	1	9	5
7-4	整形外科	1	1	2
7-5	産婦人科	1	5	3
7-6	小児科	2	2	2
7-7	循環器内科	-	5	1
7-8	泌尿器科・透析	1	4	2
7-9	糖尿病内科	-	3	2
7-10	皮膚科	-	2	0
7-11	耳鼻咽喉科	-	0	0
7-12	眼科	-	3	0
7-13	精神科	2	2	0
7-14	緩和ケア内科	-	1	2
7-15	がん診療	4	5	0
7-16	被爆者医療	1	1	0
8-1	臨床検査の機能	-	3	1
8-2	画像診断の機能	-	2	1
8-3	薬剤管理の機能	-	4	4
8-4	リハビリテーションの機能	-	6	1
8-5	栄養管理の機能	-	1	1
8-6	医療機器管理の機能	-	0	1
9-1	診療報酬管理・医療整備	-	2	0
9-2	医療情報と情報システムの管理	-	1	0
9-3	経営管理・労務管理・環境管理	6	8	5
10	専門・認定資格・体制	41	-	-
	計	31	126	79

2015年1～12月測定値 (2016/5/28)

(2) 基礎情報

共通分母	2013年	2014年	2015年
病床数	401	401	401
一般病床数(回復期リハ以外)	351	351	327
回り八病床数	50	50	50
ICU(再掲)	4	4	24
小児科病床(再掲)	12	12	4
緩和ケア病棟(再掲)	0	24	12
外来実患者数	53,364	52,627	52,679
外来延べ患者数	293,853	299,937	292,050
初診患者数	32,131	29,891	28,247
新規登録患者数	9,920	9,767	9,502
期始在院患者数	3,526	3,443	231
新入院患者数	7,740	8,353	8,476
一般病床新入院患者数	7,590	8,074	8,150
回り八病床新入院患者数	137	121	111
緩和ケア病床入院患者数	13	158	215
退院患者数	7,725	8,349	8,497
一般病床退院患者数	7,442	7,868	7,951
回り八病床退院数	268	245	251
緩和ケア病床退院数	15	236	295
65歳以上退院患者数	4,329	4,764	4,973
外来診療日数	285	284	281
入院診療日数	365	365	365
在院患者延べ数(全病棟)	110,613	116,746	118,917
在院患者延べ数(一般病棟)	100,004	95,470	97,236
在院患者延べ数(回り八病棟)	17,361	17,110	16,959
在院患者延べ数(緩和ケア病棟)	329	4,166	4,722
退院患者の総在院日数	119,512	118,648	119,960
一般病床退院患者の総在院日数	97,750	92,438	92,886
回り八病床退院患者の総在院日数	20,974	20,432	20,985
緩和ケア病床退院患者の総在院日数	515	5,778	6,089
産科小児科除く退院患者数	6,613	6,693	6,886
産科小児科除く退院患者在院日数	109,969	104,638	107,100
分娩数	537	452	522
新生児数	537	452	528
常勤職員数	603	600	608
非常勤職員数(常勤換算)	228	219	203
常勤医師数	68	73	70
非常勤医師数(常勤換算)	24	29	26
常勤看護師数	269	279	279
非常勤看護師数(常勤換算)	48	57	61
医療技術系職員数	171	185	181
全職員数	821	821	839

(3) 医療指標 2015年 測定値

■1-1■ 医療機能・教育研修・パートナーシップと患者満足

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
1-1-P2	採用薬品数、新規採用検討数	採用薬品数	採用薬品の数(剤型、規格別)	—	1,401品目	1,407品目	1,408品目
		新規採用数	ジェネリックへの変更含む	—	62品目	69品目	51品目
1-1-P4	剖検とCPC	死亡退院に対する剖検実施率	剖検数	死亡退院数	2.8%	2.0%	3.1%
		CPC実施率	CPC実施数	剖検数	63%	38%	25%
1-1-P8	学会への参加と発表	発表数	学会への発表数(筆頭のみ)	—	38	32	41
1-1-P9	カンファレンス記録数	病棟、外来、診療科	カンファレンス記録(テンプレート)で記録された数	—	5,899	2,727	7,922
		医療チーム	チームカンファレンス・ラウンドの記録(ICT、NST、RST、褥瘡、がんサーボード、緩和ケア)	—			440
		問題解決が記載されたもの	カンファレンス記録のうち方針が記載されたもの	—			1,187
1-1-P12	カルテ開示数	実施数	カルテ開示実施数	—	12	26	29
1-1-P13	マイかるて	新規登録数	マイかるて新規登録者の数	—	233人	233人	428人
1-1-O1	患者満足度(外来患者)	回収率	回収数	配布数	34.7%	71.1%	41%
		まあ満足以上の割合	5段階評価で「満足」+「やや満足」の数	回収数(未回答含む)	90.3%	86.6%	89%
1-1-O2	患者満足度(退院患者)	回収率	回収数	配布数	4.3%	37.2%	59%
		まあ満足以上の割合	5段階評価で「満足」+「やや満足」の数	回収数(未回答含む)	96.2%	96.0%	93%
1-1-O3	虹の箱投書	記名投書率	記名のある投書の数	虹の箱投書数			57%
		記名投書数	虹の箱投書数	—			206
1-1-O4	医療安全相談機能	対応数	医療安全相談記録の数		109	56	16
1-1-O5	医療の達成度に関する職員の満足度	回答率	回収数	配布数(常勤職員数)	75.5%	71.9%	76.3%
		③目標達成率	6段階の③「どちらかというと思う」以上の数	回収数	80.6%	81.0%	80.9%
		④勤める率	6段階の④「どちらかというと思う」以上の数	回収数	66.8%	71.9%	66.7%
		⑤働いてよかった率	6段階の⑤「どちらかというと思う」以上の数	回収数	83.1%	82.3%	81.8%

■1-2・4■ 安全管理・感染制御

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
1-2-P1	ひやり・事故報告数 〔件〕	職員1人あたり報告数	ひやりはっと報告数	常勤職員数	1.76	1.64	1.31
		医師提出率	ひやりはっと報告医師提出数	全ひやりはっと報告数	3.0%	2.9%	1.4%
1-2-P3	転倒転落予防計画立案率	転倒・転落対策必要率	転倒転落対策必要数（予防策立案数）	転倒転落アセスメント数	49.3%	76.6%	78.9%
1-2-P4	抑制率（抑制人日／ 延べ入院患者数）	抑制割合	抑制を実施した患者の延べ日数	期間中入院患者延べ人数	16.9%	16.9%	15.4%
		抑制患者1人あたり抑制日数	抑制を実施した患者の延べ日数	期間中抑制を実施した患者の数	10.2日	9.9日	9.6日
		解除・軽減のための検討頻度（日/回）	抑制を実施した患者の延べ日数	解除検討のためのカンファレンス記録数			0.92
1-2-P7	CV挿入部位割合	鎖骨下刺入割合	CV鎖骨下刺入数	総CV刺入数	8.8%	3.6%	3.5%
		内頸刺入割合	CV内頸静脈刺入数	総CV刺入数	51.4%	42.1%	58.7%
		鼠径刺入割合	CV大腿静脈刺入数	総CV刺入数	37.5%	52.1%	37.8%
1-2-P8	中心静脈使用率	中心静脈使用患者の割合	中心静脈カテーテル留置人数	期始在院患者+新入院患者数	4.5%	4.0%	3.4%
		中心静脈使用率	中心静脈カテーテル留置日数	期間内延べ入院患者数	5.4%	4.6%	4.0%
		患者1人あたり使用日数	中心静脈カテーテル留置日数	中心静脈カテーテル留置人数	11.8日	11.5日	11.6日
1-2-P9	尿道カテーテル留置率	尿道カテーテル留置割合（人）	尿道留置カテーテル留置患者数	期始在院患者+新入院患者数	30.1%	23.5%	23.1%
		尿道カテーテル留置率	尿道留置カテーテル留置延べ日数	期間内延べ入院患者数入院患者数	11.4%	11.5%	11.7%
		患者1人あたり使用日数	尿道留置カテーテル留置延べ日数	尿道留置カテーテル留置患者数	5.6日	6.9日	7.1日
1-2-P10	人工呼吸器使用率	人工呼吸器使用患者割合	人工呼吸器装着患者数	期始在院患者+新入院患者数	1.3%	1.9%	2.6%
		人工呼吸器使用率	人工呼吸器装着患者延べ日数	期間内延べ入院患者数		1.9%	1.2%
		患者1人あたり使用日数	人工呼吸器装着患者延べ日数	人工呼吸器装着患者数		14.2日	6.6日
1-2-O1	ひやり・医療事故報告	患者1000人あたり報告数	ひやりはっと報告数	$(\text{外来患者実人数} + \text{新規入院患者数}) \div 1000$	32.9	33.8	31.4
1-2-O2	重篤な医療事故	発生率（入院外来1000人対）	レベル4以上の事故発生数	$(\text{外来患者実人数} + \text{新規入院患者数}) \div 1000$	0.05%	0.03%	0.00%
1-2-O5	転倒・転落	「治療を必要とする」以上の割合	レベル3以上の転倒転落事故発生数	$(\text{外来患者実人数} + \text{新規入院患者数}) \div 1000$	0.42%	0.20%	0.62%
		骨折またはレベル4以上の転倒転落発生割合	骨折またはレベル4以上の転倒転落発生数	$(\text{外来患者実人数} + \text{新規入院患者数}) \div 1000$	0.08%	0.05%	0.07%
1-2-O6	中心静脈確保時の合併症	動脈誤穿刺率	動脈誤穿刺数	対象期間のCV穿刺数	0.3%	0.3%	0.0%
		鎖骨下穿刺時の気胸発生率	気胸発生数	対象期間のCV鎖骨下穿刺数	7.1%	0.0%	13.3%
1-4-O8	ブドウ球菌耐性率	MRSA	うちMRSA検出数（患者重複調整）	期間中黄色ブドウ球菌検出患者数	47.0%	48.9%	52.5%
1-4-O9	医療器具関連感染	膀胱留置カテーテル関連感染発生率	膀胱留置カテーテル関連尿路感染新規発生数	膀胱留置カテーテル留置延べ日数	5.54%	3.26%	1.24%
		中心静脈カテーテル関連感染発生割合	中心静脈カテーテル関連血流感染新規発生数	中心静脈カテーテル留置延べ日数	2.85%	1.48%	2.98%
		人工呼吸器関連肺炎発生率（人）	人工呼吸器関連肺炎発生数	人工呼吸器装着患者数		16.8%	0

■2-1■ 入院医療の状況・標準的・効率的医療・治療の成功

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
2-1-S1	DPC適用率・出現分類率	DPC出現分類数1例/月以上率	月1例以上件数のあるDPC分類数	全DPC分類数 (包括対象外含む)	4.7%	4.7%	5.2%
2-1-P1	クリティカルパスの導入数・適用率 (地域連携パス含まず)	適応率	入院時または入院中にクリパスを適応した患者数 (入院中変更は1件と計数)	退院患者数	49.6%	40.9%	41.7%
		クリパス数	運用されているクリパスの数 (適応実績の有無を問わない)	—	148	119	73
2-1-P2	DPC II 期間内割合	DPC対象病床、診療科、病棟別	DPC II 期間以内での退院患者数	退院患者数		62.3%	60.5%
2-1-P3	麻酔管理	麻酔管理率	麻酔管理料算定数	全身麻酔、硬膜外麻酔、脊椎麻酔による手術件数	76.7%	78.6%	81.1%
2-1-P4	術後感染予防抗生剤の使用	第1・2世代抗生剤使用率	第1・2世代ペニシリンまたはセフェム剤を使用した数	同上	99.3%	98.4%	97.5%
2-1-P5	術日または翌日の輸血実施	MAP6単位以上の輸血を要した患者の割合	術日または術翌日までに6単位以上のMAP輸血を実施した患者数	緊急手術を除く全身麻酔・硬膜外麻酔・脊椎麻酔による手術数	1.6%	1.4%	0.8%
2-1-O1	入院精死亡率	入院精死亡率	死亡退院数-入院から24時間以内の死亡退院数	退院患者数 (みなし入院を除く)	3.5%	3.9%	4.1%
		入院24時間以内死亡数	入院後24時間以内死亡数	—	21	31	36
2-1-O2	再入院	再入院率 (計画入院・他疾患除く)	前回退院から7日以内に前回と同一傷病・併存症・合併症で予定外の再入院した患者の数	退院患者数			0.31%
2-1-O3	緊急再手術率	術後30日以内	手術から30日以内に再手術となった患者数	手術室で行った予定手術数 (カテーテル手術、内視鏡手術を除く)	1.2%	1.9%	2.2%
2-1-O6	開腹手術における異物残存	異物残存率	閉創後にガーゼ等異物残存が発覚し再開創した数	開腹手術数	0.46%	1.80%	0.84%
2-1-O7	術後感染症 (胃、結腸、直腸)	胃切除術後感染率	術後1ヵ月以内の手術部位感染発生数	胃切除手術数	9.5%	16.0%	10.3%
		結腸術後感染率	術後1ヵ月以内の手術部位感染発生数	結腸切除術数	10.7%	5.1%	6.5%
		直腸術後感染率	術後1ヵ月以内の手術部位感染発生数	直腸切除切断術	10.0%	5.9%	12.0%
2-1-O8	整形外科手術後の局所感染率	股関節手術後感染	術後1年以内の手術部位感染発生数	人工股関節置換術・再置換術・骨頭挿入術数 (抜去のみ例・術時感染症を除く)	0.0%	0.53%	0%
		膝関節手術後感染	術後1年以内の手術部位感染発生数	人工膝関節置換術・再置換術 (全/部分) 数 (抜去のみ例・術時感染例を除く)	0.0%	0.00%	1.2%

■2-2■ 入院患者の看護ケア・栄養管理

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
2-2-P1	栄養管理	入院3日以内の血清Alb値が3.0g/dL未満率	入院前日から入院3日目までの血清Alb値が3.0g/dLである患者の数	退院患者数		13%	22%
		15日以上在院患者における入院中最低Alb値2.8未満率	入院中に測定した血清Albの最低値が2.8g/dLである患者数	在院日数が15日以上での退院患者数	21.4%	28.5%	37%
2-2-O1	入院中の低栄養の改善の結果	入院時血清Alb値3.0g/dL未満から退院時3.0g/dL以上に改善した患者の割合 (15日以上在院)	退院時 (入院中最終) の血清Alb値が、3g/dL以上に改善した患者の数	入院前日から入院3日目までの血清Alb値が3.0g/dLで在院日数15日以上での退院患者	42.3%	34.8%	31%
2-2-P2	褥瘡予防	有リスク者割合	ハイリスクと判断し褥瘡診療計画を作成した患者数	産科・小児科を除く退院患者	1.3%	1.4%	1.2%
		褥瘡計画作成率	褥瘡発生のリスクがあると判断し予防計画を立案した数	産科・小児科を除く退院患者	76.2%	61.2%	36.2%
2-2-O2	新規褥瘡発生	褥瘡発生患者の割合	新規褥瘡発生数 (入院時にすでにあった褥瘡を除く)	産科・小児科を除く退院患者	1.7%	1.4%	1.4%
		褥瘡発生率 (対千人日)	新規褥瘡発生数 (入院時にすでにあった褥瘡を除く)	産科・小児科を除く退院患者の入院延べ日数	1.03%	0.91%	0.92%
2-2-O3	褥瘡治療率	褥瘡回診終了率	治療または軽快し回診終了した数	対象期間の褥瘡患者 (新規発生・保有) 数	42%	41%	29%

■2-3■ HCUの状況

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
2-3-S1	入室経路（救急車、 外来、病棟）	救急車	救急搬入による入室者数	HCUへの新規入院または転入患者数	50.7%	66.0%	66%
		転室	他病棟、一般病室からの入室者数	HCUへの新規入院または転入患者数	3.0%	12.3%	0%
		外来	外来経由の患者数（紹介患者含む）	HCUへの新規入院または転入患者数	46.3%	21.6%	34%
2-3-P1	重症患者の看護	医療看護必要度A得点	医療看護必要度A得点2点以上の延べ患者数			92%	
2-3-O1	HCU転帰	死亡退院率	死亡退院数	HCU退室者数	4.5%	4.9%	19%
		転院率	転院数	HCU退室者数	3.9%	0.0%	4%

■2-4■ 回復期リハビリ病棟の状況

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
2-4-P1	回復期リハビリテーション病棟のリハビリ実施の状況	脳リハ患者1人あたり実施日数	リハビリテーション延べ実施日数	脳血管障害でリハビリテーション評価/訓練を実施した退院患者数	61.2日	71.8日	56.9日
		脳リハ患者1人あたり実施単位	リハビリテーション総単位数	脳血管リハビリテーション延べ実施日数	6.0単位	5.4単位	6.7単位
		運リハ患者1人あたり実施日数	リハビリテーション延べ実施日数	運動器リハビリテーション評価/訓練を実施した退院患者数	50.5日	52.0日	48.8日
		運リハ患者1人あたり実施単位	リハビリテーション総単位数	運動器リハビリテーション延べ実施日数	5.2単位	6.5単位	6.1単位
2-4-O2	回復期リハビリテーション病棟退院患者の在院日数	病棟滞在日数の平均	回復期リハビリテーション病棟に入院または転棟から退院までの総日数	回復期リハビリテーション病棟退院患者数	55.5日	66.5日	63.8日
2-4-O3	回復期リハビリテーション病棟の機能改善（FIM効率）	FIM効率	回復期リハビリテーション病棟退院患者のFIM効率〔(退院時FIM-入院時FIM) / 訓練日数〕が0.25以上の割合	回復期リハビリテーション病棟退院患者数			53%

■2-5■ 総合内科病棟の状況

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
2-5-S1	多様な疾患	総合内科診療DPC分類数（6桁）	DPC分類（6桁）出現数	総合内科診療医担当退院患者		152	146
2-5-P1	アセスメント	説明教育プランの立案率、マネジメントプランの立案割合	入院時イニシャルプランに説明・教育・マネジメントプランのいずれかがある患者数	総合内科診療医担当退院患者			63%

■3-1■ 外来医療の状況

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
3-1-S1	外来実患者数	外来実患者数	期間内に1回以上受診した患者の実数	—	53,364人	52,627人	52,679人
3-1-S2	外来患者受診状況	年間平均受診回数	外来患者延べ人数	期間内に1回以上受診した患者の実数	5.5回	5.7回	5.5回
3-1-P4	職業歴記載割合（15歳以上）	新規患者記載率→医師初診時記録	医師記録に職業歴が記載された患者	15歳以上の新規患者	24.2%	21.9%	44.5%

■3-2■ 救急医療の状況

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
3-2-S1	救急患者数	時間外患者数 (救急車、小児救急を除く)	時間外・休日患者数(救急車、小児救急を除く)	—	8,547人	10,526人	11,539人
3-2-S2	救急受け入れ要請数	救急受け入れ要請数	救急受け入れ要請数	—	6,422人	6,078人	5,304人
3-2-S3	救急搬入入院	救急搬入入院数	救急搬入され入院となった患者数	—	1,071人	1,173人	1,141人
		救急搬入入院割合	救急搬入され入院となった患者数	救急搬入患者数	32.1%	35.8%	37.1%
3-2-S4	来院時心肺停止患者数	来院時心肺停止患者数	来院時心肺停止患者数(搬送中CPR、PEA含む)	—	42人	52人	56人
3-2-P1	受付時間外急患のトリアージ	トリアージ率	トリアージ記録のある患者	時間外・休日患者数	84.4%	91.8%	59.5%
		アンダートリアージ率	転帰が入院、転院、外来死亡の患者	トリアージ結果が非緊急の患者	2.4%	3.2%	2.0%
3-2-P2	救急車受け入れ	救急搬入患者数	救急搬入患者	—	3335人	3276人	3,073人
		救急患者受入率	救急搬入患者	救急受け入れ要請患者(人)数	51.9%	53.9%	57.9%
3-2-P3	救急搬入患者の入院にかかった時間	6時間以内に入院した患者の割合	搬入から入院まで6時間以内の患者数	救急搬入後入院となった患者数	17.9%	34.0%	54%
3-2-P4	脳血管障害患者の頭部CT撮影までの時間	来院から撮影まで(分)	来院時から撮影までの時間の合計(2時間以上を除く)	救急搬入され脳血管障害の疑いで緊急CT撮影した患者数	29.0分	48.0分	48.0分
3-2-P5	緊急手術までに要した時間の平均	緊急手術までに要した時間の平均	手術開始までの時間の合計	救急搬入後緊急手術となった患者数	0.0分	—	4.8分
3-2-P6	緊急内視鏡処置までに要した時間の平均	緊急内視鏡処置までに要した時間の平均	内視鏡的処置開始までの時間の合計	救急搬入後緊急内視鏡的処置を行った患者数	0.0分	49.0分	49.0分
3-2-P7	救急搬入患者のCT撮影したうち有所見の割合	救急搬入患者のCT撮影したうち有所見の割合	有(新)所見数	救急搬入され緊急CT撮影を行った患者数	44.5%	46.1%	26%
3-2-O2	心拍再開した患者の割合、生存退院割合	心拍再開した患者の割合	心拍再開し入院となった患者	来院時心肺停止患者数(搬送中CPR、PEA含む)	14%	23%	23%
		生存退院割合	30日後までに生存退院した患者	心拍再開し入院となった患者	33%	17%	8%
3-2-O3	救急搬入後帰宅した患者の転帰	2週間以内に再搬入または受診し入院した患者割合	2週間以内に再搬入または外来受診し入院した患者	救急搬入後外来帰宅した患者	2.7%	3.5%	2.6%

■3-3■ 在宅医療の状況

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
3-3-S1	在宅管理患者数	年間管理患者実人数の平均	対象月数	ひと月の管理患者人数の合計	89人	88人	69人
3-3-S2	新規在宅患者数	新規在宅管理患者数	新規に在宅管理となった患者数	—	76人	82人	71人
3-3-O1	在宅患者死亡数	在宅死亡割合	在宅死亡の数	在宅管理患者の死亡総数	67%	60%	54%
		入院死亡割合	入院死亡の数	在宅管理患者の死亡総数	32%	40%	40%
		他施設死亡割合	他院死亡の数	在宅管理患者の死亡総数	1%	0%	6%
3-3-O2	在宅看とりを希望した患者の看とり	在宅看とり率	在宅死亡の数	在宅看とりを希望した数	98%	53%	100%

■4-1■ 地域連携の状況

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
4-1-S3	連携医療機関の状況	医療機関数	紹介受け入れ、逆紹介した医療機関の数	—	549	469	702
		登録医数	連携登録している医療機関数	—	81	82	82
4-1-P1	地域連携クリティカルパスの運用	受入数	脳卒中連携パス・大腿骨頸部骨折連携パスによる受け入れ数	—	59例	44例	44例
		発行数	連携パスを用いて紹介した患者数	—	0例	0例	0例
4-1-P2	患者紹介率	紹介割合（定義変更）	法人外からの紹介受け入れ数	初診患者数の合計	38.0%	47.0%	14.3%
		逆紹介割合（定義変更）	法人外への紹介数	初診患者数の合計			13.9%
		内科専門外来紹介者の割合→数	内科専門外来で直接受け入れた紹介患者数	—	3.1%	2.9%	2,115
		小児科紹介割合→数	小児科受け入れ紹介患者数	—	2.3%	2.0%	361
		外科紹介割合→数	外科受け入れ紹介患者数	—	1.9%	1.9%	375
		産婦人科紹介割合→数	産婦人科受け入れ紹介患者数	—	1.5%	1.4%	413
		泌尿器科紹介割合→数	泌尿器科受け入れ紹介患者数	—	1.9%	2.0%	394
		整形外科紹介割合→数	整形外科受け入れ紹介患者数	—	2.1%	2.2%	773
		皮膚科紹介割合→数	皮膚科受け入れ紹介患者数	—	1.4%	1.5%	378
		眼科紹介割合→数	眼科受け入れ紹介患者数	—	1.4%	1.3%	104
4-1-P3	開放型病床	共同診療数	登録医と共同診療を行った数	—	2	0	

■4-2■ 療養支援・相談機能

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
4-2-P1	療養支援会議	実施記録のある患者数	療養支援会議記録のある患者	—	293人	277人	255人
4-2-P2	相談件数 ワーカー1人あたり件数	1人あたり相談件数	期間中相談延べ件数	ワーカー数	1,323	1,269	1,188
4-2-P3	相談実人数	相談者あたり回数	相談（延べ）件数	相談実人数		1.7	1.7
	相談者あたり回数	相談実人数	相談者の数	—	7,190人	7,224人	7,305人
4-2-P4	受療支援	無保険相談数	無保険に関する相談数	—	37	28	15
		資格証明書相談数	資格証明書に関する相談数	—	0	0	1
		短期保険証相談数	短期保険証に関する相談数	—	2	4	4
4-2-P5	がん相談	がん相談数2013～ →別項に	がん相談数	—	161	645	980
4-2-O1	退院支援による療養継続	90日以内に再入院しなかった患者の割合	退院後90日以内に再入院しなかった患者数	療養支援会議を実施して退院した患者数	98%	100%	75%
4-2-O2	無料低額診療制度利用	相談数	無料低額診療制度の相談者数	—			7

■ 5 ■ 医療記録の適切性

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
5-1-P1	「退院時要約」記載率	退院後7日以内記載率	退院時要約7日以内の完成数（研修医は指導医の確認後）	退院患者数	84.4%	88.0%	90.7%
		退院後14日以内記載率	退院時要約14日以内の完成数（研修医は指導医の確認後）	退院患者数	100.0%	99.2%	99.0%
5-1-P3	総合アセスメントの実施	48時間以内実施率	入院翌日までにCGAを含むアセスメントが実施された患者	入院患者	55.3%	—	32.8%
		65歳以上への実施割合	入院翌日までにCGAを含むアセスメントが実施された患者	65歳以上入院患者	0.0%	44.4%	57.0%
5-1-P6	カウンターサインの実施	24時間以内実施割合	翌日までに指導医確認がされた記録	研修医の記録	75.8%	—	34.3%

■ 6 ■ 保健予防・ヘルスプロモーション

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
6-1-S1	健康診断	受診総数	健康診断受診者数	—	27,645	27,958	27,336
6-1-S2	禁煙外来受診数	禁煙外来受診者数	禁煙外来新規受診者数	—	59		59
6-1-P1	健診要精査率	総合DE率	総合判定がDまたはEの受診者数	健康診断受診者数	48.9%	46.8%	52.2%
6-1-P2	大腸がん健診	便潜血陽性 (D判定) 率	便潜血判定Dの数	大腸がん検診実施者数	4.7%	4.9%	4.4%
		精査率	MDLまたは内視鏡検査を実施した数	便潜血判定Dの数	28.3%	23.3%	47.4%
6-1-P3	胃がん検診	要精査 (D判定) 率	D判定の数	胃がん検診受診者数	28.3%	26.3%	24.1%
		精査数	胃カメラ実施数	D判定の数	27.6%	20.4%	39.2%
6-1-P4	肺がん検診 (CT含む)	要精査 (D判定) 率	D判定の数	胸部X P 撮影数	1.4%	1.1%	0.9%
		精査数	二次精査者数	D判定の数	34.6%	23.4%	50.8%
6-1-P5	早期乳がん発見率	要精査 (D判定) 率	有所見数	乳がん検診 (MMG、エコー) 数	8.6%	7.7%	7.1%
6-1-P6	子宮がん検診	子宮頸がん要精査率	要精査率	子宮頸がん検診数	2.1%	2.1%	2.5%
		子宮体がん要精査率	要精査率	子宮体がん検診数	0.5%	0.4%	0.8%
6-1-P7	禁煙外来	終了率	4回以上の割合	禁煙外来新規受診者数	59.3%	19.7%	54%
		再喫煙率	終了後1年以内に再喫煙した数	禁煙外来新規受診者数	3.4%	13.1%	25%
		中断率	3回以下で中断した数	禁煙外来新規受診者数	33.9%	11.5%	34%
6-1-P8	一般的な危険因子の評価と介入	運動量記載割合	患者プロフィールに運動量の記載がある数	断面 (連続50名) 記録		0%	4.2%
		食事摂取回数・量記載割合	患者プロフィールに食事回数・量の記載がある数	断面 (連続50名) 記録		1%	0.0%
		身長+体重 (BMI) 記載割合	患者プロフィールに身長・体重の記載がある数	断面 (連続50名) 記録		86%	92.0%
		喫煙量・歴記載割合	患者プロフィールに喫煙情報の記載がある数	断面 (連続50名) 記録		68%	84.0%
		飲酒・量歴記載割合	患者プロフィールに飲酒量の記載がある数	断面 (連続50名) 記録		43%	74.0%
		介入の記録	患者プロフィールにいずれかの介入を実施した記載がある数	断面 (連続50名) 記録		0%	10.0%
6-1-O1	要精査者フォロー	DE受診率	二次精査実施数	総合判定DEの数	18.04%	7.41%	22.3%
6-1-O2	早期大腸がん発見率	0期、I期大腸がん発見率	0-I期のがん診断数	受診者数	0.10%	0.09%	0.12%
		II期以上大腸がん発見率	II期以上のがん診断数	受診者数	0.03%	0.01%	0%
6-1-O3	早期胃がん発見率	I期胃がん発見率	I期のがん診断数	受診者数	0.07%	0.02%	0.20%
		II期以上胃がん発見率	II期以上のがん診断数	受診者数	0.02%	0.04%	0.02%
6-1-O4	肺がん発見率 (早期、進行)	肺がん発見率	がん診断数	受診者数	0.02%	0.02%	0.02%
6-1-O5	早期乳がん発見率	乳がん発見率	がん診断数	受診者数	0.39%	0.14%	0.26%
6-1-O6	子宮がん発見率	子宮頸がん発見率	がん診断数	受診者数	0.00%	0.00%	0.02%
		子宮体がん発見率	がん診断数	受診者数	0.04%	0.12%	0.10%
6-1-O7	禁煙成功率	1年後の禁煙継続者率	終了から1年後の禁煙継続者数	前年12月までに禁煙成功した数	37.5%	10.8%	60%
6-1-O8	HPの結果	外来治療が可能な疾患の5日以内の再入院率 (%)	前回退院から5日以内に前回と同一傷病・併存症・合併症で予定外の再入院した患者の数	軽快・治療で退院した患者数		0.05%	0.24%

■7-1■ 呼吸器内科

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
7-1-S1	アスベスト・じん肺相談件数	じん肺相談者数	じん肺・アスベスト相談者の数	—	27人	14人	19人
7-1-P1	気管支内視鏡生検による悪性診断率	悪性腫瘍診断率	悪性腫瘍が診断された数	悪性を疑って気管支内視鏡検査を実施した数	42%	44%	32%
7-1-P2	HOT実施者数	HOT年間実人数	HOTを1ヵ月以上実施している患者の数	—	168	171	161
7-1-P3	市中肺炎に対する初期対応	尿中肺炎球菌抗原測定割合	尿中肺炎球菌抗原検査が入院日に実施された患者数	契機病名が肺炎で退院した患者数		68.1%	52.2%
		初日抗菌剤投与割合	入院日から抗生物質の投与がある患者数	契機病名が肺炎で退院した患者数		91.6%	94.7%
7-1-P4	院内肺炎に対する治療	抗緑膿菌広域抗生剤投与割合	緑膿菌活性を有する抗生剤を初回から投与した患者	退院患者、院内肺炎（入院中発症含む）		63%	63%
7-1-O1	気管支鏡検査の合併症発生率	検査中・当日の合併症発生率	中止または緊急処置が必要となった数	気管支内視鏡検査実施数	2.5%	5.4%	2%
7-1-O3	じん肺・アスベスト救済法申請支援の結果	じん肺申請数	じん肺・アスベスト申請数		27	7	2

■7-2■ 消化器外科・呼吸器外科・乳腺外科

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
7-2-P1	腹部外科手術難度別割合	(学会) 高難度手術率	消化器外科学会の修練施設の基準による高難度手術の数	消化器外科学会の修練施設の要件となる手術の総数	8.6%	7.7%	7.5%
		(学会) 中難度手術率	消化器外科学会の修練施設の基準による中難度手術の数	消化器外科学会の修練施設の要件となる手術の総数	27.9%	36.8%	32.4%
		(学会) 低難度手術率	消化器外科学会の修練施設の基準による低難度手術の数	消化器外科学会の修練施設の要件となる手術の総数	63.5%	55.5%	60.1%
7-2-P2	腹部外科領域の内視鏡下手術	全腹腔鏡下手術数	腹部外科領域の腹腔鏡下手術数	—	237	270	261
		うち腹腔鏡下胆嚢摘出術数	腹腔鏡下胆嚢摘出術数	—	108	129	116
		うち開腹移行率	開腹に移行した数	腹腔鏡下胆嚢摘出術数	1.9%	1.6%	0.9%
7-2-P3	急性胆嚢炎の72時間以内手術実施割合	発症96時間以内手術割合(72時間以内に変更)	入院から3日目までに胆嚢摘出術を実施した数	退院患者のうち処置が必要な急性胆石性胆嚢炎で入院した数	10%	5.9%	4.5%
7-2-P4	胸部外科手術実施	胸部外科領域手術件数	胸部外科領域手術実施数(食道を除く)	—	33	28	27
7-2-P5	乳がん手術	乳房温存手術割合	部分切除術数	2cm以下の早期乳がん手術数	43%	45%	62%
7-2-P6	手術目的での他院からの紹介患者数	手術目的紹介患者数	手術目的(手術に至らなかったもの含む)の紹介受け入れ数	—	106	124	158
7-2-P7	手術時間が延長した患者の割合	予定時間より延長した割合	予定時間の1割以上延長した手術の数	外科全手術数	44%	23%	24.6%
		標準時間(外保連)より延長した割合	外保連標準時間の1割以上長くかかった手術数	外科全手術数	30%	25%	24.9%
7-2-O2	胃がん手術後生存率	Stage II 5年生存率	5年後までの生存率(カプランマイヤー法)	06年~10年実施胃がん手術(II期)			82.6%
		Stage III 5年生存率	5年後までの生存率(カプランマイヤー法)	06年~10年実施胃がん手術(III期)			53.8%
7-2-O3	大腸がん手術後生存率	Stage II 5年生存率	5年後までの生存率(カプランマイヤー法)	06年~10年実施大腸がん手術(II期)			88.3%
		Stage III 5年生存率	5年後までの生存率(カプランマイヤー法)	06年~10年実施大腸がん手術(III期)			72.8%
7-2-O4	肺がん手術後生存率	肺がん手術5年生存率	5年後までの生存率(カプランマイヤー法)	0年~0年実施肺がん手術			0
7-2-O5	乳がん手術後生存率	乳がん術後10年生存率	10年後までの生存率(カプランマイヤー法)	0年~0年実施乳がん手術			0
7-2-O6	手術後の合併症(感染症除く)	合併症発生率	1ヵ月後までに発生した再手術・治療が必要な合併症(創感染を除く)	外科手術数	5.2%	9.4%	9.5%
2-1-O7 (再掲)	術後感染症(胃、結腸、直腸)	胃切除術後感染率	術後1ヵ月以内の手術部位感染発生数	胃切除手術数	9.5%	16.0%	10.3%
		結腸術後感染率	術後2ヵ月以内の手術部位感染発生数	結腸切除手術数	10.7%	5.1%	6.5%
		直腸術後感染率	術後3ヵ月以内の手術部位感染発生数	直腸切除切断手術数	10.0%	5.9%	12.0%
7-2-O7	外科手術後の死亡退院患者の割合	外科手術後30日以内死亡退院率	外科手術後30日以内死亡退院率	外科手術数	0.5%	0.4%	0.2%
7-2-O8	胃がん手術在院日数	胃がん手術後在院日数	術後在院日数の平均	胃がん手術をして退院した患者		20.3	24.1

■7-3■ 消化器内科

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
7-3-S2	炎症性大腸疾患診断数	潰瘍性大腸炎、クローン病	潰瘍性大腸炎・クローン病患者数	—	26人	41人	26人
7-3-P1	消化管内視鏡検査件数〔件〕	上部消化管内視鏡検査数	上部消化管内視鏡検査数	—	5,789	6,431	6,241
		下部消化管内視鏡検査数	下部消化管内視鏡検査数	—	2,394	2,342	2,382
7-3-P2	緊急消化管内視鏡検査	緊急消化管内視鏡検査	緊急消化管内視鏡検査数	—	942	422	115
7-3-P3	内視鏡的粘膜切除件数	食道（悪性・良性）	食道粘膜切除術実施数（EMR・ESD）	—	0	5	3
		胃（悪性・良性）	胃粘膜切除術実施数（EMR・ESD）	—	31	39	19
		大腸（悪性・良性）	大腸粘膜切除術（EMR・ESD）	—	396	500	414
7-3-P4	EST（内視鏡的括約筋切開術）	EST実施件数	EST実施数	—	46	83	97
7-3-P5	膵胆管への造影検査および処置（EST以外）	実施件数（ENBD、ERBD、ERCP）	造影検査およびストント留置のみ	—	32	12	39
7-3-P6	肝臓がんに対する肝動脈塞栓術件数	TACE実施件数	TACE実施数	—	49	33	44
7-3-P7	緊急腹部血管造影	実施件数	緊急腹部血管造影実施数	—	3	6	14
7-3-P8	C型肝炎に対するIFN療法	新規IFN開始		—	18	19	3
7-3-P9	PEG造設件数	PEG増設		—	52	46	18
7-3-O1	消化管内視鏡検査の合併症	発生率	消化管内視鏡検査による処置を要する合併症	消化管内視鏡検査実施数	0.0%	0.0%	0.0%
7-3-O2	内視鏡的粘膜切除の合併症率	発生率	少量の出血を除く処置を要する合併症発生数	内視鏡的粘膜切除件数	0.5%		0.2%
7-3-O3	ERCP関連合併症	発生率	処置を要する合併症	膵胆管造影を伴う処置実施数	0.6%	2.0%	6.9%
7-3-O4	TACE実施患者の状況	平均実施回数	TACE実施延べ数	期間中1回以上TACEを実施した患者の数		2.5	2.4
7-3-O8	胃瘻造設患者の状況	6月後生存率	PEG後6ヵ月後の生存率（カプランマイヤー法による）	前年12月までにPEGを実施した患者	76%	83%	88%
		1年生存率	PEG後1年後の生存率（カプランマイヤー法による）	前年12月までにPEGを実施した患者	73%	77%	82%
		早期合併症発生率	PEG実施1ヵ月以内の合併症発生数	期間中のPEG実施患者	8%	2%	17%

■7-4■ 整形外科

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
7-4-S1	整形外科手術における後期高齢者の割合	75歳以上の手術率	75歳以上の手術実施者	整形外科における手術患者	29.5%	31.0%	28.4%
7-4-P1	難度の高い手術	D3・E難度（旧分類）手術数	旧分類によるD3・E難度手術数	—	287	363	529
		関節手術数	うち関節手術数	—	291	311	477
		脊椎手術数	うち脊椎手術数	—	33	50	49
7-4-O1	高齢者大腿骨頸部骨折手術後の再歩行獲得率	75歳以上で病前歩行患者の再歩行獲得率	退院時杖歩行以上となった患者の数	75歳以上の大腿骨頸部骨折患者のうち病前歩行患者の数	55%	71%	69%
7-4-O2	整形外科手術後の局所感染率	股関節手術後感染	術後1年以内の手術部位感染発生数	人工股関節置換術・再置換術・骨頭挿入術数（抜去のみ例・術時感染例を除く）	0.0%	0.53%	0%
2-1-O8 (再掲)		膝関節手術後感染	術後1年以内の手術部位感染発生数	人工膝関節置換術・再置換術（全/部分）数（抜去のみ例・術時感染例を除く）	0.0%	0.00%	1.2%

■7-5 産婦人科

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
7-5-S2	妊婦の年齢構成	35歳以上初産の割合	分娩時年齢35歳以上の産婦数	期間中全産婦数	12%	9.7%	8.3%
		19歳以下の割合	分娩時年齢19歳以下の産婦数	期間中全産婦数	0.9%	1.8%	1.1%
7-5-P1	合併妊娠への対応	合併妊娠症例	非妊時合併症を有し妊娠・分娩に至った産婦の数	—	78	60	60
		肥満 (BMI30以上)	非妊時のBMIが30以上	—	11	10	18
		精神疾患	精神疾患併存 (F \$)	—	20	7	13
		甲状腺	甲状腺機能低下または亢進性疾患 (E03、E05)	—	6	8	7
		筋腫合併妊娠	子宮筋腫併存	—	30	18	10
		糖尿病合併妊娠	既存の糖尿病1型・2型	—	2	6	3
		LEEP後フォロー	円錐切除術の既往	—			9
7-5-P2	妊娠合併症への対応	妊娠高血圧症	妊娠高血圧症	—	28	25	36
		妊娠糖尿病	妊娠糖尿病発症	—	19	14	15
7-5-P3	母体体重管理	管理基準内割合 (分娩前理想体重+8kg以内)	分娩時体重が分娩前理想体重+8kg以内	期間中に分娩に至った産婦の数	59%	59%	67%
7-5-P4	家族立会いによる分娩	立会い (経膣) 率	家族立ち会い数	経膣分娩の数	98%	99%	99%
		立会い (帝王切開) 率	家族立ち会い数	帝王切開分娩数	95%	84%	97%
7-5-P5	婦人科領域における腹腔鏡下手術	腹腔鏡下手術数	腹腔鏡下手術数	—	7	3	10
		婦人科領域手術件数	婦人科手術数	—	197	313	162
7-5-O1	早期早産	35週未満出生児の割合	35週未満出生時数	新生児数	0.2%	0.0%	0.4%
7-5-O2	低体重出生児	2500g未満低体重児率	出生時2500g未満の数	新生児数	5.9%	4.9%	6.8%
7-5-O3	帝王切開術率	帝王切開率	帝王切開数	全分娩数	20.3%	20.6%	20.1%

■7-6 小児科

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
7-6-S1	小児科患者数	小児受診実患者数	小児科外来または小児専門外来に1回以上受診した患者	—	7,302	5,862	5,004
7-6-S2	外来患者のアレルギー性疾患患者	喘息患者数	気管支喘息の病名があり3回以上受診した患者 (J45、J46、喘息用気管支炎は除く)	—	2,913	2,761	1,228
		アレルギー性疾患患者数	食物アレルギー、アトピー性皮膚炎の診断で3回以上受診した患者	—	2,601		1,706
7-6-S3	小児救急患者数	小児夜間救急患者数	20時-8時輪番による小児夜間救急受診患者数	—	1,132	1,072	1,112
7-6-P1	小児外来年間平均受診回数	小児年間受診回数	小児科外来および小児専門外来の延べ患者数	小児科外来または小児専門外来に1回以上受診した患者	2.1回	3.0回	3.3回
7-6-P3	小児夜間救急からの入院数	入院数	小児夜間救急に受診し入院となった患者	—	26	32	33
		入院割合	小児夜間救急に受診し入院となった患者	20時-8時輪番による小児夜間救急受診患者数	2%	3%	3%
7-6-O3	食物アレルギー初診乳児の治療状況	食物アレルギー初診乳児の数	食物アレルギー患者のうち初診時1歳未満	—	32	23	13
		3歳までの食事制限解除率	3歳までに食事制限が解除できた患者	食物アレルギー患者のうち初診時1歳未満	59%	35%	56%
7-6-O4	喘息患者のコントロール	1年のうち2回以上入院患者割合	そのうち年2回以上入院した患者の数	気管支喘息で通院中の患者 (受診)	0.2%	0%	0.2%

■7-7■ 循環器内科

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
7-7-P1	心エコー検査	実施件数	心エコー検査実施数	—	2,964	2,834	3,141
7-7-P2	心臓カテーテル検査	実施件数	CAG実施数	—	240	230	205
7-7-P3	緊急心臓カテーテル	実施件数	緊急でCAGを実施した数	—	0	0	5
7-7-P4	心臓カテーテルインターベンション	実施件数	PCI後実施数	—	30	43	22
7-7-P5	下肢に対する経皮的血管形成術	実施件数	PTA実施数	—	5	7	4
7-7-O1	PCI 1年後の再狭窄率	同部位へのPCI実施または心筋梗塞発症者の割合	PCI後1年以内の同部位（ステント周囲含む）再狭窄または心筋梗塞発症数	前年12月までにPCI実施した患者	0.0%	3%	0%

■7-8■ 泌尿器科・透析

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
7-8-S2	外来維持透析件数 新規透析導入件数	外来維持透析患者数（実数）	外来維持透析患者実人数	—	67人	78人	81人
		新規導入件数	維持透析を新規に導入した患者	—	20人	61人	29人
7-8-P1	泌尿器科領域の内視鏡下手術	経尿道手術数	経尿道手術数	—	12	36	49
7-8-P2	腎、尿路、膀胱の体外衝撃波碎石	ESWL（例数）	ESWLを受けた患者の数	—	101例	120例	108例
7-8-P4	維持透析患者のHbコントロール	Hb10-12.9mg/dLの患者割合	Hb値が10-12.9mg/dLの患者数	維持透析中の患者数	78%	81%	79%
7-8-P5	維持透析中患者の電解質コントロール	Ca・P積<55患者割合	Ca・P積	維持透析中の患者	72%	76%	74%
		P≤6.5mg/dLの患者割合	血清P値が6.5mg以下の患者	維持透析中の患者	83%	84%	81%
7-8-O1	泌尿器領域の内視鏡下手術後の合併症発生率	合併症発生率	術後在院日数の平均	泌尿器科における内視鏡下手術数	0%	3%	0%
7-8-O2	透析患者の自己コントロール	透析患者のうち心不全で入院または緊急ECUM実施	体重オーバー・急性心不全をきたし緊急入院またはECUMを実施した数	維持透析患者		6%	10%

■7-9■ 糖尿病内科

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
7-9-P1	外来2型糖尿病患者のBMI	BMI25以上割合	BMIが25以上の患者	糖尿病外来通院2型糖尿病患者	38.0%	34.9%	42.8%
7-9-P2	インスリン処方患者	インスリン処方割合	インスリンが処方されている患者	糖尿病外来通院2型糖尿病患者	36.7%	24.3%	34.3%
7-9-P4	専門外来紹介患者の状況	DM専門外来への紹介患者数	他の医療機関からの紹介患者数	—	105	142	88
		6ヵ月以内逆紹介割合	紹介から6ヵ月以内に紹介元機関に逆紹介した数	他の医療機関からの紹介患者数	12%	7%	6.8%
7-9-O2	外来2型糖尿病患者の血糖コントロール	7.4%（NGSP）未満⇒2013より7.0%未満	HbA1cが7%未満の患者数	糖尿病外来通院2型糖尿病患者	61.3%	56.1%	35.6%
7-9-O3	合併症の発生	糖尿病性壊疽による下肢切断	糖尿病性壊疽による下肢切断患者	糖尿病外来通院2型糖尿病患者	7%	4%	3%
		糖尿病腎症による透析導入	糖尿病性腎症を発症し維持透析を導入した患者	糖尿病外来通院2型糖尿病患者	8%	10%	19%

■7-10・12■ 皮膚科・眼科

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
7-10-P2	皮膚がん診断数	皮膚がん診断数	皮膚生検でがんが診断された患者	—	34	41	19
7-10-P3	皮下腫瘍切除数	皮下皮膚腫瘍切除数	皮膚皮下腫瘍切除数	—	242	220	291
7-12-P1	眼科レーザー治療数	眼科レーザー治療数	レーザー治療実施数（延べ）	—	23	29	44
7-12-P2	白内障手術 白内障以外の手術	件数	白内障手術数	—	229	233	224
		手術件数	白内障以外の手術数	—	5	0	4

■7-13・14・15・16■ 精神科・緩和ケア内科・がん診療・被爆者医療

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
7-13-S1 4-1-P2 (再掲)	精神科新規患者数 通院実患者中割合 (うち紹介)	精神科新規患者数	過去6ヵ月以内に当該診療科を受診していない患者	—	330人	261人	358人
		通院実患者数	3回以上受診した患者	—	1,349人	799人	890人
		他院からの紹介患者数 (再掲)	他院からの紹介受け入れ患者数	—	143人	131人	126人
7-13-S2	精神科インターク数	精神科インターク数	ワーカーの精神科インターク記録数	—	386人	305人	154人
7-13-P1	精神科デイケア実施数	精神科デイケア実施回数	デイケア実施回数	—	144	150	143
		参加人数	実患者数	—	33人		34人
7-13-P2	入院精神科療法	入院精神療法実施数	入院精神療法法定数	—	143	156	40
7-14-P3	緩和ケア回診数	緩和ケア回診数	緩和ケア回診数	—	93	123	99
		緩和ケアカンファレンス数	問題解決が記録された数	緩和ケアカンファレンス記録数	354		394
7-14-O1	緩和ケア病棟の機能	緩和ケア病棟生存退院割合(変更)	緩和ケア病棟生存退院数	緩和ケア病棟退院患者数	72%	29%	32.9%
7-14-O2	緩和ケア病棟の適時受け入れ	緩和ケア病棟死亡退院患者の平均在院日数	在院日数の合計	緩和ケア病棟死亡退院患者数			20.4
		緩和ケア病棟の待機日数	相談日から入院までの日数の合計	緩和ケア病棟入院相談患者数(30日以内)			9.2
7-15-S1	がん登録数	院内がん登録症例数	対象期間に当院初診となったがん症例数	—			952
7-15-S2	がん紹介受け入れ数	がん診断または疑いで他施設から紹介となった患者数	来院経路が他施設経由	—			276
7-15-S3	がん自ら受診数	自覚症状があつて受診した患者数	発見経緯が自ら受診	—			661
7-15-S4	がん健診での発見数	健診で指摘された患者数	発見経緯が健診で指摘	—			157
7-15-P1	がん当院治療数	当院で治療できた件数	診断後初回治療が当院での手術、化学療法など(緩和を除)	—			489
7-15-P2	初診から治療まで日数(外科手術)	初診から診断まで日数	初診から診断までの日数の合計	治療方針が外科手術の患者			8.5
		診断から治療まで日数	診断・治療開始までの日数の合計	治療方針が外科手術の患者			30.3
7-15-P3	がん他院紹介数	当院で対応できず他院へ紹介	治療方針が他院紹介(患者の選択含む)	—			199
7-15-P4	登録されているプロトコール数	プロトコール数	当院で治療可能な化学療法のプロトコール数	—	75	82	120
7-15-P5	がん化学療法(注)実施者	実人数	化学療法を期前開始し継続中の患者+新規開始した患者	—	148	95	178
7-16-S1	被爆者登録総数	全登録数	被爆手帳による受診患者	—	419	386	358
7-16-P1	健康管理数	被爆者健診受診数	被爆者健診受診者	—	119	109	109

■8-1■ 臨床検査の機能

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
8-1-P4	血液培養検査の適正化	2セット提出率	2セット提出された件数	血液培養(6歳未満小児を除く)オーダー数	91.8%	96.1%	94.6%
		表皮ブドウ球菌コンタミネーション率	複数検体のうち1セットのみにCNS等が検出されたもの	複数検体が提出された件数	3.4%	1.9%	2.0%
8-1-O1	異常値発見・報告数 (プレアボイド)	異常値発見	緊急に報告が必要なパニック値・異常値の発見数	—	3,542	3,289	3,339
		メール配信	うち担当医(者)に報告した数	—	176	212	266

■8-2■ 画像診断の機能

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
8-2-P2	造影剤による副作用発現率	副作用発現率	造影剤副作用発現数	造影検査数	0.4%	1.0%	0.5%
		漏出件率	造影剤漏出発生件数	造影検査数	0.2%	0.8%	0.5%

■8-3■ 薬剤管理の機能

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
8-3-P1	65歳以上入院患者の定期処方適正化	7剤以上の割合	1日の内服薬が7種以上の患者	65歳以上入院患者で定期内服薬のある患者			35%
8-3-P2	注射薬個人渡し	セット率 (処方)	セット組の締切までにオーダーされたRp数	注射オーダーRp数	79.0%	70.8%	70.5%
8-3-P5	抗菌薬適正使用介入症例数	抗MRSA薬TDM実施割合	分母のうち特定薬剤治療管理量を算定した患者	VCM、ABM、TEICを4日以上使用した患者	123	235	56
8-3-P7	薬物中毒対応	薬物中毒対応割合	薬剤鑑別・情報提供対応患者数	薬物中毒診断数	64.2%	92.5%	100%
8-3-O1	プレアボイド報告数	報告件数	病院薬剤師会にプレアボイド報告した数	—	9	71	140
8-3-O2	医薬品等安全性情報報告数	厚労省/全日本	医薬品等安全性情報報告した数	—	31	39	40
8-3-O3	医薬品副作用被害救済制度利用	申請	医薬品被害救済制度に申請した数	—	7	4	3
8-3-O4	薬の誤投与→(病棟)	処方薬誤投与率	処方薬誤投与、渡し忘れ、量、回数 of 誤り事故	外来患者延べ日数+入院患者延べ日数	0.13%	0.11%	0.10%
		薬の誤注入率	注射薬取り違え、速度違い事故件数	入院患者延べ日数	0.19%	0.22%	0.20%

■8-4■ リハビリテーションの機能

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
8-4-P1	一般病棟 (D5以外) リハ介入率	リハビリテーション実施割合	リハビリテーションを1日以上実施した患者	一般病棟を退院した入院期間7日以上の患者 (C2、C5、D2、D3、D4)	49.5%	52.3%	66.3%
8-4-P2	患者1人あたり単位数	病棟(産小・D5、6日以下入院患者を除く)リハ実施者) 1人あたりの総単位数	リハビリテーションを実施した患者の訓練単位数の合計	リハビリテーションを実施した日数	28.6	23.2	24.5
8-4-P3	上記入院患者の入院から開始までの日数	3日以内開始割合	入院から3日以内にリハビリを開始した患者	一般病棟退院患者	50.0%	52.9%	56.4%
		7日以内開始割合	入院から7日以内にリハビリを開始した患者	一般病棟退院患者	80.2%	81.3%	84.5%
8-4-P4	上記患者の訓練日数(入院期間にしめる割合)	1人あたり日数	訓練日数の合計	在院日数の合計	15.8日	14.0日	14.3日
8-4-P5	上記患者の1日あたりの単位数	1人1日あたり単位数	訓練単位数の合計	訓練日数の合計	1.8単位	1.7単位	1.7単位
8-4-O1	上記患者の在院日数	在院日数の平均	在院日数の合計	リハビリテーションを1日以上実施した患者	27.9日	25.7日	25.5日

■8-5■ 栄養管理の機能

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
8-5-P2	栄養摂取方法の状況	経口摂取患者割合	断面調査、入院患者のうち経口摂取患者数	—	92.3%	73.3%	77.2%
		経腸栄養患者割合	断面調査、入院患者のうち経腸栄養患者数	—	3.9%	2.9%	2.2%
		静脈栄養患者割合	断面調査、入院患者のうち静脈栄養患者数	—	3.8%	23.8%	20.7%
8-5-O1	喫食率	5割以下率	喫食率が5割以下の患者数	喫食調査対象者数	7.1%	7.1%	9.0%
		絶食率→7日以上	7日以上の絶食患者数	喫食調査対象者数	18.4%	16.7%	14.4%

■8-6■ 医療機器管理の機能

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
8-6-O1	輸液ポンプによる事故防止	輸液ポンプによる輸液量まちがい報告数	輸液ポンプ事故総数	—	17	10	9
		ポンプ不具合による事故(機器管理)	輸液ポンプの不具合による事故件数	—	0	0	0
		設定間違いによる事故(教育)	輸液ポンプの設定間違いによる事故件数	—	17	10	9

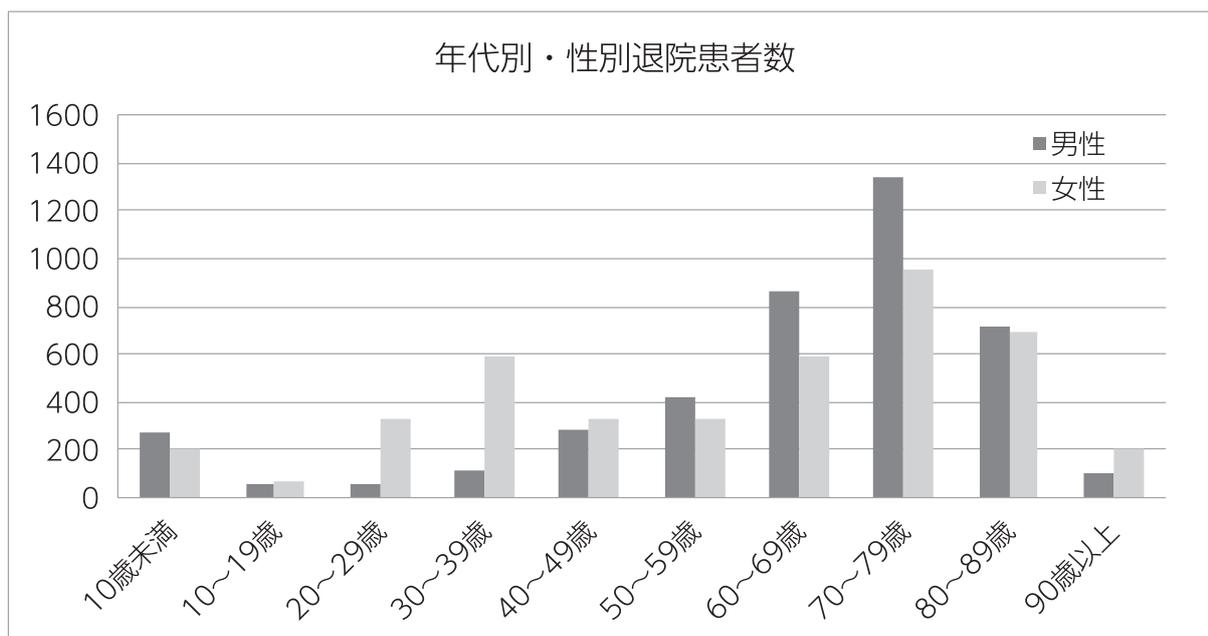
■9-1・2・3■ 診療報酬管理・医療整備、医療情報と情報システムの管理、経営管理・労務管理・環境管理

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2013	2014	2015
9-1-P1	診療報酬返戻・減点率 (件、点)	外来査定率 (件)	外来減点件数	外来レセプト件数	2.0%	2.4%	3.0%
		入院査定率 (件)	入院減点件数	入院レセプト件数	3.4%	5.3%	5.3%
9-1-P2	傷病名10以上レセプト割合	継続病名数が10以上	期間中受診者の継続病名数が10以上の患者数	期間中受診者数	26.0%	28.6%	28.6%
9-2-P3	ICD10詳細不明コード率	詳細不明コード使用率	資源病名の詳細不明コード数	退院患者	4.9%	5.2%	5.8%
9-3-S1	病床利用の機能	病床利用率	在院患者延べ数	病床数×診療日数	80.3%	79.8%	81.2%
9-3-S2	病床回転率	一般病床回転率	診療日数	一般病棟の平均在院日数	2.31	2.54	2.5
		回リハ病床回転率	診療日数	回リハ病棟の平均在院日数	0.51	0.27	0.26
		緩和ケア病棟回転率	診療日数	緩和ケア病棟の平均在院日数	1.45	1.04	1.3
9-3-S4	外来医療の患者1人1日あたり収益	外来日当円	外来請求総点数×10円	外来診療延べ日数の合計	9,696円	9,836円	9,876円
9-3-S5	入院医療の患者1人1日あたり収益	一般病床日当円	一般病棟入院請求総点数×10円	一般病棟入院診療総日数	53,358円	54,408円	56,549円
		回復リハビリ病床日当円	回リハ病棟入院請求総点数×10円	回リハ病棟入院診療総日数	35,528円	36,687円	37,629円
9-3-S7	医療機能構造	外来／入院比	外来患者数	入院患者数	3.40	3.30	3.19
9-3-P1	付加価値労働分配率	付加価値労働分配率	給与費合計	医業収益－(材料費+物件費+委託費)	98.8%	106.5%	85.4%
9-3-P2	付加価値労働生産性	労働生産性 (千円)	医業収益－(材料費+委託費+物件費)	職員数	598千円	578千円	687千円
9-3-P3	職員1人あたり給与費	職員1人あたり年間給与費 (千円)	給与費合計	職員数	591千円	616千円	587千円
9-3-O1	職員1人あたり収益／月	医師 (千円)	収益	医師数	7621千円	8045千円	8750千円
		全職員 (千円)	収益	職員数	931千円	1014千円	1049千円
9-3-O2	医業収益率	医業収益対医業利益率	収益－事業外収入－事業費用	収益	0.4%	-4.8%	3.1%
9-3-P4	有休取得の状況	単年度取得率			34.4%	33.3%	33.2%
9-3-P5	時間外労働の状況	月超勤180単位以上職員数			157.0人	266人	233人
9-3-P6	在庫管理	薬品在庫率	棚卸し在庫金額	月薬品使用金額	57.2%	53.3%	56.9%
		医療材料在庫率	棚卸し在庫金額	月医療材料使用金額	17.9%	19.6%	16.5%
9-3-P7	期限切れ薬品の管理	廃棄率	廃棄した金額	薬品使用金額	0.13%	0.1%	0.17%
9-3-P8	エネルギー削減の状況	床面積1㎡あたりCO ₂ 排出量			118t/㎡	124t/㎡	139t/㎡
9-3-O3	職員健診の状況	総合判定DE率	総合判定DE者数	職員健診受診者数	28.3%	30.7%	32.8%
		二次精査受診率DE	二次精査受診者数	総合判定DE者数	82.1%	78.5%	95.4%
9-3-O4	労災事故の状況	事故報告数	事故報告数	-	28	12	8
9-3-O5	離職率	医師	3月までに退職した数	前年4月在籍医師	11%	7%	8%
		看護師	3月までに退職した数	前年4月在籍看護師職員	6%	13%	13%
		医療技術系職員	3月までに退職した数	前年4月在籍医療技術職員	3%	8%	14%
		事務職員	3月までに退職した数	前年4月在籍事務職員	8%	4%	19%
		新入職員	3月までに退職した数	前年4月入職者	6%	2%	2%

3. 退院患者統計

(1) 年代別・性別患者数

年代 \ 性別	2013年		2014年		2015年	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
10歳未満	241	184	250	186	268	206
10～19歳	58	59	73	61	54	66
20～29歳	59	341	64	305	61	331
30～39歳	134	608	108	577	113	587
40～49歳	203	325	262	313	286	325
50～59歳	311	247	413	323	418	333
60～69歳	903	558	961	602	863	589
70～79歳	1,260	794	1,366	940	1,338	951
80～89歳	577	580	623	635	714	689
90歳以上	73	207	90	199	97	209
合計	3,819	3,903	4,210	4,141	4,212	4,286



(2) 診療科別患者数および構成比率、平均年齢、在院日数の平均

診療科	2013年		2014年		2015年	
	退院患者数	構成比率	退院患者数	構成比率	退院患者数	構成比率
内科	3690	47.8%	4055	48.5%	3,924	46.2%
小児科	446	5.8%	462	5.5%	493	5.8%
外科	1088	14.1%	1193	14.3%	1,125	13.2%
産科**	616	8.0%	836	10.0%	1,011	11.9%
婦人科**	412	5.3%	138	1.7%		
泌尿器科	325	4.2%	387	4.6%	359	4.2%
整形外科	643	8.3%	780	9.3%	800	9.4%
皮膚科	21	0.3%	15	0.2%	14	0.2%
耳鼻咽喉科	19	0.2%				
眼科	184	2.4%	214	2.6%	229	2.7%
緩和ケア*	15	0.2%	168	2.0%	293	3.4%
回復期リハ	263	3.4%	106	1.3%	250	2.9%
合計	7,722	100%	8,354	100%	8,498	100.0%

*2013年12月より

**2015年より産婦人科で集計

診療科	平均年齢 (歳)			在院日数の平均 (日)		
	2013年	2014年	2015年	2013年	2014年	2015年
内科	70.1	70.5	69.8	14.6	13.7	12.4
小児科	2.6	3.0	2.4	5.7	5.1	5.2
外科	64.0	64.0	65.1	14.0	12.6	12.3
産科**	31.7	34.9	34.6	10.7	9.5	9.8
婦人科**	37.7	36.0		6.7	7.9	
泌尿器科	66.8	66.0	66.4	4.3	4.5	4.9
整形外科	62.4	64.8	64.5	21.5	27.3	19.5
皮膚科	54.6	59.2	59.8	7.7	5.9	9.6
耳鼻咽喉科	56.4			2.0		
眼科	74.6	74.7	75.9	3.3	2.8	2.5
緩和ケア	76.5	71.5	73.2	34.3	18.3	20.8
回復期リハ	73.5	72.8	73.1	75.6	73.8	83.4
合計	59.9	61.1	60.8	15.2	14.0	14.1

(3) 疾病分類 (中間分類) 別患者数

大分類名	中間分類ICD	中間分類名称	2013年	2014年	2015年
感染・ 寄生虫	A00-A09	腸管感染症	101	103	100
	A15-A19	結核	8	10	9
	A20-A28	人畜共通細菌性疾患	0	1	0
	A30-A49	その他の細菌性疾患	58	47	49
	A50-A64	主として性的伝播様式をとる感染症	4	2	1
	A70-A74	クラミジアによるその他の疾患	2	0	0
	A80-A89	中枢神経系のウイルス感染症	2	1	2
	B00-B09	皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	12	12	2
	B15-B19	ウイルス肝炎	23	22	5
	B20-B24	ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 病	0	1	1
	B25-B34	その他のウイルス疾患	14	12	20
	B35-B49	真菌症	19	11	19
	B50-B64	原虫疾患	5	7	0
	B65-B83	ぜん (蠕) 虫症	0	1	0
B85-B89	シラミ症、ダニ症およびその他の動物寄生虫	0	0	0	
B90-B94	感染症および寄生虫症の続発・後遺症	3	1	0	
		小計	251	231	208
新生物	C00-C14	口唇、口腔および咽頭	5	6	6
	C15-C26	消化器	665	694	659
	C30-C39	呼吸器および胸腔内臓器	184	210	186
	C40-C41	骨および関節軟骨	1	0	0
	C43-C44	皮膚	1	3	1
	C45-C49	中皮および軟部組織	13	7	7
	C50	乳房	67	69	91
	C51-C58	女性生殖器	15	14	10
	C60-C63	男性生殖器	161	185	177
	C64-C68	尿路	24	23	49
	C69-C72	眼、脳および中枢神経系のその他の部位	1	1	1
	C73-C75	甲状腺およびその他の内分泌腺	0	1	2
	C76-C80	部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物	61	58	51
	C81-C96	原発と記載されたまたは推定されたリンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物	28	36	31
	D00-D09	上皮内癌	46	50	47
D10-D36	良性新生物	128	201	168	
D37-D48	性状不詳または不明の新生物	24	48	52	
		小計	1424	1606	1538
血液・免疫	D50-D53	栄養性貧血	12	20	16
	D55-D59	溶血性貧血	0	0	4
	D60-D64	無形成性貧血およびその他の貧血	7	0	8
	D63*	他に分類される慢性疾患における貧血	0	0	2
	D65-D69	凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病変	25	11	18
	D70-D77	血液および造血器のその他の疾患	3	5	5
	D80-D89	免疫機構の障害	1	1	0
		小計	48	37	53
内分泌・ 代謝	E00-E07	甲状腺障害	6	7	5
	E10-E14	糖尿病	96	105	153
	E15-E16	その他のグルコース調節および隣内分泌障害	1	5	9
	E20-E35	その他の内分泌腺障害	8	10	15
	E40-E46	栄養失調 (症)	3	2	1
	E50-E64	その他の栄養欠乏症	2	3	1
	E65-E68	肥満 (症) およびその他の過栄養 (過剰摂食)	0	1	1
	E70-E90	代謝障害	41	46	60
		小計	157	179	245
精神	F00-F09	症状性を含む器質性精神障害	1	4	4
	F10-F19	精神作用物質使用による精神および行動の障害	5	2	3
	F20-F29	統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	0	0	0
	F30-F39	気分 (感情) 障害	2	5	2
	F40-F48	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	3	3	3
	F50-F59	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	1	5	2
	F60-F69	成人の人格および行動の障害	1	0	0
	F80-F89	心理的発達障害	0	0	0
		小計	13	19	14

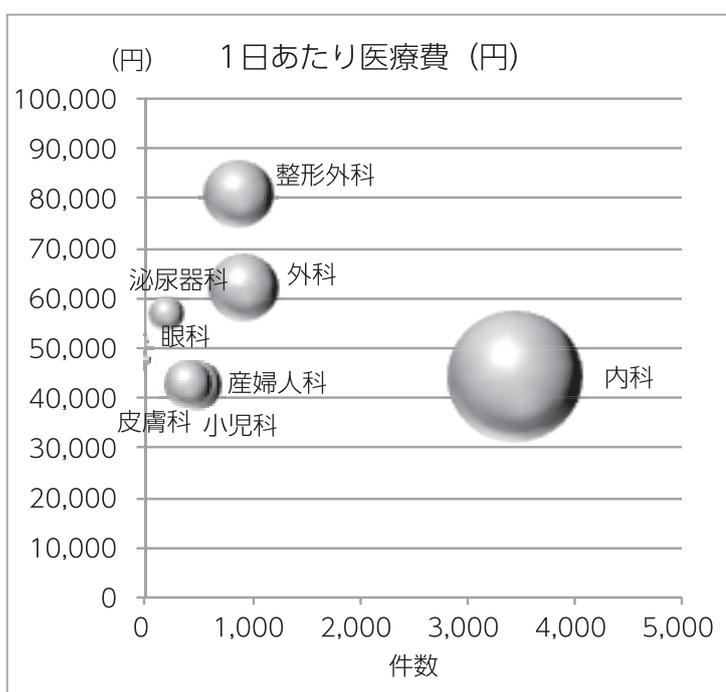
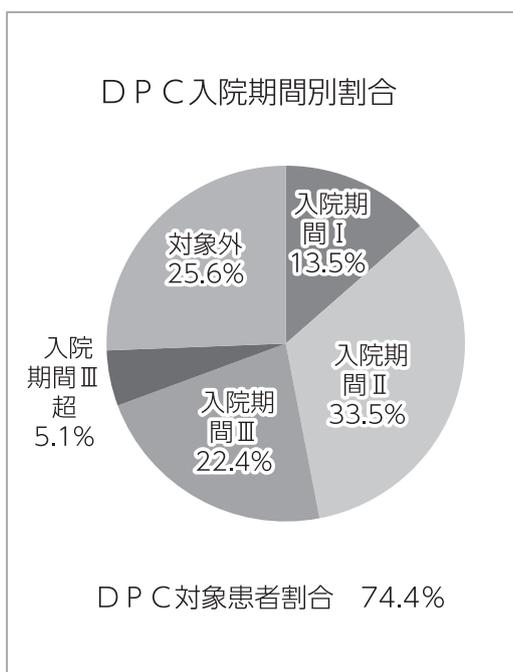
大分類名	中間分類ICD	中間分類名称	2013年	2014年	2015年
神経	G00-G09	中枢神経系の炎症性疾患	10	13	10
	G02*	他に分類されるその他の感染症および寄生虫症における髄膜炎	0	1	0
	G10-G13	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	3	5	4
	G20-G26	錐体外路障害および異常運動	15	26	15
	G30-G32	神経系のその他の変性疾患	10	7	4
	G32*	他に分類される疾患における神経系のその他の変性障害	0	0	1
	G35-G37	中枢神経系の脱髄疾患	0	2	2
	G40-G47	挿間性および発作性障害	100	130	117
	G46*	脳血管疾患における脳の血管（性）症候群	0	0	1
	G50-G59	神経、神経根および神経そう（叢）の障害	11	13	12
	G60-G64	多発（性）ニューロパチ（シ）ーおよびその他の末梢神経系の障害	2	2	1
	G70-G73	神経筋接合部および筋の障害	5	2	2
	G73*	他に分類される疾患における神経筋接合部および筋の障害	0	0	1
	G80-G83	脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群	6	13	9
	G90-G99	神経系のその他の障害	11	14	17
G94*	他に分類される疾患における脳のその他の障害	0	1	1	
	小計	173	229	197	
眼	H00-H06	眼瞼、涙器および眼窩の障害	0	0	1
	H10-H13	結膜の障害	1	0	0
	H15-H22	強膜、角膜、虹彩および毛様体の障害	0	0	1
	H25-H28	水晶体の障害	184	213	226
	H30-H36	脈絡膜および網膜の障害	0	0	1
	H40-H42	緑内障	0	2	0
	小計	185	215	229	
耳	H65-H75	中耳および乳様突起の疾患	5	5	1
	H80-H83	内耳疾患	34	45	55
	H80-H95	耳のその他の障害	3	1	3
	小計	42	51	59	
循環器	I05-I09	慢性リウマチ性心疾患	0	2	4
	I10-I15	高血圧性疾患	6	11	9
	I20-I25	虚血性心疾患	208	217	190
	I26-I28	肺性心疾患および肺循環疾患	7	5	3
	I30-I52	その他の型の心疾患	208	198	184
	I60-I69	脳血管疾患	314	274	287
	I70-I79	動脈、細動脈および毛細血管の疾患	39	34	45
	I80-I89	静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの	29	31	36
	I95-I99	循環器系のその他および詳細不明の障害	1	2	3
	I98*	他に分類される疾患における循環器系のその他の障害	0	0	5
	小計	812	774	766	
呼吸器	J00-J06	急性上気道感染症	32	54	31
	J10-J18	インフルエンザおよび肺炎	290	302	353
	J17*	他に分類される疾患における肺炎	0	1	2
	J20-J22	その他の急性下気道感染症	62	56	53
	J30-J39	上気道のその他の疾患	6	7	11
	J40-J47	慢性下気道疾患	144	139	155
	J60-J70	外的因子による肺疾患	174	224	164
	J80-J84	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	40	48	47
	J85-J86	下気道の化膿性およびえ（壊）死性病態	13	13	18
	J90-J94	胸膜のその他の疾患	41	48	25
	J95-J99	呼吸器系のその他の疾患	15	10	5
J99*	他に分類される疾患における呼吸器障害	0	1	7	
	小計	817	903	871	
消化器	K00-K14	口腔、唾液腺および顎の疾患	1	2	3
	K20-K31	食道、胃および十二指腸の疾患	85	99	92
	K35-K38	虫垂の疾患	71	88	74
	K40-K46	ヘルニア	143	134	164
	K50-K52	非感染性腸炎および非感染性大腸炎	12	22	17
	K55-K63	腸のその他の疾患	525	581	559
	K65-K67	腹膜の疾患	14	9	12
	K67*	その他に分類される感染症における腹膜の障害	0	0	1
	K70-K77	肝疾患	75	82	97
	K80-K87	胆のう（嚢）、胆管および膵の障害	289	470	531
	K90-K93	消化器系のその他の疾患	84	117	77
	K93*	他に分類される疾患におけるその他の消化器の障害	0	0	1
	小計	1299	1604	1628	

大分類名	中間分類ICD	中間分類名称	2013年	2014年	2015年
皮膚	L00-L08	皮膚および皮下組織の感染症	44	36	33
	L10-L14	水疱症	4	1	0
	L20-L30	皮膚炎および湿疹	5	6	6
	L40-L45	丘疹落せつ〈屑〉〈りんせつ〈鱗屑〉〉性障害	1	1	0
	L50-L54	じんま〈蕁麻疹〉疹および紅斑	17	13	8
	L60-L75	皮膚付属器の障害	4	2	3
	L80-L99	皮膚および皮下組織のその他の障害	14	10	13
		小計	89	69	63
筋・骨格	M00-M03	感染性関節障害	9	5	10
	M05-M14	炎症性多発性関節障害	21	17	13
	M15-M19	関節症	252	275	401
	M20-M25	その他の関節障害	3	0	2
	M30-M36	全身性結合組織障害	23	25	34
	M40-M43	変形性脊柱障害	0	7	10
	M45-M49	脊椎障害	49	75	95
	M49*	他に分類される疾患における脊椎障害	0	0	1
	M50-M54	その他の脊柱障害	35	22	19
	M60-M63	筋障害	32	19	23
	M65-M68	滑膜および腱の障害	3	5	4
	M70-M79	その他の軟部組織障害	2	11	4
	M80-M85	骨の密度および構造の障害	7	11	11
	M86-M90	その他の骨障害	19	13	17
M91-M94	軟骨障害	1	1	1	
M95-M99	筋骨格系および結合組織のその他の障害	1	0	4	
		小計	457	486	649
尿路生殖器	N00-N08	糸球体疾患	7	9	3
	N08*	他に分類される疾患における糸球体障害	0	0	1
	N10-N16	腎尿細管間質性疾患	84	119	76
	N17-N19	腎不全	70	78	85
	N20-N23	尿路結石症	87	83	77
	N25-N29	腎および尿管のその他の障害	3	2	3
	N30-N39	尿路系のその他の疾患	103	90	110
	N40-N51	男性生殖器の疾患	36	47	36
	N60-N64	乳房の障害	6	2	2
	N70-N77	女性骨盤臓器の炎症疾患	19	19	18
	N74*	他に分類される疾患における女性骨盤炎症性障害	0	0	1
N80-N98	女性生殖器の非炎症性障害	78	82	77	
N99	腎尿路生殖器系のその他の障害	2	1	0	
		小計	495	532	489
妊娠・分娩	O00-O08	流産に終わった妊娠	137	129	127
	O10-O16	妊娠、分娩および産じょく〈褥〉における浮腫、たんぱく〈蛋白〉尿および高血圧性障害	18	24	18
	O20-O29	主として妊娠に関するその他の母体障害	38	56	51
	O30-O48	胎児および羊膜腔に関連する母体ケアならびに予想される分娩の諸問題	235	272	320
	O60-O75	分娩の合併症	265	152	201
	O80-O84	分娩	103	123	87
	O85-O92	主として産じょく〈褥〉に関連する合併症	3	5	4
	O94-O99	その他の産科的病態、ほかに分類されないもの	2	0	1
		小計	801	761	809

大分類名	中間分類ICD	中間分類名称	2013年	2014年	2015年
周産期	P00-P04	母体側要因ならびに妊娠および分娩の合併症により影響を受けた胎児および新生児	2	0	0
	P05-P08	妊娠期間および胎児養育に関連する障害	32	14	14
	P10-P15	出産外傷	0	0	0
	P20-P29	周産期に特異的な呼吸障害および心血管障害	24	24	27
	P35-P39	周産期に特異的な感染症	0	7	9
	P50-P61	胎児および新生児の出血性障害および血液障害	56	45	75
	P70-P74	胎児および新生児に特異的な一過性の内分泌障害および代謝障害	7	11	11
	P75-P78	胎児および新生児の消化器系障害	0	1	1
	P80-P83	胎児および新生児の外皮および体温調節に関連する病態	0	0	2
	P90-P96	周産期に発生したその他の障害	0	2	0
		小計	121	104	139
先天奇形 染色体	Q00-Q07	神経系の先天奇形	0	0	0
	Q20-Q28	循環器系の先天奇形	2	1	2
	Q35-Q37	唇裂および口蓋裂	0	0	1
	Q38-Q45	消化器系のその他の先天奇形	3	6	4
	Q50-Q56	性器の先天奇形	3	0	1
	Q60-Q64	尿路系の先天奇形	6	1	2
	Q65-Q79	筋骨格系の先天奇形および変形	3	0	1
	Q80-Q89	その他の先天奇形	1	0	0
	Q90-Q99	染色体異常、他に分類されないもの	0	0	0
		小計	18	8	11
症状・ 異常検査	R00-R09	循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候	3	2	5
	R10-R19	消化器系および腹部に関する症状および徴候	0	2	0
	R50-R69	全身症状および徴候	8	9	6
		小計	11	13	11
損傷・中毒	S00-S09	頭部損傷	7	9	13
	S10-S19	頸部損傷	6	3	6
	S20-S29	胸部〈郭〉損傷	14	12	13
	S30-S39	腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷	28	30	26
	S40-S49	肩および上腕の損傷	63	49	54
	S50-S59	肘および前腕の損傷	48	63	53
	S60-S69	手首および手の損傷	6	8	5
	S70-S79	股関節部および大腿の損傷	115	123	124
	S80-S89	膝および下腿の損傷	67	73	52
	S90-S99	足首および足の損傷	11	12	16
	T00-T07	多部位の損傷	6	4	0
	T08-T14	部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷	2	0	1
	T15-T19	自然開口部からの異物侵入の作用	4	5	4
	T20-T32	熱傷および腐食	0	1	0
	T36-T50	薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒	20	17	26
	T51-T65	薬物を主としない物質の毒作用	3	4	1
	T66-T78	外因のその他および詳細不明の作用	27	54	39
	T79	外傷の早期合併症	0	1	0
	T80-T88	外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	74	60	80
	T90-T98	損傷、中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症	8	5	5
		小計	509	533	518
保健サー ビス	Z70-Z76	その他の環境下での保健サービスの利用者	0	0	1
		小計	0	0	1

(4) D P C対象患者の診療科別入院期間別割合、1日あたり医療費

診療科	件数	期間Ⅰの退院割合(%)	期間Ⅱの退院割合(%)	期間Ⅲの退院割合(%)	期間Ⅲ超退院割合(%)	1日あたり医療費(円)
内科	3,445	18.8	43.2	30.2	7.7	44,266
小児科	472	22.7	53.8	22.5	1.1	42,420
外科	923	17.4	44.7	29.7	8.0	62,545
産婦人科	402	18.2	31.3	41.8	8.5	42,882
泌尿器科	194	7.7	61.9	24.7	5.7	56,845
整形外科	867	15.5	49.9	30.2	4.4	80,955
皮膚科	13	23.1	69.2	7.7	0.0	47,404
眼科	4	100.0	0.0	0.0	0.0	51,194
計	6,320	18.1	45.0	30.0	6.8	54,783



(5) D P C 6 桁別件数上位 50 傷病名

順位	D P C 6 桁	D P C 6 桁疾患名称	件数	構成比 (%)	累積 (%)
1	040080	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	367	4.5	4.5
2	07040x	股関節骨頭壊死、股関節症 (変形性を含む)	272	3.3	7.9
3	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	169	2.1	9.9
4	060035	結腸 (虫垂を含む) の悪性腫瘍	164	2.0	11.9
5	040081	誤嚥性肺炎	148	1.8	13.8
6	010060	脳梗塞	146	1.8	15.6
7	060340	胆管 (肝内外) 結石、胆管炎	146	1.8	17.4
8	060020	胃の悪性腫瘍	143	1.8	19.1
9	110310	腎臓または尿路の感染症	137	1.7	20.8
10	140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	137	1.7	22.5
11	070230	膝関節症 (変形性を含む)	135	1.7	24.1
12	040040	肺の悪性腫瘍	128	1.6	25.7
13	060335	胆嚢水腫、胆嚢炎等	125	1.5	27.2
14	100070	2型糖尿病 (糖尿病性ケトアシドーシスを除く)	124	1.5	28.8
15	11012x	上部尿路疾患	106	1.3	30.1
16	060360	慢性膀胱炎 (膀胱胞を含む)	99	1.2	31.3
17	160800	股関節大腿近位骨折	94	1.2	32.4
18	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	93	1.1	33.6
19	050130	心不全	89	1.1	34.7
20	040100	喘息	81	1.0	35.7
21	150010	ウイルス性腸炎	81	1.0	36.7
22	070343	脊柱管狭窄 (脊椎症を含む) 腰部骨盤、不安定椎	80	1.0	37.7
23	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍 (続発性を含む)	78	1.0	38.6
24	060150	虫垂炎	74	0.9	39.5
25	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	73	0.9	40.4
26	120170	早産、切迫早産	72	0.9	41.3
27	090010	乳房の悪性腫瘍	71	0.9	42.2
28	120140	流産	71	0.9	43.1
29	060102	穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患	70	0.9	43.9
30	180040	手術・処置等の合併症	70	0.9	44.8
31	060040	直腸肛門 (直腸 S 状部から肛門) の悪性腫瘍	65	0.8	45.6
32	040120	慢性閉塞性肺疾患	64	0.8	46.4
33	060300	肝硬変 (胆汁性肝硬変を含む)	60	0.7	47.1
34	060100	小腸大腸の良性疾患 (良性腫瘍を含む)	56	0.7	47.8
35	030400	前庭機能障害	54	0.7	48.4
36	040110	間質性肺炎	53	0.7	49.1
37	060130	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症 (その他良性疾患)	53	0.7	49.7
38	060140	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄 (穿孔を伴わないもの)	53	0.7	50.4
39	060350	急性膀胱炎	52	0.6	51.0
40	120060	子宮の良性腫瘍	50	0.6	51.7
41	010069	脳卒中の続発症	49	0.6	52.3
42	06007x	膵臓、脾臓の腫瘍	47	0.6	52.8
43	060330	胆嚢疾患 (胆嚢結石など)	46	0.6	53.4
44	110070	膀胱腫瘍	39	0.5	53.9
45	040070	インフルエンザ、ウイルス性肺炎	35	0.4	54.3
46	060170	閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア	34	0.4	54.7
47	050170	閉塞性動脈疾患	33	0.4	55.1
48	060060	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	32	0.4	55.5
49	120070	卵巣の良性腫瘍	32	0.4	55.9
50	050210	徐脈性不整脈	31	0.4	56.3
件数上位50傷病名の合計			4,581	56.3	
全D P C 対象件数			8,137	100.0	

(6) 退院患者の主な手術 (診療科別、手術室で実施した区分番号K〇〇に該当する行為)

※2015年1月～12月退院患者が入院期間中に施行された輸血を除く手術、産婦人科は分娩室での手技を含む
《外科》

診療報酬 区分番号	行為名称	2013年	2014年	2015年
K005\$	皮膚、皮下腫瘍摘出術 (露出部)	1	0	1
K006\$	皮膚、皮下腫瘍摘出術 (露出部以外)	0	0	2
K0301	四肢・軀幹軟部腫瘍摘出術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、軀幹	2	0	0
K0311	四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、軀幹	0	0	0
K0503	腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	0	0	0
K4611	甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術 片葉のみの場合	0	1	0
K4631	甲状腺悪性腫瘍手術 切除	0	0	0
K4632	甲状腺悪性腫瘍手術 全摘及び亜全摘	0	0	0
K4741	乳腺腫瘍摘出術 長径5センチメートル未満	4	3	3
K4742	乳腺腫瘍摘出術 長径5センチメートル以上	3	0	5
K4761	乳腺悪性腫瘍手術 単純乳房切除術 (乳腺全摘術)	0	0	0
K4762	乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術 (腋窩部郭清を伴わないもの)	15	12	24
K4763	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術 (腋窩部郭清を伴わないもの)	15	8	10
K4764	乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術 (腋窩部郭清を伴うもの (内視鏡下によるものを含む))	0	2	3
K4765	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術 (腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの) ・ 胸筋切除を併施しないもの	7	6	5
K4766	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術 (腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの) ・ 胸筋切除を併施するもの	0	2	1
K4842	胸壁悪性腫瘍摘出術 その他のもの	1	0	0
K488-3	胸腔鏡下試験開胸術	1	0	0
K488-4	胸腔鏡下試験切除術	5	1	2
K494	胸腔内 (胸膜内) 血腫除去術	0	0	0
K496-2	胸腔鏡下膿胸膜または胸膜肺切除術	1	4	2
K496-4	胸腔鏡下膿胸搔爬術	0	1	0
K4982	胸郭形成手術 (膿胸手術の場合) 胸膜肺切除を併施するもの	0	0	0
K502	縦隔腫瘍、胸腺摘出術	1	0	0
K5111	肺切除術 楔状部分切除	0	0	0
K5112	肺切除術 区域切除 (1肺葉に満たないもの)	0	0	0
K5113	肺切除術 肺葉切除	0	0	0
K513	胸腔鏡下肺切除術	0	0	0
K5131	胸腔鏡下肺切除術 肺嚢胞手術 (楔状部分切除によるもの)	8	11	7
K5132	胸腔鏡下肺切除術 その他のもの	2	2	3
K513-4	胸腔鏡下肺縫縮術	4	0	0
K5141	肺悪性腫瘍手術 肺葉切除またはこれに満たないもの	0	0	0
K5141	肺悪性腫瘍手術 部分切除	1	0	0
K5142	肺悪性腫瘍手術 1側肺全摘または1肺葉を超えるもの	0	1	1
K514-21	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 リンパ節郭清を伴わないもの	0	5	3
K514-21	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 部分切除	4	0	0
K514-22	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 リンパ節郭清を伴うもの	0	0	0
K514-23	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺葉切除または1肺葉を超えるもの	0	0	2
K5143	肺悪性腫瘍手術 肺葉切除または1肺葉を超えるもの	5	9	7
K5201	食道縫合術 (穿孔、損傷) 頸部手術	0	0	2
K5213	食道周囲膿瘍切開誘導術 その他のもの (頸部手術を含む)	0	2	0
K5252	食道切除再建術 胸部、腹部の操作によるもの	0	1	0

診療報酬 区分番号	行為名称	2013年	2014年	2015年
K5291	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（頸部、胸部、腹部の操作）	0	3	1
K5292	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術を併施するもの） 胸部、腹部の操作によるもの	0	0	1
K5321	食道・胃静脈瘤手術 血行遮断術を主とするもの	1	0	0
K5371	食道裂孔ヘルニア手術 経胸または経腹	0	0	0
K5372	食道裂孔ヘルニア手術 経胸及び経腹	2	0	0
K6071	血管結紮術 開胸または開腹を伴うもの	0	1	0
K607-2	血管吻合術（簡単なもの）	1	0	0
K620	下大静脈フィルター留置術	0	0	0
K620-2	下大静脈フィルター除去術	0	1	0
K6261	リンパ節摘出術 長径3センチメートル未満	4	3	1
K6262	リンパ節摘出術 長径3センチメートル以上	1	2	1
K6273	リンパ節群郭清術 鎖骨上窩及び下窩	0	1	0
K6274	リンパ節群郭清術 腋窩	0	2	0
K6277	リンパ節群郭清術 後腹膜	1	0	0
K630	腹壁膿瘍切開術	2	0	0
K6321	腹壁腫瘍摘出術（形成手術を必要としない場合）	0	1	0
K6331	ヘルニア手術 腹壁癒痕ヘルニア	9	13	10
K6332	ヘルニア手術 半月状線ヘルニア手術	0	0	1
K6333	ヘルニア手術 臍ヘルニア	5	2	5
K6335	ヘルニア手術 鼠径ヘルニア	136	115	129
K6336	ヘルニア手術 大腿ヘルニア	7	9	11
K6338	ヘルニア手術 骨盤部ヘルニア（閉鎖孔ヘルニア、坐骨ヘルニア、会陰ヘルニア）	1	0	1
K6339	ヘルニア手術 内ヘルニア	0	1	0
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	2	0	1
K635-2	腹腔・静脈シャントバルブ設置術	0	0	1
K636	試験開腹術	7	11	3
K636-3	腹腔鏡下試験開腹術	1	2	1
K636-4	腹腔鏡下試験切除術	1	1	1
K6371	限局性腹腔膿瘍手術 横隔膜下膿瘍	1	2	0
K6373	限局性腹腔膿瘍手術 虫垂周囲膿瘍	0	1	0
K6374	限局性腹腔膿瘍手術 その他のもの	1	0	0
K639	急性汎発性腹膜炎手術	11	11	10
K639-3	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	5	3	3
K6401	腸間膜損傷手術 縫合、修復のみのもの	0	0	0
K6402	腸間膜損傷手術 腸管切除を伴うもの	1	0	0
K641	大網切除術	1	1	0
K6421	大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 腸管切除を伴わないもの	0	1	0
K6422	大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 腸管切除を伴うもの	0	1	0
K643	後腹膜悪性腫瘍手術	0	0	1
K645	骨盤内臓全摘術	0	0	0
K647	胃縫合術（大網充填術または被覆術を含む）	3	5	2
K647-2	腹腔鏡下胃、十二指腸潰瘍穿孔縫合術	1	2	2
K652	胃、十二指腸憩室切除術・ポリープ切除術（開腹によるもの）	0	2	0
K654-2	胃局所切除術	2	0	0
K654-3	腹腔鏡下胃局所切除術	1	1	0
K654-31	腹腔鏡下胃局所切除術 内視鏡処置を併施するもの	0	1	1
K654-32	腹腔鏡下胃局所切除術 その他のもの	0	1	0

診療報酬 区分番号	行為名称	2013年	2014年	2015年
K6551	胃切除術 単純切除術	3	6	0
K6552	胃切除術 悪性腫瘍手術	22	10	18
K655-22	腹腔鏡下胃切除術 悪性腫瘍手術	3	5	5
K655-42	噴門側胃切除術 悪性腫瘍切除術	2	0	0
K655-52	腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍切除術)	0	0	1
K6571	胃全摘術 単純全摘術	1	0	0
K6572	胃全摘術 悪性腫瘍手術	17	13	12
K657-22	腹腔鏡下胃全摘術 悪性腫瘍手術	1	3	2
K662	胃腸吻合術 (ブラウン吻合を含む)	12	7	2
K663	十二指腸空腸吻合術	1	0	0
K664	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)	0	0	1
K667	幽門形成術	2	0	0
K669	胆管切開術	0	0	0
K6711	胆管切開結石摘出術 (チューブ挿入を含む) 胆嚢摘出を含むもの	2	2	3
K6712	胆管切開結石摘出術 (チューブ挿入を含む) 胆嚢摘出を含まないもの	1	0	2
K671-21	腹腔鏡下胆管切開結石摘出術 胆嚢摘出を含むもの	10	5	5
K672	胆嚢摘出術	40	30	39
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	115	154	114
K674	総胆管拡張症手術	0	0	1
K6751	胆嚢悪性腫瘍手術 胆嚢に限局するもの (リンパ節郭清を含む)	1	1	0
K6752	胆嚢悪性腫瘍手術 肝切除 (亜区域切除以上) を伴うもの	1	1	0
K6755	胆嚢悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴う)	0	0	1
K677	胆管悪性腫瘍手術	2	0	0
K677-21	肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建あり	0	0	0
K677-22	肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建なし	0	2	0
K679	胆嚢胃 (腸) 吻合術	0	1	0
K680	総胆管胃 (腸) 吻合術	2	2	2
K681	胆嚢外瘻造設術	0	1	0
K690	肝縫合術	0	0	0
K6951	肝切除術 部分切除	6	7	3
K6952	肝切除術 亜区域切除	1	1	1
K695-21	腹腔鏡下肝切除術 部分切除	1	4	2
K6953	肝切除術 外側区域切除	0	0	1
K6954	肝切除術 1区域切除 (外側区域切除を除く)	2	1	3
K6955	肝切除術 2区域切除	2	0	4
K696	肝内胆管 (肝管) 胃 (腸) 吻合術	1	0	0
K6981	急性膵炎手術 感染性壊死部切除を伴うもの	1	0	0
K70214	膵体尾部腫瘍切除術 膵尾部切除術 (腫瘍摘出術を含む) の場合 脾同時切除の場合	1	1	1
K7022	膵体尾部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合	1	0	1
K702-2	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	0	0	2
K7023	膵体尾部腫瘍切除術 周辺臓器 (胃、結腸、腎、副腎等) の合併切除を伴う腫瘍切除術の場合	1	0	1
K7031	膵頭部腫瘍切除術 膵頭十二指腸切除術の場合	1	2	0
K7032	膵頭部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合または十二指腸温存膵頭切除術の場合	3	2	5
K7033	膵頭部腫瘍切除術 周辺臓器 (胃、結腸、腎、副腎等) の合併切除を伴う腫瘍切除術の場合	0	1	0
K7034	膵頭部腫瘍切除術(血行再建を伴う腫瘍切除術)	0	0	1

診療報酬 区分番号	行為名称	2013年	2014年	2015年
K705	脾嚢胞胃（腸）吻合術	1	0	0
K706	脾管空腸吻合術	1	1	0
K7072	脾嚢胞外瘻造設術 開腹によるもの	1	0	0
K711	脾摘出術	14	11	3
K711-2	腹腔鏡下脾摘出術	0	1	1
K714	腸管癒着症手術	10	6	5
K714-2	腹腔鏡下腸管癒着剥離術	4	6	5
K7152	腸重積症整復術 観血的なもの	0	0	0
K7161	小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術	11	6	14
K7162	小腸切除術 悪性腫瘍手術	2	1	3
K716-21	腹腔鏡下小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術	1	1	3
K717	小腸腫瘍、小腸憩室摘出術（メッケル憩室炎手術を含む）	1	0	1
K7181	虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの	0	2	0
K7182	虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴うもの	1	1	0
K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの	36	36	42
K718-22	腹腔鏡下虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴うもの	11	27	16
K7191	結腸切除術 小範囲切除	2	3	3
K7192	結腸切除術 結腸半側切除	1	1	1
K719-21	腹腔鏡下結腸切除術 小範囲切除、結腸半側切除	6	3	2
K719-22	腹腔鏡下結腸切除術(全切除、亜全切除)	0	0	1
K7193	結腸切除術 全切除、亜全切除または悪性腫瘍手術	32	34	32
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	24	27	25
K724	腸吻合術	5	4	7
K725	腸瘻、虫垂瘻造設術	0	5	2
K725-2	腹腔鏡下腸瘻、虫垂瘻造設術	0	1	0
K726	人工肛門造設術	29	28	32
K7312	結腸瘻閉鎖術 腸管切除を伴うもの	1	0	1
K7321	人工肛門閉鎖術 腸管切除を伴わないもの	2	0	1
K7322	人工肛門閉鎖術 腸管切除を伴うもの	4	11	2
K734	腸回転異常症手術	0	0	0
K735-2	小腸・結腸狭窄部拡張術（内視鏡によるもの）	0	0	1
K735-4	下部消化管ステント留置術	0	3	0
K7362	人工肛門形成術 その他のもの	1	0	0
K7381	直腸異物除去術(経肛門)(内視鏡)	0	0	2
K7382	直腸異物除去術 開腹によるもの	0	1	0
K7391	直腸腫瘍摘出術（ポリープ摘出を含む） 経肛門	0	1	0
K739-2	経肛門的内視鏡下手術（直腸腫瘍に限る）	0	3	0
K7401	直腸切除・切断術 切除術	1	7	5
K7402	直腸切除・切断術 低位前方切除術	5	3	3
K740-21	腹腔鏡下直腸切除・切断術 切除術	0	3	1
K740-22	腹腔鏡下直腸切除・切断術 低位前方切除術	12	12	12
K740-23	腹腔鏡下直腸切除・切断術 切断術	2	1	2
K7403	直腸切除・切断術 超低位前方切除術（経肛門の結腸嚢肛門吻合によるもの）	0	0	0
K7404	直腸切除・切断術 切断術	2	3	1
K7433	痔核手術（脱肛を含む） 結紮術、焼灼術、血栓摘出術	1	0	2
K7434	痔核手術（脱肛を含む） 根治手術	0	4	3
K7435	痔核手術（脱肛を含む） P P H	3	2	2

診療報酬 区分番号	行為名称	2013年	2014年	2015年
K745	肛門周囲膿瘍切開術	1	0	0
K7462	痔瘻根治手術 複雑なもの	1	0	0
K747	肛門良性腫瘍、肛門ポリープ、肛門尖圭コンジローム切除術	0	3	2
K7481	肛門悪性腫瘍手術 切除	0	0	0
K753	毛嚢嚢、毛嚢瘻、毛嚢洞手術	0	1	1
K756	副腎悪性腫瘍手術	0	0	1
K756-2	腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術	1	0	0
K769	腎部分切除術	0	0	0
K770-2	腹腔鏡下腎嚢胞切除縮小術	0	0	0
K787	尿管尿管吻合術	0	2	1
K790	尿管皮膚瘻造設術	0	0	0
K791	尿管皮膚瘻閉鎖術	1	0	0
K799	膀胱壁切除術	1	0	0
K800	膀胱憩室切除術	1	0	0
K8031	膀胱悪性腫瘍手術 切除	0	0	1
K804	尿管摘出術	2	0	2
K805	膀胱瘻造設術	0	1	0
K808	膀胱腸瘻閉鎖術	0	1	0
K833	精嚢悪性腫瘍手術	0	0	1
K8352	陰嚢水腫手術 その他	0	0	0
K836	停留精嚢固定術	1	0	0
	外科 合計	783	800	748

《産婦人科》

診療報酬 区分番号	行為名称	2013年	2014年	2015年
K636-3	腹腔鏡下試験開腹術	1	0	0
K6372	限局性腹腔膿瘍手術 ダグラス窩膿瘍	2	0	0
K6374	限局性腹腔膿瘍手術 その他のもの	0	0	0
K641	大網切除術	1	0	0
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	1	0	0
K795	膀胱破裂閉鎖術	1	0	0
K844	バルトリン腺膿瘍切開術	0	1	0
K848	バルトリン腺嚢胞腫瘍摘出術（造袋術を含む）	3	2	1
K849	女子外性器腫瘍摘出術	0	0	1
K851-2	外陰・腔血腫除去術	3	1	1
K8531	腔閉鎖術 中央腔閉鎖術（子宮全脱）	0	1	0
K856	腔壁腫瘍摘出術	1	0	0
K856-4	腔壁尖圭コンジローム切除術	1	1	0
K860	腔壁形成手術	0	2	3
K860-2	腔断端挙上術（腔式・腹式）	0	1	0
K861	子宮内膜搔爬術	24	20	27
K8651	子宮脱手術 腔壁形成手術及び子宮位置矯正術	0	0	2
K8653	子宮脱手術 マンチェスター手術	0	1	0
K8654	子宮脱手術 腔壁形成手術及び子宮全摘術（腔式、腹式）	1	1	4
K866	子宮頸管ポリープ切除術	2	1	2
K867	子宮頸部（腔部）切除術	22	40	28
K867-3	子宮頸部摘出術（腔部切断術を含む）	0	0	5
K871	子宮息肉様筋腫摘出術（腔式）	1	2	0
K8721	子宮筋腫摘出（核出）術 腹式	18	11	13
K8722	子宮筋腫摘出（核出）術 腔式	0	1	3
K877	子宮全摘術	55	59	65
K883	子宮頸管形成手術	1	0	0
K8861	子宮付属器癒着剥離術（両側）開腹によるもの	2	1	0
K8862	子宮付属器癒着剥離術（両側）腹腔鏡によるもの	3	1	0
K8871	卵巣部分切除術（腔式を含む）開腹によるもの	1	1	0
K887-21	卵管結紮術（腔式を含む）（両側）腹腔鏡によるもの	7	3	5
K887-4	腹腔鏡下多嚢胞性卵巣焼灼術	0	1	0
K8881	子宮付属器腫瘍摘出術（両側）開腹によるもの	83	94	99
K8882	子宮付属器腫瘍摘出術（両側）腹腔鏡によるもの	4	11	3
K888-21	卵管全摘除術、卵管腫瘍全摘除術、子宮卵管留血腫手術（両側）開腹によるもの	0	3	5
K888-22	卵管全摘除術、卵管腫瘍全摘除術、子宮卵管留血腫手術（両側）腹腔鏡によるもの	1	0	0
K889	子宮付属器悪性腫瘍手術（両側）	0	0	0
K891	分娩時頸部切開術（縫合を含む）	0	0	0
K892	骨盤位娩出術	0	0	1
K893	吸引娩出術	36	30	36
K895	会陰（陰門）切開及び縫合術（分娩時）	83	74	80
K8961	会陰（腔壁）裂創縫合術（分娩時）筋層に及ぶもの	177	177	176
K8962	会陰（腔壁）裂創縫合術（分娩時）肛門に及ぶもの	9	1	1
K8963	会陰（腔壁）裂創縫合術（分娩時）腔円蓋に及ぶもの	10	11	2
K897	頸管裂創縫合術（分娩時）	5	11	5
K8981	帝王切開術 緊急帝王切開	37	40	27
K8982	帝王切開術 選択帝王切開	98	71	67
K8983	帝王切開術 前置胎盤を合併する場合	0	0	0
K8983	帝王切開術 前置胎盤を合併する場合または32週未満の早産の場合	2	1	0

診療報酬 区分番号	行為名称	2013年	2014年	2015年
K900	臍帯還納術	0	0	1
K901	子宮双手圧迫術 (大動脈圧迫術を含む)	1	0	0
K902	胎盤用手剥離術	9	18	2
K9051	子宮内反症整復手術 (腔式、腹式)	0	0	1
K9062	子宮頸管縫縮術 シロッカー法またはラッシュ法	7	14	15
K9063	子宮頸管縫縮術 縫縮解除術 (チューブ抜去術)	2	3	0
K9091	流産手術 妊娠11週までの場合	93	106	98
K9092	流産手術 妊娠11週を超え妊娠21週までの場合	4	5	3
K909-2	子宮内容除去術 (不全流産)	29	14	12
K911	胞状奇胎除去術	4	2	1
K9121	子宮外妊娠手術 開腹によるもの	6	3	7
K9122	子宮外妊娠手術 腹腔鏡によるもの	4	0	0
産婦人科 合計		855	841	802

《泌尿器科》

診療報酬 区分番号	行為名称	2013年	2014年	2015年
K6072	血管結紮術 その他のもの	2	0	0
K607-3	上腕動脈表在化法	2	0	0
K608-3	内シャント血栓除去術	14	2	0
K610-3	内シャントまたは外シャント設置術	18	20	38
K6145	血管移植術、バイパス移植術 その他の動脈	2	0	0
K6335	ヘルニア手術 鼠径ヘルニア	1	0	0
K636	試験開腹術	1	1	0
K769	腎部分切除術	0	0	0
K772	腎摘出術	0	0	2
K773	腎 (尿管) 悪性腫瘍手術	5	7	3
K790	尿管皮膚瘻造設術	0	0	0
K8012	膀胱単純摘除術 その他のもの	0	0	0
K8036	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術	6	0	0
K8036イ	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用のもの	0	1	0
K8036ロ	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 その他のもの	15	26	23
K814	外尿道口切開術	0	0	1
K8281	包茎手術 背面切開術	0	0	1
K8351	陰嚢水腫手術 交通性陰嚢水腫手術	1	0	1
K8352	陰嚢水腫手術 その他	7	6	12
K841	経尿道的前立腺手術	30	13	1
K8412	経尿道的前立腺手術 その他のもの	0	0	13
K843	前立腺悪性腫瘍手術	12	8	6
泌尿器科 合計		116	84	101

《整形外科》

診療報酬 区分番号	行為名称	2013年	2014年	2015年
K001\$	皮膚切開術	0	0	8
K005\$	皮膚、皮下腫瘤摘出術	0	0	2
K0102	瘢痕拘縮形成手術 その他	0	0	0
K0131	分層植皮術	0	0	0
K0134	分層植皮術	0	0	0
K015\$	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術	0	2	0
K023	筋膜切離術、筋膜切開術	0	0	2
K025	股関節内転筋切離術	7	24	13
K026-2	股関節周囲筋腱解離術（変形性股関節症）	1	0	1
K0271	筋炎手術 腸腰筋、殿筋、大腿筋	1	0	0
K028	腱鞘切開術（関節鏡下によるものを含む）	0	1	1
K029	筋肉内異物摘出術	0	0	0
K0301	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	8	3	1
K0302	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 手、足	0	0	0
K034	腱切離・切除術（関節鏡下によるものを含む）	1	1	0
K035	腱剥離術（関節鏡下によるものを含む）	0	0	0
K035-2	腱滑膜切除術	0	0	1
K037	腱縫合術	2	0	3
K037-2	アキレス腱断裂手術	2	2	5
K0401	腱移行術 指（手、足）	1	0	1
K0402	腱移行術 その他のもの	0	1	1
K0432	骨搔爬術 前腕、下腿	0	0	1
K043-32	骨髄炎手術（骨結核手術を含む） 前腕、下腿	0	0	0
K043-33	骨髄炎手術（骨結核手術を含む） 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	1	0	1
K0441	骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿	2	0	0
K0442	骨折非観血的整復術 前腕、下腿	7	7	3
K0443	骨折非観血的整復術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	3	0	1
K0451	骨折経皮的鋼線刺入固定術 肩甲骨、上腕、大腿	1	0	0
K0452	骨折経皮的鋼線刺入固定術 前腕、下腿	7	8	3
K0453	骨折経皮的鋼線刺入固定術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指（手、足）その他	5	9	5
K0461	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	86	67	83
K0462	骨折観血的手術 前腕、下腿、手舟状骨	60	76	75
K046-21	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの） 肩甲骨、上腕、大腿	4	9	2
K0463	骨折観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手（舟状骨を除く）、足、指（手、足）その他	22	33	40
K0481	骨内異物（挿入物を含む）除去術 頭蓋、顔面、肩甲骨、上腕、大腿	2	0	0
K0482	骨内異物（挿入物を含む）除去術 その他の頭蓋、顔面、肩甲骨、上腕、大腿	14	7	10
K0483	骨内異物（挿入物を含む）除去術 前腕、下腿	31	24	25
K0484	骨内異物（挿入物を含む）除去術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指（手、足）その他	14	14	12
K0492	骨部分切除術 前腕、下腿	0	1	0
K0502	腐骨摘出術 前腕、下腿	0	0	1
K0521	骨主要切除術 肩甲骨、上腕、大腿	1	0	2
K0522	骨腫瘍切除術 前腕、下腿	2	2	1
K0523	骨腫瘍切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指（手、足）その他	0	1	0
K0531	骨悪性腫瘍手術 肩甲骨、上腕、大腿	0	1	0
K0533	骨悪性腫瘍手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	1	0	0

診療報酬 区分番号	行為名称	2013年	2014年	2015年
K0541	骨切り術 肩甲骨、上腕、大腿	0	2	2
K0542	骨切り術 前腕、下腿	0	0	0
K0543	骨切り術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足) その他	0	0	1
K055-3	大腿骨近位部(転子間を含む)骨切り術	1	0	0
K0561	偽関節手術 肩甲骨、上腕、大腿	3	0	2
K0562	偽関節手術 前腕、下腿、手舟状骨	2	0	1
K0563	偽関節手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く)、足、指(手、足) その他	2	1	0
K0571	変形治癒骨折矯正手術 肩甲骨、上腕、大腿	0	1	0
K0572	変形治癒骨折矯正手術 前腕、下腿	1	0	2
K0582	骨長調整手術 骨短縮術	0	1	0
K0591	骨移植術(軟骨移植術を含む) 自家骨移植	196	276	233
K0592	骨移植術(軟骨移植術を含む) 同種骨移植(生体)	2	2	0
K0593	骨移植術(軟骨移植術を含む) 同種骨移植(非生体)	15	13	11
K0601	関節切開術 肩、股、膝	2	0	0
K060-31	化膿性または結核性関節炎掻爬術 肩、股、膝	8	10	9
K060-32	化膿性または結核性関節炎掻爬術 胸鎖、肘、手、足	3	0	2
K060-33	化膿性または結核性関節炎掻爬術 肩鎖、指(手、足)、小児肘内障	0	1	0
K0611	関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝	3	10	4
K0612	関節脱臼非観血的整復術 胸鎖、肘、手、足	0	0	2
K0613	関節脱臼非観血的整復術	0	0	1
K0631	関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝	1	0	2
K0632	関節脱臼観血的整復術 胸鎖、肘、手、足	1	0	1
K0633	関節脱臼観血的整復術 肩鎖、指(手、足)	3	4	0
K0651	関節内異物(挿入物を含む)除去術 肩、股、膝	2	3	3
K0652	関節内異物(挿入物を含む)除去術 胸鎖、肘、手、足	1	2	3
K0653	関節内異物(挿入物を含む)除去術 肩鎖、指(手、足)	0	3	1
K0661	関節滑膜切除術 肩、股、膝	0	2	1
K0662	関節滑膜切除術 胸鎖、肘、手、足	2	0	1
K066-21	関節鏡下関節滑膜切除術 肩、股、膝	3	0	1
K066-5	膝蓋骨滑液嚢切除術	1	0	1
K0671	関節鼠摘出手術 肩、股、膝	0	0	0
K068	半月板切除術	0	1	0
K068-2	関節鏡下半月板切除術	6	8	8
K069-3	関節鏡下半月板縫合術	0	1	0
K0701	ガングリオン摘出術 手、足、指(手、足)	0	1	0
K0702	ガングリオン摘出術 その他(ヒグローム摘出術を含む)	0	0	1
K0723	関節切除術 肩鎖、指(手、足)	2	0	1
K0731	関節内骨折観血的手術 肩、股、膝	5	7	5
K0732	関節内骨折観血的手術 胸鎖、肘、手、足	6	11	2
K073-21	関節鏡下関節内骨折観血的手術 肩、股、膝	0	1	0
K073-22	関節鏡下関節内骨折観血的手術 胸鎖、肘、手、足	1	0	0
K0733	関節内骨折観血的手術 肩鎖、指(手、足)	1	2	2
K0743	靱帯断裂縫合術 指(手、足) その他の靱帯	2	1	1
K0751	非観血的関節授動術 肩、股、膝	0	0	0
K0762	観血的関節授動術 胸鎖、肘、手、足	3	0	0
K0773	観血的関節制動術 肩鎖、指(手、足)	0	0	0
K0782	観血的関節固定術 胸鎖、肘、手、足	1	2	0
K0783	観血的関節固定術 肩鎖、指(手、足)	1	0	0
K0791	靱帯断裂形成手術 十字靱帯	1	0	0
K079-21	関節鏡下靱帯断裂形成手術 十字靱帯	0	0	0
K0793	靱帯断裂形成手術 指(手、足) その他の靱帯	1	1	0

診療報酬 区分番号	行為名称	2013年	2014年	2015年
K0802	関節形成手術 胸鎖、肘、手、足	1	0	0
K080-2	内反足手術	0	0	0
K0803	関節形成手術 肩、股、膝	2	0	0
K080-3	肩腱板断裂手術	0	0	0
K080-31	肩腱板断裂手術 簡単なもの	1	0	0
K0811	人工骨頭挿入術 肩、股	29	31	31
K0821	人工関節置換術 肩、股、膝	242	326	369
K0822	人工関節置換術 胸鎖、肘、手、足	0	3	1
K082-21	人工関節抜去術 肩、股、膝	2	0	0
K082-31	人工関節再置換術 肩、股、膝	9	10	6
K083	鋼線等による直達牽引（初日。観血的に行った場合の手技料を含む）（1局所につき）	1	0	4
K083	鋼線等による直達牽引（初日。観血的に行った場合の手技料を含む）（2局所につき）	1	0	0
K0842	四肢切断術 上腕、前腕、手、大腿、下腿、足	9	11	4
K0843	四肢切断術 指（手、足）	3	5	2
K0871	断端形成術（骨形成を要するもの） 指（手、足）	0	0	1
K093	手根管開放手術	1	0	3
K093-2	関節鏡下手根管開放手術	1	1	0
K097	手掌、足底異物摘出術	0	0	0
K098	手掌屈筋腱縫合術	1	1	0
K099-22	デュピイトレン拘縮手術 2指から3指	1	0	3
K108	母指対立再建術	3	1	2
K110-2	第一足指外反症矯正手術	3	0	0
K112	腸骨窩膿瘍切開術	0	0	0
K113	腸骨窩膿瘍搔爬術	0	1	1
K116	脊椎、骨盤骨搔爬術	0	0	1
K117	脊椎脱臼非観血的整復術	1	0	0
K125	骨盤骨折観血的手術（腸骨翼骨折を除く）	0	1	0
K1262	脊椎、骨盤骨（軟骨）組織採取術（試験切除によるもの） その他 のもの	0	1	0
K128	脊椎、骨盤内異物（挿入物）除去術	0	1	0
K131	椎弓切除術	1	0	0
K131-2	内視鏡下椎弓切除術	0	1	0
K132	椎弓形成手術	4	0	0
K133	黄色靱帯骨化症手術	0	1	0
K1341	椎間板摘出術 前方摘出術	0	1	1
K1342	椎間板摘出術 後方摘出術	8	13	12
K134-22	内視鏡下椎間板摘出（切除）術 後方摘出術	0	8	0
K1343	椎間板摘出術 側方摘出術	0	1	0
K1344	椎間板摘出術 経皮的髄核摘出術	0	0	0
K135	脊椎、骨盤腫瘍切除術	0	1	0
K136	脊椎、骨盤悪性腫瘍手術	1	2	2
K140	骨盤骨切り術	0	2	0
K141-2	寛骨臼移動術	1	1	0
K1421	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間または多椎弓の場合を含む） 前方椎体固定	0	1	1
K1422	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間または多椎弓の場合を含む） 後方または後側方固定	2	3	4
K1423	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間または多椎弓の場合を含む） 後方椎体固定	5	6	5

診療報酬 区分番号	行為名称	2013年	2014年	2015年
K142-4	経皮的椎体形成術	0	4	0
K1425	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間または多椎弓の場合を含む） 椎弓切除	16	17	20
K1426	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間または多椎弓の場合を含む） 椎弓形成	8	9	9
K144	体外式脊椎固定術	1	0	0
K1821	神経縫合術 指（手、足）	0	0	2
K1822	神経縫合術 その他のもの	0	1	1
K188	神経剥離術	1	0	0
K1881	神経剥離術 鏡視下によるもの	0	0	1
K1882	神経剥離術 その他のもの	2	1	3
K1911	脊椎腫瘍摘出術 髄外のもの	0	0	1
K1912	脊椎腫瘍摘出術 髄中のもの	0	0	1
K197	神経移行術	5	2	4
K198	神経移植術	0	1	0
K6072	血管結紮術 その他のもの	1	0	0
K6104	動脈形成術、吻合術 指（手、足）の動脈	0	1	0
	整形外科 合計	935	1130	1103

《皮膚科》

診療報酬 区分番号	行為名称	2013年	2014年	2015年
K005\$	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）	3	1	0
K006\$	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）	8	12	6
K0072	皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	5	2	2
K0131	分層植皮術	3	0	1
K013-21	全層植皮術	2	0	0
K015\$	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術	1	1	0
K0301	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術	0	0	1
	皮膚科 合計	22	16	10

《眼科》

診療報酬 区分番号	行為名称	2013年	2014年	2015年
K200	涙嚢切開術	1	0	0
K2193	眼瞼下垂症手術 その他のもの	1	0	0
K224	翼状片手術（弁の移植を要するもの）	1	0	0
K2681	緑内障手術 虹彩切除術	0	0	1
K2682	緑内障手術 流出路再建術	0	0	1
K2761	網膜光凝固術 通常のもの（一連につき）	0	0	2
K2762	網膜光凝固術 その他特殊なもの（一連につき）	2	0	0
K2821□	水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 その他のもの	208	228	224
K2822	水晶体再建術 眼内レンズを挿入しない場合	0	1	0
	眼科 合計	213	229	228

(7) 退院患者の主な処置（手術室以外で実施した区分番号K〇〇に該当する行為）

※2015年1月～12月退院患者が入院期間中に施行されたもので輸血を除く

診療報酬 区分番号	行為名称	2013年	2014年	2015年
K000\$	創傷処理	21	34	40
K001\$	皮膚切開術	23	22	38
K002\$	デブリードマン	4	0	0
K005\$	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）	0	0	1
K006\$	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）	2	11	6
K007\$	皮膚悪性腫瘍切除術	0	0	3
K013\$	分層植皮術	0	2	0
K015\$	皮弁作成術・移動術・切断術・遷延皮弁術	0	0	1
K0442	骨折非観血的整復術（前腕）	0	0	1
K047-2	難治性骨折超音波治療法（一連につき）	2	0	3
K047-3	骨折超音波治療法（一連につき）	39	61	28
K0611	関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝	0	0	11
K083	鋼線等による直達牽引（初日。観血的に行った場合の手技料を含む）（1局所につき）	0	0	3
K300	鼓膜切開術	1	1	0
K331	鼻腔粘膜焼灼術	0	0	2
K333-3	鼻骨骨折徒手整復術	0	1	0
K340	鼓膜切開術	0	0	0
K368	扁桃周囲膿瘍切開術	2	0	4
K3692	咽頭異物摘出術 複雑なもの	0	0	0
K386	気管切開術	22	16	10
K3901	喉頭異物摘出術 直達鏡によらないもの	0	0	0
K3902	喉頭異物摘出術 直達鏡によるもの	0	0	0
K3911	気管異物除去術 直達鏡によるもの	0	2	0
K472	乳腺膿瘍切開術	0	0	1
K474-3	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（一連につき）	1	0	0
K5091	気管支異物除去術 直達鏡によるもの	0	0	2
K5221	食道狭窄拡張術（内視鏡によるもの）	0	0	1
K5222	食道狭窄拡張術 食道ブジー法	2	3	5
K522-2	食道ステント留置術	6	6	2
K5223	食道狭窄拡張術 拡張用バルーンによるもの	3	8	1
K526-22	内視鏡的食道粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	2	4	2
K533	食道・胃静脈瘤硬化療法（内視鏡によるもの）（一連として）	2	3	2
K533-2	内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	11	7	26
K546	経皮的冠動脈形成術	4	2	0
K5463	経皮的冠動脈形成術 その他のもの	0	2	0
K549	経皮的冠動脈ステント留置術	25	10	0
K5492	経皮的冠動脈ステント留置術 不安定狭心症に対するもの	0	11	0
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術 その他のもの	0	17	19
K596	体外ペースメーカー術	2	1	0
K5972	ペースメーカー移植術 経静脈電極の場合	25	20	21
K597-2	ペースメーカー交換術	10	10	7
K6072	血管結紮術 その他のもの	0	2	0
K608-3	内シャント血栓除去術	0	4	0
K6105	動脈形成術、吻合術（その他の動脈）	0	0	1

診療報酬 区分番号	行為名称	2013年	2014年	2015年
K6112	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈または腹腔内持続注入用埋込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	0	0	2
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈または腹腔内持続注入用埋込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	24	25	20
K6146	血管移植術 バイパス移植術 その他の動脈	0	1	0
K615	血管塞栓術 (頭部、胸腔、腹腔内血管)	0	0	0
K6151	血管塞栓術 (頭部、胸腔、腹腔内血管) 止血術	10	7	13
K6152	血管塞栓術 (頭部、胸腔、腹腔内血管) 選択的動脈科学塞栓術	51	33	21
K6153	血管塞栓術 (頭部、胸腔、腹腔内血管) その他のもの	0	3	28
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	8	7	8
K616-4	経皮的シャント拡張術・血栓除去術	24	16	6
K6182	中心静脈栄養用植込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	2	2	2
K620	下大静脈フィルター留置術	2	3	2
K6262	リンパ節摘出術 (長径3cm以上)	0	0	1
K635	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	0	2	5
K6371	限局性腹腔膿瘍手術 (横隔膜下膿瘍)	0	0	1
K637-2	経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	4	4	5
K651	内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術	2	1	1
K6531	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜切除術	11	16	6
K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	20	15	12
K653-3	内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	5	2	2
K6534	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 その他のポリープ・粘膜切除術	2	7	5
K653-4	内視鏡的表在性胃悪性腫瘍光線力学療法	1	0	0
K653-5	内視鏡的胃、十二指腸狭窄拡張術	2	1	17
K654	内視鏡的消化管止血術	65	56	62
K664	胃瘻造設術 (経皮的内視鏡下胃瘻造設術を含む)	53	53	14
K664-2	経皮経食道胃管挿入術 (PTEG)	3	2	0
K665-2	胃瘻抜去術	0	0	3
K678	体外衝撃波胆石破碎術 (一連につき)	1	5	41
K681	胆嚢外瘻造設術	2	0	0
K6822	胆管外瘻造設術 経皮経肝によるもの	2	0	1
K682-2	経皮的胆管ドレナージ術	30	26	39
K682-3	内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術 (ENBD)	29	27	18
K682-4	超音波内視鏡下瘻孔形成術 (腹腔内膿瘍に対するもの)	1	0	0
K6851	内視鏡的胆道結石除去術 胆道碎石術を伴うもの	2	7	17
K6852	内視鏡的胆道結石除去術 その他のもの	12	22	17
K686	内視鏡的胆道拡張術	1	1	3
K6871	内視鏡的乳頭切開術 乳頭括約筋切開のみのもの	40	86	55
K6872	内視鏡的乳頭切開術 胆道碎石術を伴うもの	6	14	8
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	53	81	106
K689	経皮的経肝胆管ステント挿入術	2	0	0
K691-2	経皮的肝膿瘍ドレナージ術	3	3	6

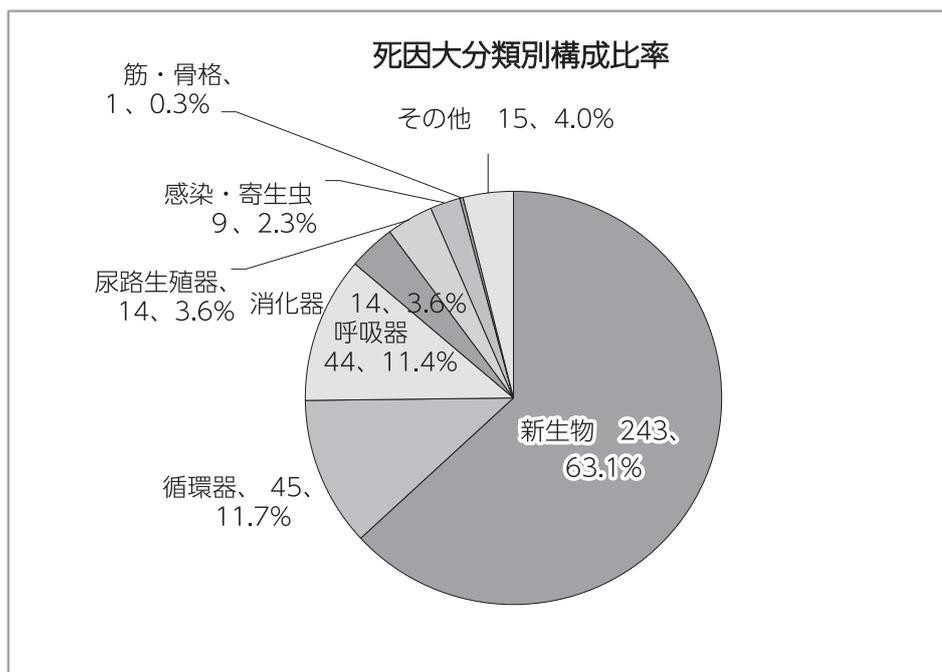
診療報酬 区分番号	行為名称	2013年	2014年	2015年
K697-3	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（一連として）	0	0	0
K697-31	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（一連として）2cm以内のもの	4	2	0
K697-32	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（一連として）2cmを超えるもの	1	0	0
K6992	膵結石手術 軽十二指腸乳頭によるもの	0	43	60
K699-2	体外衝撃波膵石破碎術（一連につき）	0	64	235
K7071	膵嚢胞外瘻造設術 内視鏡によるもの	1	0	0
K708-3	内視鏡的膵管ステント留置術	10	122	229
K7151	腸重積症整復術 非観血的なもの	1	8	21
K7211	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術 長径2cm未満	352	469	402
K7212	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術 長径2cm以上	35	28	21
K721-21	内視鏡的大腸ポリープ切除術 長径2cm未満	2	0	1
K721-3	内視鏡的結腸異物摘出術	0	0	0
K721-4	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	0	2	0
K722	小腸結腸内視鏡的止血術	6	13	20
K725	腸瘻、虫垂瘻造設術	8	0	0
K735-2	小腸・結腸狭窄部拡張術（内視鏡によるもの）	1	4	2
K735-4	下部消化管ステント留置術	0	0	3
K7381	直腸異物除去術 経肛門（内視鏡によるもの）	0	1	0
K766	経皮的尿管拡張術（経皮的腎瘻造設術を含む）	0	1	0
K768	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術（一連につき）	100	125	125
K775	経皮的腎（腎盂）瘻造設術	0	3	0
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	15	16	0
K783-3	経尿道的尿管ステント抜去術	1	5	4
K7981	膀胱結石、異物摘出術 経尿道的手術	1	0	0
K7982	膀胱結石、異物摘出術 膀胱高位切開術	2	0	0
K800-2	経尿道的電気凝固術	1	1	0
K805	膀胱瘻造設術	2	0	0
K813	尿道周囲膿瘍切開術	1	0	0
K821	尿道狭窄内視鏡手術	2	0	0
K821-2	尿道狭窄拡張術（尿道バルーンカテーテル）	1	0	0
K9131	新生児仮死蘇生術 仮死第1度のもの	1	1	1
K9132	新生児仮死蘇生術 仮死第2度のもの	2	0	0
	合計	1232	1696	1912

(8) 死因統計

《大分類別件数》

大分類	分類名	死亡退院数			24時間以内死亡数			平均年齢*		
		2013年	2014年	2015年	2013年	2014年	2015年	2013年	2014年	2014年
A00-B99	感染・寄生虫	9	7	9	1		1	73.9	77.9	77.8
C00-D48	新生物	158	216	243	3	8	15	74.1	72.1	73.1
D50-D89	血液・免疫	2	1							
E00-E90	内分泌・代謝		3	3						
F00-F99	精神	1	1							
G00-G99	神経	3		3						
I00-I99	循環器	38	41	45	9	8	10	83.7	82.5	82.4
J00-J99	呼吸器	48	53	44	2	3	6	80.9	80.1	78.3
K00-K93	消化器	16	19	14	2	4	4	75.3	77.5	72.6
L00-L99	皮膚	1	1	1						
M00-M99	筋・骨格	3	4	1						
N00-N99	尿路生殖器	6	4	14			4	73.5		82.8
Q00-Q99	先天奇形染色体									
R00-R99	症状・異常検査	1	3	5	1					89.0
S00-T98	損傷・中毒	4	3	3	1					
	総計	290	356	385	19	23	40	76.5	75.4	75.5

*5件以上のみ算出



《原死因 ICD別》

大分類名	原死因 病名ICD	疾病分類名称	死亡患者数		
			2013年	2014年	2015年
感染・ 寄生虫	A04.7	クロストリジウム ディフィシレによる全腸炎			
	A04.9	細菌性腸管感染症、詳細不明			1
	A17.0	結核性髄膜炎 (G01*)		1	
	A41.0	黄色ブドウ球菌による敗血症		1	
	A41.1	その他の明示されたブドウ球菌による敗血症			
	A41.2	詳細不明のブドウ球菌による敗血症			
	A41.5	その他のグラム陰性菌による敗血症	1		
	A41.8	その他の明示された敗血症		1	
	A41.9	敗血症	2		6
	A49.9	細菌感染症、詳細不明			
	B18.1	慢性B型ウイルス肝炎	1		
	B18.2	慢性C型ウイルス肝炎	2	1	2
	B37.7	カンジダ性敗血症			
	B44.0	侵襲性肺アスペルギルス症			
	B44.1	その他の肺アスペルギルス症	3		
	B59	ニューモシスチス症		2	
	B90	結核の続発・後遺症			
	B90.9	陳旧性肺結核		1	
			小計	9	7
新生物	C02.9	舌癌部位不明	3		
	C03.1	下顎歯肉		1	1
	C06.0	頬粘膜			1
	C06.9	口腔、部位不明	1		
	C13.9	下咽頭、部位不明	1	1	1
	C15.0	頸部食道	1		
	C15.1	胸部食道	2	3	1
	C15.3	上部食道			
	C15.4	中部食道		1	
	C15.5	下部食道			
	C15.9	食道癌	1	2	2
	C16.0	胃噴門部癌	3	2	3
	C16.1	胃底部			1
	C16.2	胃体部	11	11	7
	C16.3	幽門前庭	4	3	6
	C16.4	幽門	2	4	1
	C16.5	胃小弯、部位不明	2	2	
	C16.9	胃癌	2	7	20
	C17.0	十二指腸		2	1
	C17.1	空腸	1		1
	C18.0	盲腸癌		3	4
	C18.2	上行結腸癌	2	8	5
	C18.3	右結腸曲 (肝彎曲)		1	
	C18.4	横行結腸癌	2		2
	C18.5	左結腸曲 (脾彎曲)	2		
	C18.6	下行結腸癌		1	3
	C18.7	S状結腸癌	3	1	7
	C18.9	大腸癌	1		1
	C19	直腸S状結腸癌	1		
	C20	直腸癌	6	9	12

大分類名	原死因 病名ICD	疾病分類名称	死亡患者数		
			2013年	2014年	2015年
新生物	C21.1	肛門管			1
	C22.0	肝癌	8	13	17
	C22.1	肝内胆管癌	3	2	
	C23	胆のう癌	1	3	2
	C24.0	肝外胆管癌	7	3	8
	C24.1	ファータール〈Vater〉乳頭膨大部癌	1	1	2
	C24.9	胆道、部位不明			1
	C25.0	膵頭部の癌	7	9	8
	C25.1	膵体部の癌	2	3	7
	C25.2	膵尾部の癌	1	4	2
	C25.4	内分泌膵	1		
	C25.8	膵の境界部病巣	2		
	C25.9	膵臓癌		1	9
	C30.0	鼻腔の癌			1
	C31.0	上顎洞の癌		2	1
	C31.2	前頭洞の癌		1	
	C32.9	喉頭、部位不明			1
	C34.0	主気管支の癌	5	5	5
	C34.1	上葉、気管支または肺	22	25	17
	C34.2	中葉、気管支または肺	1	4	3
	C34.3	下葉、気管支または肺	16	18	12
	C34.9	気管支・肺癌		10	16
	C37	胸腺の悪性新生物		1	
	C38	心臓、縦隔および胸膜の悪性新生物			1
	C38.3	縦隔、部位不明			1
	C41.0	頭蓋骨および顔面骨の癌	1		
	C44.5	体幹皮膚癌		2	
	C44.6	上肢の皮膚、肩を含む		1	
	C45.0	胸膜中皮腫	2		
	C45.1	腹膜中皮腫			
	C45.9	中皮腫、部位不明			1
	C49.2	下肢の結合組織および軟部組織、股関節部を含む	1		
	C49.9	結合組織および軟部組織、部位不明		1	
	C50.2	乳房上内側4分の1	1	2	1
	C50.4	乳房上外側4分の1	2	3	1
	C50.9	乳癌		4	9
	C53.0	子宮頸内膜〈endocervix〉		1	
	C53.9	子宮頸(部)癌	1		2
	C54	子宮体部の悪性新生物			3
	C54.2	子宮筋層			1
	C54.9	子宮体部癌	1	2	
C55	子宮の悪性新生物、部位不明		1		
C56	卵巣癌	2	1	1	
C60.2	陰茎体部		1		
C61	前立腺癌	2	11	2	
C62.1	下降精巣〈睪丸〉			1	
C64	腎臓癌		1	3	
C65	腎盂の悪性新生物		1	1	

大分類名	原死因 病名ICD	疾病分類名称	死亡患者数		
			2013年	2014年	2015年
新生物	C67.0	膀胱三角			1
	C67.2	膀胱側壁			
	C67.9	膀胱癌		5	8
	C69.6	眼窩			1
	C71.9	脳悪性新生物		1	
	C73	甲状腺癌		1	1
	C78.6	転移性癌性腹膜炎(癌性腹水)		1	1
	C80	部位の明示されない悪性新生物	4	2	3
	C82.9	ろ(濾)胞性非ホジキン(non-Hodgkin)リンパ腫、詳細不明		1	
	C83.3	大細胞型(びまん性)	3	1	1
	C84.4	末梢性T細胞リンパ腫		1	
	C85.1	B細胞リンパ腫、詳細不明			
	C85.9	悪性リンパ腫	3	2	
	C90.0	多発性骨髄腫	2		2
	C92.0	急性骨髄性白血病	3		1
	D37.7	その他の消化器の性状不詳または不明の新生物			1
	D38.0	喉頭	1		
	D38.4	胸腺			1
	D46.9	骨髄異形成症候群、詳細不明	1	1	1
	D48.9	性状不詳または不明の新生物、詳細不明		1	
小計			158	216	243
血液・ 免疫	D65	播種性血管内凝固症候群[DIC]	1		
	D76.0	ランゲルハンス(Langerhans)細胞組織球症、他に分類されないもの	1		
	D86.8	心サルコイドーシス		1	
	小計			2	1
内分泌 ・代謝	E10.9	〈I DDM〉合併症を伴わないもの			1
	E11.0	〈N I DDM〉昏睡を伴うもの		1	
	E11.2	〈N I DDM〉腎合併症を伴うもの		1	
	E11.9	〈N I DDM〉合併症を伴わないもの			2
	E86	脱水症		1	
小計				3	3
精神	F00.9	アルツハイマー(Alzheimer)病、詳細不明		1	
	F10.2	アルコール依存症			
	F50.1	非定型神経性無食欲症	1		
	小計			1	1
神経	G12.1	その他の遺伝性脊髄性筋萎縮症			
	G12.2	運動ニューロン疾患			
	G20	パーキンソン(Parkinson病)			3
	G30.9	アルツハイマー(Alzheimer)病、詳細不明	2		
	G71.0	筋ジストロフィー			
	G80.9	脳性麻痺、詳細不明	1		
小計			3		3

大分類名	原死因 病名ICD	疾病分類名称	死亡患者数		
			2013年	2014年	2015年
循環器	I 20.9	狭心症		1	
	I 21.0	前壁の急性貫壁性心筋梗塞			
	I 21.1	下壁の急性貫壁性心筋梗塞	2		
	I 21.2	その他の部位の急性貫壁性心筋梗塞	1		
	I 21.9	急性心筋梗塞	4	8	11
	I 24.8	その他の型の急性虚血性心疾患	1		
	I 25.2	陳旧性心筋梗塞	2	1	
	I 26.9	肺塞栓症			
	I 27.0	原発性肺高血圧症		1	
	I 34.0	僧帽弁閉鎖不全 (症)			1
	I 34.1	僧帽弁逸脱 (症)			1
	I 35.0	大動脈弁狭窄 (症)	1	1	4
	I 35.1	大動脈弁閉鎖不全 (症)	1	1	
	I 35.2	大動脈弁の閉鎖不全 (症) を伴う狭窄 (症)			1
	I 46.9	心停止、詳細不明	1		
	I 49.0	心室細動及び粗動		2	1
	I 48	心房細動及び粗動	5	3	1
	I 50.0	うっ血性心不全	4	3	1
	I 50.1	左室不全			1
	I 50.9	心不全	3	5	7
	I 60	くも膜下出血			
	I 60.6	その他の頭蓋内動脈からのくも膜下出血		1	
	I 60.9	くも膜下出血、詳細不明			1
	I 61.0	(大脳) 半球の脳内出血、皮質下	1	1	1
	I 61.3	脳幹の脳内出血			
	I 61.5	脳内出血、脳室内		1	
	I 61.9	脳内出血、詳細不明		1	3
	I 62.0	硬膜下出血 (急性) (非外傷性)	1		1
	I 63.3	脳動脈の血栓症による脳梗塞	1	1	
	I 63.4	脳動脈の塞栓症による脳梗塞	3		
	I 63.5	脳動脈の詳細不明の閉塞または狭窄による脳梗塞			1
	I 63.8	その他の脳梗塞	3		1
	I 63.9	脳梗塞		4	2
	I 64	脳血管発作、脳出血または脳梗塞と明示されないもの	1	1	
	I 65.1	脳底動脈の閉塞および狭窄			1
	I 67.9	脳血管疾患、詳細不明		1	
	I 69.3	脳梗塞の続発・後遺症	1		1
	I 69.4	脳血管発作の続発・後遺症			1
	I 70.2	(四) 肢の動脈硬化 (症)	1	1	
	I 70.9	全身性および詳細不明のアテローム (じゅく (粥) 状) 硬化 (症)			1
	I 71.0	大動脈の解離 [各部位]		2	
	I 71.3	腹部大動脈瘤、破裂性		1	1
	I 71.4	腹部大動脈瘤、破裂なし			1
	I 72.8	その他の明示された動脈の動脈瘤			
	I 85.0	出血を伴う食道静脈瘤	1		
		小計	38	41	45

大分類名	原死因 病名ICD	疾病分類名称	死亡患者数		
			2013年	2014年	2015年
呼吸器	J 10.0	肺炎を伴うインフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されたもの	1		
	J 13	肺炎レンサ球菌による肺炎		4	
	J 15.0	肺炎桿菌による肺炎			
	J 15.1	緑膿菌による肺炎	1	1	
	J 15.2	ブドウ球菌による肺炎	1		
	J 15.5	大腸菌による肺炎			
	J 15.6	その他の好気性グラム陰性菌による肺炎			
	J 15.8	その他の細菌性肺炎			
	J 15.9	細菌性肺炎	7	2	2
	J 18.0	気管支肺炎、詳細不明	1	2	
	J 18.1	大葉性肺炎、詳細不明			
	J 18.9	肺炎	4	14	18
	J 20.9	急性気管支炎	1		
	J 43.2	中心小葉性肺気腫			
	J 43.9	肺気腫	2		3
	J 44.1	急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	2		
	J 44.9	慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	2	1	2
	J 46	喘息発作重積状態			1
	J 64	じん〈塵〉肺〈症〉		1	
	J 69.0	誤嚥性肺臓炎	15	11	3
	J 70.4	薬物誘発性間質性肺障害、詳細不明			1
	J 80	成人呼吸窮〈促〉迫症候群〈ARDS〉	1	1	
	J 81	肺水腫			
	J 82	肺好酸球症、他に分類されないもの			
	J 84.1	肺線維症を伴うその他の間質性肺疾患	8	5	1
	J 84.8	その他の明示された間質性肺疾患			1
	J 84.9	間質性肺疾患、詳細不明	1	7	9
	J 85.1	肺炎を伴う肺膿瘍		1	
	J 85.2	肺膿瘍			1
	J 86	膿胸〈症〉			1
	J 86.9	瘻〈孔〉を伴わない膿胸〈症〉	1	1	
	J 90	胸水胸膜炎			
	J 92.0	石綿〈アスベスト〉を含む胸膜斑〈プラク〉			
J 94.0	乳糜滲出		1		
J 96.0	急性呼吸不全				
J 96.1	慢性呼吸不全		1	1	
		小計	48	53	44

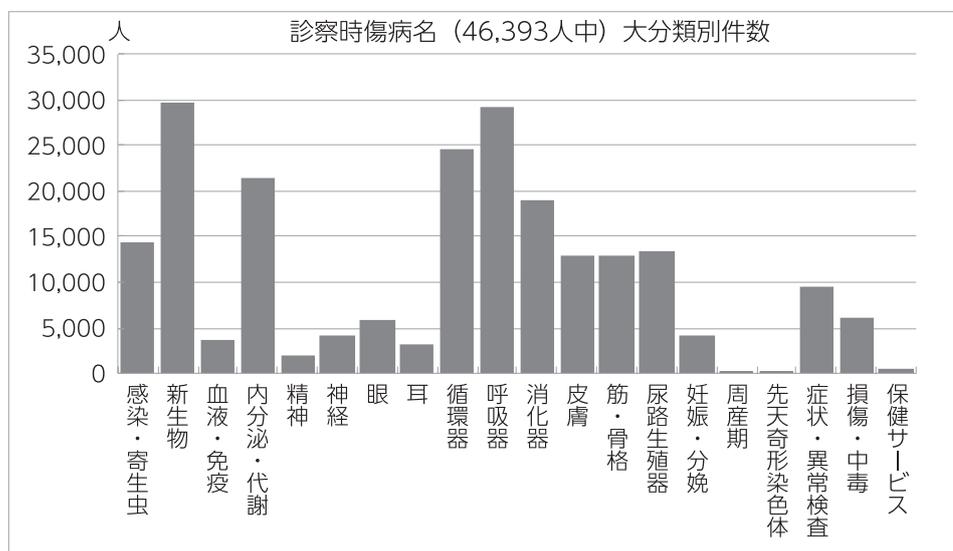
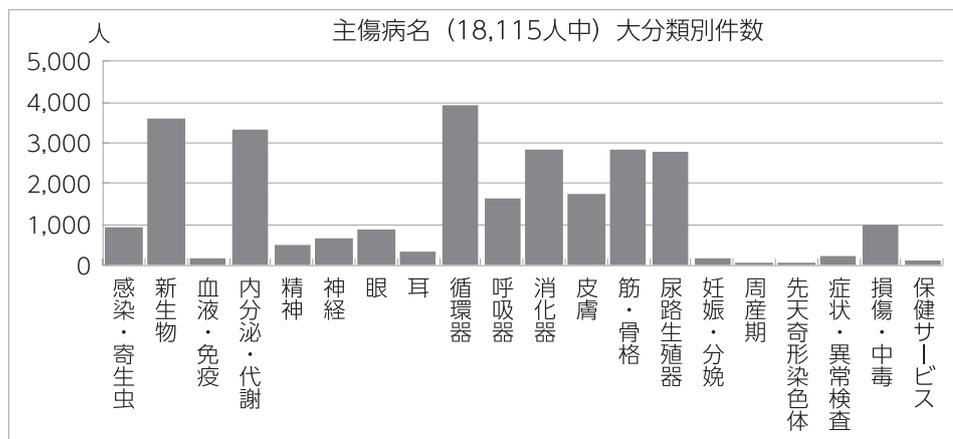
大分類名	原死因 病名ICD	疾病分類名称	死亡患者数		
			2013年	2014年	2015年
消化器	K 12.2	口腔の蜂巣炎〈蜂窩織炎〉および膿瘍			
	K 22.3	食道穿孔			
	K 25.0	急性出血性胃潰瘍	1		
	K 25.1	急性穿孔性胃潰瘍		2	1
	K 25.9	胃潰瘍			1
	K 40.3	一側性または患側不明のそけい〈尿管〉ヘルニア、閉塞を伴い、え〈壊〉瘻を伴わないもの	1		
	K 55.0	腸の急性血行障害		1	
	K 55.1	腸の慢性血行障害			1
	K 56.2	腸軸捻 (転)	1		
	K 56.6	その他および詳細不明の腸閉塞		1	
	K 56.7	イレウス		1	3
	K 65.0	急性腹膜炎(膿瘍)	2		
	K 70.3	アルコール性肝硬変	3	2	3
	K 70.4	アルコール性肝不全	1		
	K 72.0	急性および亜急性肝不全	3		
	K 74.6	肝硬変	3	4	3
	K 75.0	肝膿瘍		1	
	K 75.4	自己免疫性肝炎		1	
	K 80.2	胆のう結石症		1	
	K 80.3	胆管炎を伴う胆管結石		1	
	K 81.0	急性胆嚢炎		1	
	K 81.9	胆嚢炎			1
	K 85	急性膵炎			
	K 86.1	慢性膵炎			
	K 91.3	術後腸閉塞	1		
	K 92.1	上部消化管出血		2	1
K 92.2	胃腸出血、詳細不明		1		
	小計		16	19	14
皮膚	L 02.2	体幹の皮膚膿瘍			
	L 03.0	手指および趾〈足ゆび〉の蜂巣炎			
	L 03.1	(四) 肢の蜂巣炎		1	
	L 89	褥瘡性潰瘍	1		
	L 98.4	皮膚の慢性潰瘍			1
	小計		1	1	1
筋・骨格	M05.10	リウマチ性肺疾患		1	
	M06.90	関節リウマチ、詳細不明	2	1	
	M30.0	結節性多発 (性) 動脈炎		1	
	M47.12	ミエロパチ (シ) - 〈脊髄障害〉を伴うその他の脊椎症 (頸部)	1		
	M72.69	壊死性筋膜炎			1
	M86.9	骨髄炎、詳細不明		1	
	小計		3	4	1

大分類名	原死因 病名ICD	疾病分類名称	死亡患者数		
			2013年	2014年	2015年
尿路 生殖器	N13.2	腎結石性および尿管結石性閉塞を伴う水腎症	1		
	N13.5	水腎症を伴わない尿管の屈曲および狭窄		1	
	N17.9	急性腎不全			2
	N18.0	末期腎疾患	3		3
	N18.9	慢性腎不全	1		4
	N39.0	尿路感染症	1	3	5
	小計			6	4
症状 異常検査	R00.1	徐脈		1	
	R04	気道からの出血			1
	R04.8	肺出血			
	R54	老衰	1	2	4
	R68.8	(M・O・F) その他の明示された全身症状および徴候			
小計			1	3	5
損傷・ 中毒	S06.5	外傷性硬膜下出血	2	1	
	S06.60	外傷性くも膜下出血			
	T17.2	咽頭内異物			
	T17.3	喉頭内異物			2
	T17.4	気管内異物			
	T17.9	気道内異物			
	T60.0	有機燐およびカルバメート殺虫剤中毒	1		
	T71	窒息			
	T80.9	輸液、輸血および治療用注射に続発する詳細不明の合併症			1
	T81.3	手術創の離開、他に分類されないもの		1	
	T81.4	処置に続発する感染症			
	T81.8	処置のその他の合併症、他に分類されないもの		1	
	T82.7	その他の心臓および血管の人工器具、挿入物および移植片による感染症および炎症性反応			
	T88.6	適正投与薬剤の有害作用アナフィラキシーショック	1		
T91.3	脊髄損傷の続発・後遺症				
小計			4	3	3

4. 外来患者統計

(1) 傷病別患者数および平均年齢

《主病名あり18,115人の病名》 重複あり				《診察時病名(疑い除く)》 重複あり			
分類名	件数	構成比	平均年齢	分類名	件数	構成比	平均年齢
感染・寄生虫	919	6.4%	61.8	感染・寄生虫	14,391	27.3%	43.7
新生物	3,623	25.2%	67.9	新生物	29,635	56.3%	59.6
血液・免疫	175	1.2%	59.2	血液・免疫	3,753	7.1%	58.3
内分泌・代謝	3,313	23.1%	66.0	内分泌・代謝	21,533	40.9%	61.9
精神	480	3.3%	57.2	精神	2,013	3.8%	57.7
神経	662	4.6%	58.2	神経	4,064	7.7%	60.5
眼	888	6.2%	74.9	眼	5,894	11.2%	60.4
耳	316	2.2%	58.6	耳	3,133	6.0%	53.4
循環器	3,936	27.4%	73.0	循環器	24,561	46.7%	65.6
呼吸器	1,627	11.3%	58.0	呼吸器	29,347	55.8%	38.5
消化器	2,821	19.6%	65.8	消化器	18,978	36.1%	59.0
皮膚	1,751	12.2%	54.6	皮膚	12,815	24.4%	46.9
筋・骨格	2,854	19.9%	68.7	筋・骨格	12,800	24.3%	63.1
尿路生殖器	2,811	19.6%	64.6	尿路生殖器	13,398	25.5%	53.6
妊娠・分娩	192	1.3%	32.6	妊娠・分娩	4,042	7.7%	32.3
周産期	18	0.1%	0.2	周産期	261	0.5%	0.6
先天奇形染色体	67	0.5%	45.8	先天奇形染色体	345	0.7%	44.4
症状・異常検査	258	1.8%	55.0	症状・異常検査	9,590	18.2%	55.9
損傷・中毒	992	6.9%	61.8	損傷・中毒	5,977	11.4%	53.1
保健サービス	136	0.9%	73.9	保健サービス	543	1.0%	67.6
計	27,839		65.3	計	217,073		54.6



(2) 死因中間分類別件数 (外来死亡、在宅死亡) および死亡時年齢

大分類名	死因ICD3-ト*	ICDCD中分類表示	外来			在宅		
			2013年	2014年	2015年	2013年	2014年	2015年
感染・寄生虫	A30-A49	その他の細菌性疾患	1	1	3	1		
	B15-B19	ウイルス肝炎		1	1			
新生物	C00-C14	口唇、口腔および咽頭			1		1	
	C15-C26	消化器		2	3	21	12	5
	C30-C39	呼吸器および胸腔内臓器	1	1	1	3	3	2
	C45-C49	中皮および軟部組織						
	C50	乳房				2	1	2
	C51-C58	女性生殖器		1		1	1	1
	C60-C63	男性生殖器				1		
	C64-C68	尿路	1			1		
	C69-C72	眼、脳および中枢神経						
	C76-C80	部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物					1	2
	C81-C96	原発と記載されたまたは推定されたリンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物			1			2
D37-D48	性状不詳または不明の新生物			1	1	1		
内分泌・代謝	E10-E14	糖尿病		1			1	1
	E20-E35	その他の内分泌腺障害						
	E70-E90	代謝障害		1				
精神	F00-F09	症状性を含む器質性精神障害				1		1
神経	G10-G13	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症					1	
	G20-G26	錐体外路障害および異常運動		1		1	1	
	G30-G32	神経系のその他の変性疾患			1			1
循環器	I10-I15	高血圧性疾患					1	1
	I20-I25	虚血性心疾患	17	12	13			
	I26-I28	肺性心疾患および肺循環疾患	1	1		2		
	I30-I52	その他の型の心疾患	2	6	6	3	1	4
	I60-I69	脳血管疾患			1		3	3
	I70-I79	動脈、細動脈および毛細血管の疾患	5	1	4	1	1	
呼吸器	J10-J18	インフルエンザおよび肺炎	2	4	2	1	3	2
	J40-J47	慢性下気道疾患	1	2	1	5		2
	J60-J70	外的因子による肺疾患	3				2	2
	J80-J84	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患		2	1		1	1
	J90-J94	胸膜のその他の疾患						
	J95-J99	呼吸器系のその他の疾患		3				
消化器	K20-K31	食道、胃および十二指腸の疾患	1					
	K55-K63	腸のその他の疾患						
	K70-K77	肝疾患					1	
	K80-K87	胆のう(嚢)、胆管および膵の障害			1			
	K90-K93	消化器系のその他の疾患	2	1				
筋・骨格	M30-M36	全身性結合組織障害					1	
尿路生殖器	N17-N19	腎不全	2	3	1	2		1
	N30-N39	尿路系のその他の疾患			2			1
	N80-N98	女性生殖器の非炎症性障害				3		
症状・異常検査	R00-R09	循環器系および呼吸器系に関する症状および兆候		2				
	R50-R69	全身症状および徴候	1		3		11	4
	R95-R99	診断名不明確および原因不明の死亡		1				
損傷・中毒	T15-T19	自然開口部からの異物侵入の作用		1	2			
	T66-T78	外因のその他および詳細不明の作用						
傷病・死亡外因	X60-X84	故意の自傷および自殺	2	1	2			
合計			42	49	51	50	48	38
死亡時年齢			79.4	78.5	80.2	80.0	81.6	81.7

5. 紹介患者統計

(1) 診療科別紹介件数

診療科	外来件数	入院件数	計	
内科	1,560	567	2,127	
夜間・休日外来	136	148	284	
救急	45	196	241	
内科 専門 外来	循環器	138	5	143
	糖尿病	79	8	87
	呼吸器	66	5	71
	消化器	147	107	254
	甲状腺	12	0	12
	神経内科	54	0	54
腎	11	0	11	
外科	279	98	377	
小児科	275	98	373	
産婦人科	396	19	415	
整形外科	556	225	781	
皮膚科	376	3	379	
泌尿器科	340	54	394	
精神神経科	80	9	89	
眼科	132	1	133	
耳鼻咽喉科	140	1	141	
脳神経外科	48	0	48	
リハビリ科	9	103	112	
緩和ケア内科	100	87	187	
健診後外来	89	0	89	
栄養相談	7	0	7	
在宅医療科	8	0	8	
透析	3	0	3	
合計	5,086	1,734	6,820	

(3) 紹介来院目的

	病院	診療所	施設
精密検査	660	3,905	479
継続加療	794	257	49
セカンドオピニオン	11	1	0
症状問い合わせ	245	339	36
合計	1,710	4,502	564

(2) 法人内事業所からの紹介数

紹介元事業所名	外来件数	入院件数	計
さいわい診療所	228	115	343
老健みぬま	176	53	229
浦和民主診療所	123	71	194
川口診療所	80	59	139
埼玉西協同病院	14	58	72
生協歯科診療所	23	0	23
かすかべ診療所	12	5	17
大井協同診療所	10	1	11
熊谷生協病院	2	3	5
おおみや診療所	3	1	4
秩父生協病院	0	2	2
行田協立診療所	2	0	2
所沢診療所	1	1	2
老健さんとめ	1	0	1
合計	675	369	1,044

(4) 当院からの転院目的

	病院	診療所	施設
精密検査	1,687	177	0
継続加療	639	1,493	135
セカンドオピニオン	51	6	0
症状問い合わせ	78	40	4
合計	2,455	1,716	139

(5) 紹介元医療機関別紹介患者数

紹介医療機関名	件数	紹介医療機関名	件数	紹介医療機関名	件数
病院		診療所・クリニック		慈孝内外科クリニック	20
川口市立医療センター	153	しみずクリニックふさ	173	東浦和内外科クリニック	20
自治医科大学附属さいたま医療センター	120	青木中央クリニック	173	川口ハートクリニック内科	19
東川口病院	111	鹿島診療所	140	若林小児科内科医院	19
獨協医科大学越谷病院	96	埼玉川口クリニック	126	菅原整形外科	18
埼玉県済生会川口総合病院	82	舟田クリニック	121	芝中央医院	17
がん研有明病院	52	平井こどもクリニック	117	柳崎眼科クリニック	16
さいたま市立病院	47	桑川内科医院	107	川口クリニック	16
東京大学医学部附属病院	40	植村内科クリニック	96	かねこウィメンズクリニック	15
さいたま赤十字病院	36	今野医院	88	春野クリニック	15
帝京大学医学部附属病院	34	悠翔会在宅クリニック川口	71	小谷場クリニック	14
川口工業総合病院	33	石井クリニック	68	小谷野医院	13
戸田中央総合病院	32	ままだ皮フ科	58	うえだ内科胃腸科	13
埼玉県立がんセンター	31	渋川産婦人科医院	57	フクダクリニック	13
東和病院	28	添田医院	53	さの小児科クリニック	12
板橋中央総合病院	23	石井医院	53	井本医院	12
齋藤記念病院	23	ひろクリニック	44	よつば歯科	12
益子病院	22	あきもと皮フ科クリニック	44	コスモスクリニック	12
埼玉メディカルセンター	21	ゆたかクリニック	44	ふじクリニック	12
河合病院	18	土佐クリニック	41	ういずクリニック西尾久	12
はとがや病院	17	しみず整形外科クリニック	39	堀クリニック	12
国立がん研究センター東病院	16	目時クリニック	38	宮村医院	12
川口さくら病院	16	須田医院	38	エヌ・ケイ・クリニック	12
浦和神経サナトリウム	16	厚川医院	38	ぬかが医院	12
草加市立病院	15	埼玉クリニック	38	すぎた内科クリニック	11
川口誠和病院	15	東川口クリニック整形外科内科	38	セントウィメンズクリニック	11
安東病院	14	メディカルクリニックドクターランド	37	池袋ロイヤルクリニック	11
秋葉病院	14	武南病院附属クリニック	37	田中医院	11
戸田中央総合健康管理センター	13	芝西医院	37	安部歯科医院	11
三愛病院	12	白川クリニック	35	本町クリニック	11
国立がん研究センター中央病院	12	健クリニック	34	山田整形外科・胃腸科・肛門科	11
日本大学医学部附属板橋病院	12	かねこ内科リウマチ科クリニック	33	まえはら医院	11
博仁会共済病院	11	しもむら内科クリニック	31	新井宿駅前内科クリニック	10
武南病院	11	田山医院	31	糸魚川整形外科医院	10
明理会中央総合病院	11	根岸台診療所	30	ハーモニークリニック	10
虎の門病院	10	ほしあい眼科	30	里村クリニック	10
埼玉医科大学総合医療センター	10	さいたま往診クリニック	27	新谷医院	9
がん・感染症センター都立駒込病院	9	川田胃腸科外科	26	布施小児科内科医院	9
寿康会病院	9	沢近医院	25	東川口いずみクリニック	9
埼玉県立小児医療センター	9	東浦和眼科クリニック	25	さいたま在宅医療クリニック	9
順天堂大学医学部附属順天堂医院	9	だてクリニック	25	南浦和高崎医院	9
慶應義塾大学病院	8	越智整形外科	25	青木医院	9
東京医科歯科大学医学部附属病院	8	ふたばクリニック	22	すずき整形外科	9
蕨市立病院	8	とりごえクリニック	21		
他病院156機関	357	平愛クリニック	21	他診療所289機関	791

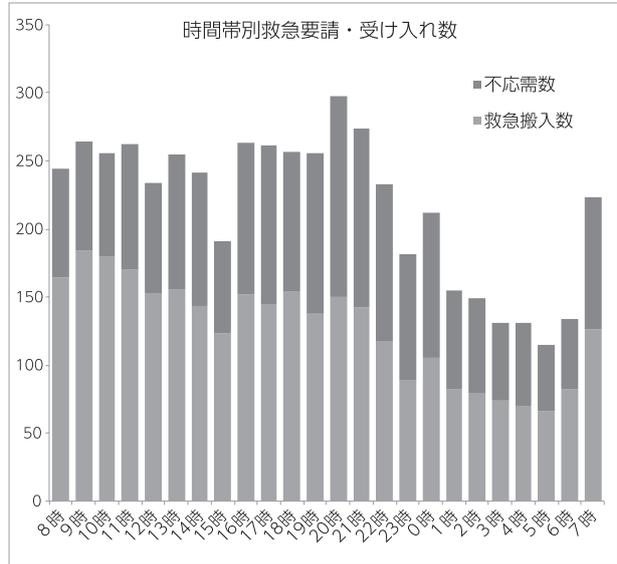
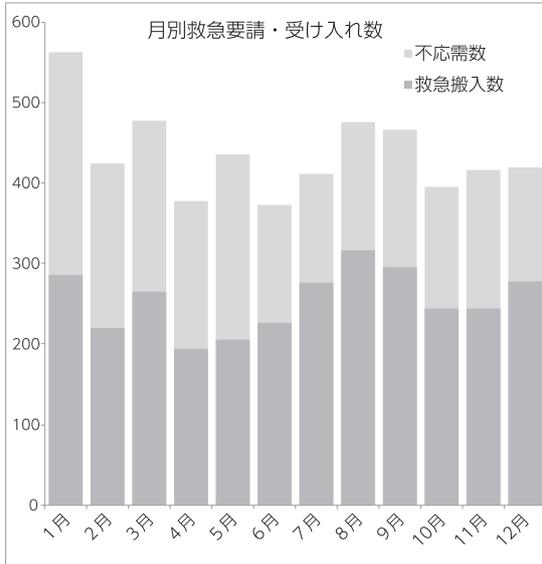
(6) 転院先医療機関別当院からの紹介患者数

紹介医療機関名	件数	紹介医療機関名	件数	紹介医療機関名	件数
病院		診療所・クリニック		すぎた内科クリニック	7
川口市立医療センター	275	しみずクリニックふさ	91	しもむら内科クリニック	7
自治医科大学附属さいたま医療センター	230	青木中央クリニック	55	川口クリニック	7
埼玉県済生会川口総合病院	207	植村内科クリニック	44	丸山クリニック	7
獨協医科大学越谷病院	184	悠翔会在宅クリニック川口	42	上青木整形外科	7
東京大学医学部附属病院	107	埼玉クリニック	41	平愛クリニック	7
帝京大学医学部附属病院	98	さいたまセントラルクリニック	31	春野クリニック	6
さいたま市立病院	59	今野医院	27	鳩ヶ谷第一クリニック	6
がん研有明病院	52	鹿島診療所	26	石井クリニック	6
埼玉県立がんセンター	51	芝西医院	26	鳩ヶ谷米山クリニック	6
埼玉県立小児医療センター	50	田山医院	23	根岸台診療所	6
さいたま赤十字病院	41	ふたばクリニック	21	大原整形・形成外科	6
川口工業総合病院	41	埼玉川口クリニック	20	高橋内科クリニック	6
板橋中央総合病院	35	添田医院	20	田代クリニック	6
戸田中央総合病院	33	須田医院	19	往診探し	5
川口さくら病院	31	ほしあい眼科	19	周東医院	5
東川口病院	30	武南病院附属クリニック	19	川口市立医療センター附属安行診療所	5
慶應義塾大学病院	27	あずま在宅クリニック	18	スマイル内科小児科クリニック	5
国立がん研究センター中央病院	26	東浦和眼科クリニック	17	越智整形外科	5
埼玉医科大学総合医療センター	25	東浦和内科外科クリニック	16	若林小児科内科医院	5
順天堂大学医学部附属順天堂医院	24	慈孝内科外科クリニック	15	中青木整形外科	5
東京医科歯科大学医学部附属病院	23	しみず整形外科クリニック	15	小谷野医院	5
メディカルトピア草加病院	22	川口ハートクリニック内科	15	リハビリテーションクリニック杜	5
がん・感染症センター都立駒込病院	20	だてクリニック	14	かわぐち在宅診療所	5
日本大学医学部附属板橋病院	19	芝中央医院	14	目時医院	5
はとがや病院	19	とりごえクリニック	13	四谷メディカルキューブ	5
東京女子医科大学病院	18	ときとうクリニック	12	辻川ホームクリニック	5
みさと協立病院	17	土佐クリニック	11	武井眼科医院	4
戸田病院	17	かねこ内科リウマチ科クリニック	11	ぬかが医院	4
金地病院	16	生協歯科診療所	10	井上整形外科	4
寿康会病院	16	ハーモニークリニック	10	新井宿駅前内科クリニック	4
埼玉メディカルセンター	16	沢近医院	9	清水眼科	4
三愛病院	15	かいわ内科	9	加藤レディスクリニック	4
齋藤記念病院	13	ウメツ医院	9	益子整形外科	4
安東病院	13	桑川内科医院	9	舟田クリニック	4
虎の門病院	12	目時クリニック	9	上青木中央醫院	4
河合病院	12	宮村医院	9	氷室医院	4
草加市立病院	12	健クリニック	9	おちあい脳クリニック	3
東和病院	12	いしい内科クリニック	9	きしろ内科・眼科クリニック	3
伊藤病院	11	東川口いずみクリニック	8	あさば内科	3
益子病院	11	石井医院	8	青木医院	3
わかかさ病院	11	山内クリニック	8	今野整形外科	3
丸山記念総合病院	10	東川口クリニック整形外科内科	8	藤田眼科医院	3
川口病院	10	柳崎眼科クリニック	7		
他病院139機関	404	森医院	7	他診療所184機関	269

6. 救急患者統計

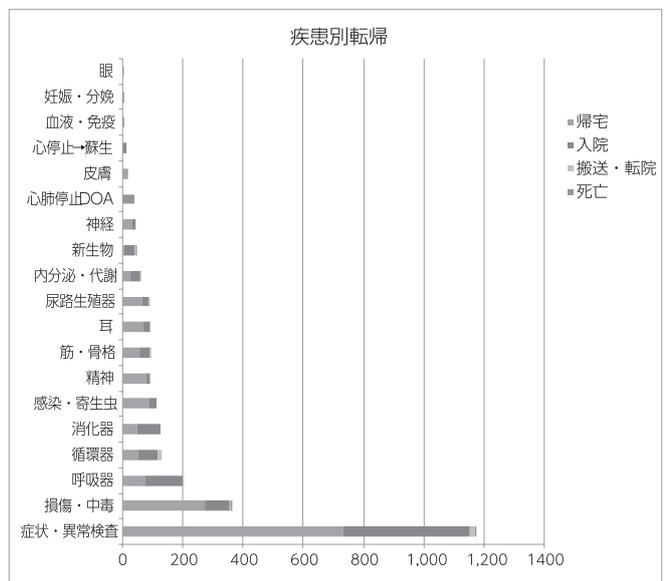
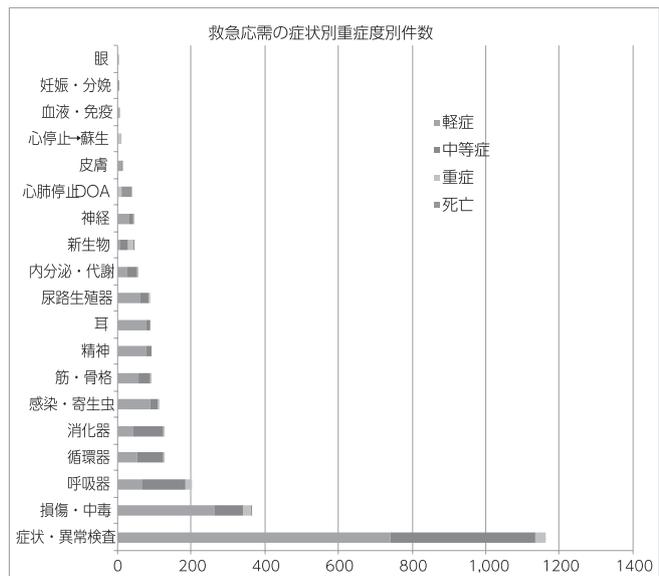
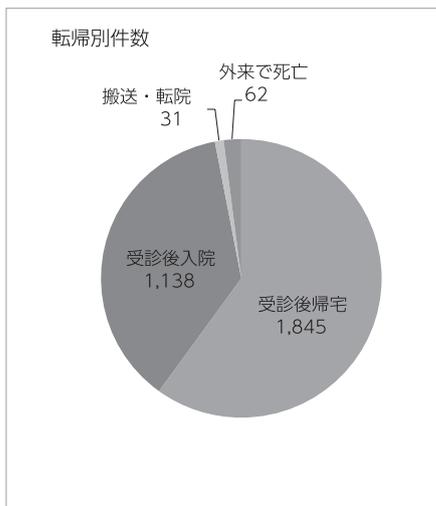
月別救急要請件数と搬入数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
救急搬入数	291	222	265	200	206	230	282	319	295	244	244	278	3,076
不応需数	296	210	207	193	242	150	138	154	168	155	171	118	2,202
要請総数	587	432	472	393	448	380	420	473	463	399	415	396	5,278



救急隊別搬入数

救急隊	件数
川口市	2,075
さいたま市	825
蕨市	53
草加市	24
戸田市	19
越谷市	15
春日部市	4
その他	15



7. がん登録統計

(1) 患者構成 (性別・平均年齢・居住地)

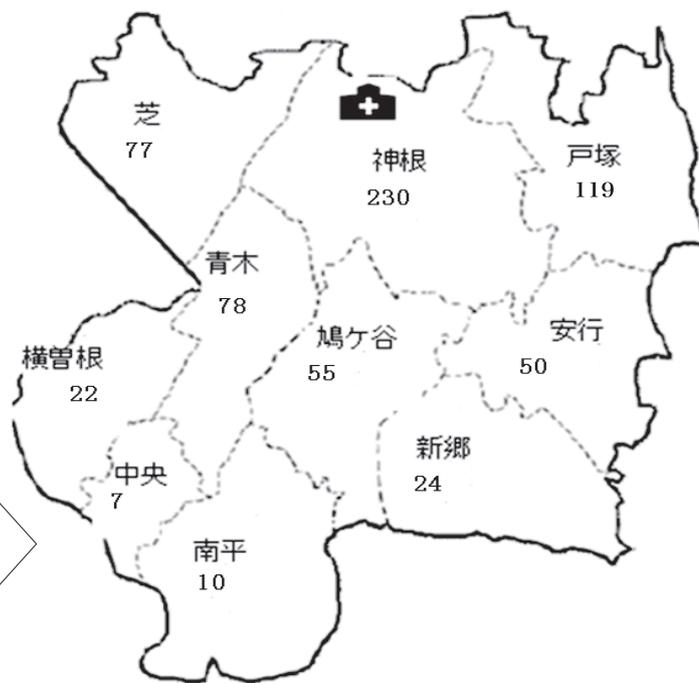
性別	件数	平均年齢
男性	603	71.1
女性	414	66.6
合計	1017	69.2

年代	男性	女性
40歳未満	3	23
40代	25	55
50代	50	39
60代	148	96
70代	262	104
80代	109	79
90代以上	6	18
合計	603	414

登録時居住地	
川口市	672
さいたま市	219
草加市	23
越谷市	22
所沢市	13
県内その他	44
他都県	24

地域別件数
図1参照

川口市 地域別件数 (図1)



(2) 部位別登録数 (10件以上)

部位	件数	部位	件数
大腸	254	腎・腎盂・尿管	25
胃	116	頭頸部	20
肺	112	皮膚	19
乳房	106	胆嚢・肝外胆管	19
前立腺	74	食道	18
膀胱	46	白血病・造血器	14
肝臓	41	子宮体部	12
子宮頸部	40	リンパ腫	11
膵臓	39	その他	51

(3) 進行度別 来院・発見経緯

進行度	自ら受診	紹介受診	健診・がん検	偶発発見	合計	割合
0	87	14	73	23	197	19.4%
I	147	81	77	33	338	33.2%
II	70	38	7	7	122	12.0%
III	47	44	4	1	96	9.4%
IV	89	97	7	6	199	19.6%
不明	2	1		1	4	0.4%
NA	4	2			5	0.5%
分類なし					56	5.5%

(4) 治療方針・フォローアップ先

主な紹介先 ★：がん診療連携拠点病院

方針	件数
当院で治療	523
当院で経過観察	270
他施設へ紹介	214
来院中断	8

県内	件数
★獨協医科大学越谷病院	38
★埼玉県立がんセンター	25
★川口市立医療センター	16
★自治医科大学附属さいたま医療センター	12
★埼玉県済生会川口総合病院	10
県外	件数
★（公財）がん研究会 有明病院	26
★国立がん研究センター中央病院	14
★帝京大学医学部附属病院	13
★東京大学医学部附属病院	11
★がん・感染症センター 都立駒込病院	9
★国立がん研究センター東病院	4

(5) 当院での治療

部位別 手術件数（5件以上）

治療方針	件数
外科手術	266
内視鏡手術	145
化学療法*1	114

部位	件数
大腸	200
胃	54
乳房	51
子宮頸部	24
膀胱	23
皮膚	10
肺	10
脾臓	8
胆嚢	8
肝臓	6

*1：化学療法・TAE/TACE塞栓術・ラジオ波による治療術前・術後補助療法は除く

8. 病理年報

法人内院所別統計

院所名	2015年	
	検体数	主な病変
浦和民主診療所	上部消化管生検 171	食道異型上皮-1, 胃生検 group5-12, group4-1, group3-13, group2-9
川口診療所	上部消化管生検 313	食道異型上皮-1, 胃生検group5-1, group3-8, group2-2, 胃悪性リンパ腫-1,
さいわい診療所	上部消化管生検 134	食道異型上皮-2, 胃生検group5-5, group3-8, group2-2
埼玉協同病院	4,678	
大井協同診療所	上部消化管生検 211	食道異型上皮-1, 胃生検group5-5, group3-7, group2-4, 十二指腸 group3-1
埼玉西協同病院	上部消化管生検 169	食道扁平上皮癌-4,
	下部消化管生検 93	胃生検group5-4, group3-5, group2-4
	下部消化管EMR 58	大腸生検 group5-16, group3-38, 潰瘍性大腸炎-4,
	皮膚 2	大腸EMR(m癌-7, 腺腫-49, 過誤腫ポリープ-2)
	計 322	
所沢診療所	上部消化管生検 41	胃生検group5-3, group3-3, group2-1, 十二指腸カルチノイド-1
行田協立診療所	上部消化管生検 39	胃生検group5-2, group3-3, group2-1
熊谷生協病院	上部消化管生検 98	胃生検group5-5, group3-5
秩父生協病院	上部消化管生検 14	扁平上皮癌-3, 胃生検group5-3, group3-1
おおみや生協診療所	上部消化管生検 48	胃生検group5-3, group4-1
かすかべ生協診療所	上部消化管生検 78	胃生検group5-2, group3-3
計	6,147	

埼玉協同病院生検手術検体統計

科・種類	2015年 (4678件)	
	件数	主な病変
上部消化管EMR+ESD	25	食道上皮内癌-4, 胃SM癌-1, 胃癌-14, 胃腺腫-2, 胃過形成ポリープ2, 十二指腸乳頭腺腫-1, 十二指腸癌-1
上部消化管生検	1234	食道扁平上皮癌-7, 食道異型上皮-4, 胃group5-80, gr4-19, gr3-38, gr2-23, gr1-1025 胃GIST (生検-1, FNA-1) 、アニサキス-4, 十二指腸アミロイド-1
下部消化管EMR	431	sm癌-6, m癌-87, 直腸カルチノイド-2, 腺腫-336 (複数同時切除も1件として数えてあります)
下部消化管生検	802	Group5-132, gr4-2, gr3-410, gr-2, gr1-179, 直腸カルチノイド2, クロウン病治療後-2, 潰瘍性大腸炎-48, アメーバ腸炎-2
肝・胆道生検	肝9 膵胆17	自己免疫性肝炎-3, PBC-1, HCV-1, 自己免疫+HCV-1, HCC-1, 慢性EB感染-1 胆管癌-6, 乳頭部癌-1, IgG4関連自己免疫性膵炎-1
肺・胸膜生検	56	肺生検 (癌-扁平上皮癌7, 腺癌-6, 小細胞癌-3) 、肉芽腫性病変-3, アスペルギルス-1
リンパ節	10	悪性リンパ腫-6, 転移-4
骨髄生検	64	AML-7, 骨髄腫-8, ITP-2, 再生不良性貧血-2, 癌転移-4, 本態性血小板血症-1, 巨赤芽球性貧血-1, リンパ増殖性疾患-2, リンパ腫浸潤-1
婦人科生検	639	Mole疑い含め-4, 流産-90, 頸管polyp-153, 頸部腺癌-2, 頸部浸潤性扁平上皮癌-3, CIS-12, 異形成-117, 内膜生検 (増殖症-74, 異型増殖症-15, 内膜癌-7, 漿液性腺癌-1, 卵巣癌の浸潤-1)
婦人科手術	169	円錐切除-23 (microinvasive-1, CIS-7, Severe-13, moderate-2) 、 子宮悪性 (CIS-4, 内膜癌-1) 子宮良性 (異型増殖症-4, 異形成4) 卵巣悪性 (明細胞癌1, 粘液性悪性-1, 漿液性境界-2, 粘液性境界-1) 卵巣良性48 (デルモイド-15, 内膜症-12, 粘液性-5, 漿液性-6, 線維腫-4, 卵巣甲状腺腫-1)
外科手術	474	乳癌51, 乳腺針および生検 (癌-90, 境界病変-4, 良性-108) 食道癌-1, 胃癌-42, GIST2 (胃1, 小腸1), 小腸リンパ腫-1, 小腸腺癌-1, 大腸癌-89, 虫垂炎-59, 胆石胆嚢炎および良性ポリープ-114, 胆嚢癌-4, 胆管癌-3, 十二指腸乳頭癌-1, 小腸重複-2, 腸管重複症-1, クロウン病-1, 膵 (癌7, IPMA-1, インスリノーマ-1) , 肝臓 (転移-9, HCC-2, CCC-1, 混合癌-1, 良性2) 、副腎転移-2, 脾臓血管腫-1, 肺 (プラチ切除-6, 過誤腫様病変-1, 肺腺癌-7, 肺扁平上皮癌-5, 転移-2)
皮膚科	285	粉瘤-76, 母斑25, 基底細胞癌-10, ボーエン病-11, 皮膚転移-1, 扁平上皮癌-2, DFSP-2, パジェット病-2
整形外科	36	癌の骨転移-2
耳鼻科	24	口腔癌-4
泌尿器科	224	腎癌-3, 腎盂癌-2, 前立腺癌(ope)-6, 前立腺針生検 (癌-61) 、前立腺癌TUR-1, 膀胱癌 (TUR 26, 生検3)

解剖例

	臨床診断	病理診断
2015-1	腓体尾部癌	腓体尾部癌（退形成癌）、肝肺転移、腹部リンパ節転移
2015-2	悪性中皮腫術後再発	悪性中皮腫（左胸膜肺全摘後）、右肺転移局所切除後再発、脳転移、胸腹部リンパ節転移
2015-3	肝細胞癌	肝細胞癌、大腸粘膜内癌
2015-4	死産児	死産児（内臓奇形なし、胎盤に異常なし）
2015-5	陰部フルニエ壊疽、 胆嚢仮性動脈瘤治療後	陰部フルニエ壊疽からの敗血症、胆嚢動脈仮性動脈瘤治療後
2015-6	敗血症、肺炎	肺化膿症（肺炎桿菌性）、陳旧性心筋梗塞
2015-7	直腸癌、肝転移	直腸癌、肝臓脾臓転移、癌性腹膜炎、右下肺に抗酸菌症
2015-8	間質性肺炎	特発性間質性肺炎
2015-9	間質性肺炎、DIC、 慢性膵炎	間質性肺炎、DIC、慢性膵炎
2015-10	十二指腸乳頭部癌、 アルコール性肝硬変	十二指腸乳頭部癌（未分化癌）、膵および胆管浸潤、門脈腫瘍栓、アルコール性肝硬変
2015-11	消化管出血	出血性胃潰瘍、慢性膵炎、
2015-12	前立腺癌治療後、 MDS、間質性肺炎、 心臓バイパス治療後	前立腺癌治療後、MDS、特発性間質性肺炎、心臓バイパス治療後（陳旧性心筋梗塞）、 虚血性腸炎

9. 2015年細菌薬剤感受性検査統計・分離菌検出状況

細菌検査室

集計期間 2015年1月～12月

外来入院別に、同一患者、同一検査材料、同一菌種の場合、1回として集計。

S.aureus とMRSAは分けて表示した。

CNSで菌量が少なく優位菌と思われないものについては検査していない。

集計項目

1. 薬剤感受性統計リスト外来入院別（グラム陽性球菌、グラム陰性桿菌）
2. 材料別分離菌検出状況外来入院別（呼吸器、消化器、泌尿生殖器、血液・穿刺液、その他）
3. 抗酸菌分離状況

薬剤について

2007年11月1日より自動分析装置マイクロキャン WalkAway96SIにて検査を実施。

これにより感受性検査法は一部菌種を除き、ディスク法から同定感受性一体型パネルにて微量液体希釈法に変更。

菌種ごとの同定・薬剤パネルは固定。

判定基準は、CLSI M100-S22に準拠。

(ただし、*S.pneumoniae*のPCGは、M100-S17時点での判定基準)

15年より全てのパネル（グラム陽性球菌、グラム陰性桿菌、非発酵性グラム陰性桿菌）を変更。

菌種および検査材料により、MIC値でS、I、Rの判定がでないものもある。

外注による感受性結果も入れて集計。

(1) 薬剤感受性統計リスト

グラム陽性球菌 (外来)

	<i>S.aureus</i>		<i>MRSA</i>		<i>CNS</i>		<i>E.faecalis</i>		<i>E.faecium</i>		<i>A群溶連菌</i>		<i>肺炎球菌</i>	
	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数
ペニシリン系														
PCG											100%	94	61%	374
ABPC	48%	383	0%	141	33%	96	100%	152	11%	19	100%	94		
MPIP	100%	383	0%	141	61%	96								
セフェム系														
CEZ	100%	383	0%	141	61%	96								
CTM													73%	374
CTX											100%	94	99%	374
CTR											100%	94	99%	374
CZOP											100%	94	96%	374
CFPM											100%	94	95%	374
CDTR-PI													96%	374
カルバペネム系														
IPM/CS	100%	383	0%	141	61%	96	100%	152						
MEPM											100%	94	83%	374
<i>β</i> ラクタマーゼ阻害剤														
CVA/AMPC													97%	374
アミノグリコシド系														
GM	73%	383	57%	141	70%	96								
ABK	99%	383	96%	141										
マクロライド系														
EM	74%	370	16%	129	60%	65	29%	34	50%	2	67%	93	7%	374
AZM											67%	93	9%	374
リンコマイシン系														
CLDM	75%	370	26%	129	65%	65					84%	93	40%	374
テトラサイクリン系														
MINO	100%	383	77%	141	99%	96	29%	152	32%	19	86%	94	25%	374
フェニコール系														
CP											99%	93	87%	374
キノロン系														
LVFX	95%	383	40%	141	60%	96	94%	152	0%	19	97%	94	100%	374
グリコペプチド系														
VCM	100%	383	100%	141	100%	96	100%	152	100%	19	100%	94	100%	374
TEIC	100%	383	100%	141	100%	96	100%	152	100%	19				
その他														
DAP	100%	383	100%	141	100%	96								
ST	100%	383	100%	141	100%	96							81%	374
RFP	99%	383	99%	141	99%	96	53%	152	21%	19			99%	374
LZD	100%	383	100%	141	100%	96	100%	152	100%	19				

グラム陽性球菌 (入院)

	<i>S.aureus</i>		<i>MRSA</i>		<i>CNS</i>		<i>E.faecalis</i>		<i>E.faecium</i>		<i>A群溶連菌</i>		<i>肺炎球菌</i>	
	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数
ペニシリン系														
PCG					0%	1					100%	4	58%	31
ABPC	42%	107	0%	82	23%	40	100%	91	12%	59	100%	4		
MPIPC	100%	107	0%	82	38%	39								
セフェム系														
CEZ	100%	107	0%	82	38%	40								
CTM					0%	1							77%	31
CTX											100%	4	100%	31
CTRX											100%	4	100%	31
CZOP											100%	4	100%	31
CFPM											100%	4	100%	31
CDTR-PI													100%	31
FMOX					0%	1								
カルバペネム系														
IPM/CS	100%	107	0%	82	38%	40	100%	91						
MEPM											100%	4	87%	31
β ラクタマーゼ阻害剤														
CVA/AMPC													94%	31
SBT/ABPC					0%	1								
アミノグリコシド系														
GM	79%	107	54%	82	53%	40								
ABK	100%	107	94%	82	100%	1								
マクロライド系														
EM	79%	104	14%	77	51%	35	45%	47	8%	37	100%	4	6%	31
AZM											100%	4	13%	31
リンコマイシン系														
CLDM	81%	104	26%	77	74%	34					100%	4	45%	31
テトラサイクリン系														
MINO	100%	107	63%	82	93%	40	41%	91	25%	59	75%	4	16%	31
フェニコール系														
CP											100%	4	97%	31
キノロン系														
LVFX	96%	107	22%	82	45%	40	88%	91	10%	59	100%	4	97%	31
グリコペプチド系														
VCM	100%	107	100%	82	100%	40	99%	91	100%	59	100%	4	100%	31
TEIC	100%	107	100%	82	100%	39	100%	91	100%	59				
その他														
DAP	100%	107	100%	82	100%	39								
ST	100%	107	100%	82	78%	40							90%	31
FOM					100%	1								
RFP	98%	107	96%	82	100%	39	52%	91	7%	59			97%	31
LZD	100%	107	100%	82	100%	39	100%	91	100%	59				

グラム陰性桿菌（外来）

	大腸菌		肺炎桿菌		セラチア		E.cloacae		P.mirabilis		緑膿菌		A.baumannii		H.influenzae	
	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数
ペニシリン系																
ABPC	64%	611	0%	200	0%	12	4%	24	94%	32					60%	467
PIPC	67%	611	67%	200	75%	12	96%	24	94%	32	96%	134	88%	8		
セフェム系																
CEZ	82%	611	98%	200	0%	12	0%	24	91%	32						
CTM	87%	611	99%	200	0%	12	4%	24	94%	32						
CTX	87%	611	97%	200			88%	24	94%	32					89%	467
CTR	87%	611	99%	200	67%	12	79%	24	94%	32						
CAZ	87%	611	98%	200	92%	12	96%	24	94%	32	96%	134	88%	8		
CCL	82%	611	98%	200	0%	12	0%	24	94%	32						
CFPN-PI	87%	593	98%	197	100%	3	100%	19	94%	32						
CPDX-PR															57%	467
CZOP											98%	134	88%	8		
CFPM	87%	611	99%	200	100%	12	100%	24	94%	32	96%	134	88%	8		
CMZ	87%	611	100%	200	92%	12	0%	24	100%	32						
FMOX	87%	611	100%	200	75%	12	8%	24	100%	32						
カルバペネム系																
IPM/CS	100%	611	100%	200	100%	12	79%	24			90%	134	100%	2		
MEPM	100%	611	100%	200	100%	12	100%	24	100%	32	96%	134	100%	8		
DRPM											99%	134	100%	6		
モノバクタム系																
AZT	87%	611	97%	200	100%	12	96%	24	94%	32	87%	134				
βラクタマーゼ阻害剤																
SBT/ABPC	69%	611	91%	200	0%	12	29%	24	94%	32					83%	467
SBT/CPZ	96%	611	99%	200	92%	12	96%	24	100%	32	92%	134	75%	8		
TAZ/PIPC	100%	611	99%	200	100%	12	96%	24	100%	32	96%	134	100%	2		
アミノグリコシド系																
GM	88%	611	98%	200	100%	12	100%	24	94%	32	80%	134	100%	8		
AMK	100%	611	100%	200	100%	12	100%	24	100%	32	96%	134	100%	8		
TOB											99%	134	100%	8		
テトラサイクリン系																
MINO	93%	611	92%	200	92%	12	92%	24	9%	32			100%	8		
TC															75%	467
マクロライド系																
CAM															81%	467
キノロン系																
LVFX	76%	611	99%	200	92%	12	100%	24	97%	32	88%	134	100%	8		
CPFX											88%	134	100%	8		
その他																
ST	82%	611	95%	200	92%	12	92%	24	100%	32			88%	8		
FOM	91%	611	40%	200	25%	12	25%	24	59%	32	9%	134				

グラム陰性桿菌 (入院)

	大腸菌		肺炎桿菌		セラチア		E.cloacae		P.mirabilis		緑膿菌		A.baumannii		H.influenzae	
	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数
ペニシリン系																
ABPC	49%	243	0%	120	0%	16	12%	57	100%	14					68%	37
PIPC	53%	243	69%	120	75%	16	81%	57	100%	14	90%	119	94%	16		
セフェム系																
CEZ	67%	243	98%	120	0%	16	0%	57	93%	14						
CTM	76%	243	98%	120	0%	16	9%	57	100%	14						
CTX	76%	243	98%	120			72%	57	100%	14					86%	37
CTRX	76%	243	98%	120	56%	16	70%	57	100%	14						
CAZ	77%	243	98%	120	81%	16	72%	57	100%	14	94%	119	100%	16		
CCL	66%	243	98%	120	0%	16	0%	57	100%	14						
CFPN-PI	76%	230	98%	116	100%	7	100%	36	100%	14						
CPDX-PR															54%	37
CZOP											97%	119	100%	16		
CFPM	77%	243	98%	120	100%	16	91%	57	100%	14	96%	119	100%	16		
CMZ	99%	243	100%	120	94%	16	4%	57	100%	14						
FMOX	99%	611	100%	120	56%	16	11%	57	100%	14						
カルバペネム系																
IPM/CS	100%	243	100%	120	94%	16	93%	57			90%	119	100%	3		
MEPM	100%	243	100%	120	100%	16	100%	57	100%	14	98%	119	100%	16		
DRPM											98%	119	100%	15		
モノバクタム系																
AZT	76%	243	98%	120	81%	16	79%	57	100%	14	82%	119	100%	1		
βラクタマーゼ阻害剤																
SBT/ABPC	56%	243	94%	120	0%	16	25%	57	100%	14					86%	37
SBT/CPZ	86%	243	100%	120	94%	16	88%	57	100%	14	88%	119	94%	16		
TAZ/PIPC	96%	243	100%	120	88%	16	91%	57	100%	14	95%	119	100%	3		
アミノグリコシド系																
GM	87%	243	98%	120	100%	16	100%	57	93%	14	87%	119	94%	16		
AMK	100%	243	100%	120	100%	16	100%	57	100%	14	97%	119	100%	16		
TOB											99%	119	100%	16		
テトラサイクリン系																
MINO	91%	243	96%	120	100%	16	95%	57	14%	14			94%	16		
TC															73%	37
マクロライド系																
CAM															78%	37
キノロン系																
LVFX	56%	243	100%	120	94%	16	91%	57	100%	14	91%	119	88%	16		
CPFX											93%	119	75%	16		
その他																
ST	72%	243	98%	120	100%	16	95%	57	100%	14			94%	16		
FOM	90%	243	42%	120	19%	16	12%	57	79%	14	6%	119				

(2) 材料別分離菌検出状況

呼吸器系 (外来)

細菌名	総菌数	%	喀痰	咽頭粘液	後鼻腔	鼻汁	鼻腔分泌物	その他
<i>Haemophilus influenzae</i>	465	19.7%	91	25	179	149	4	17
<i>Moraxella catarrhalis</i>	375	15.9%	39	4	161	166	4	1
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	238	10.1%	50	2	93	92	1	0
<i>Candida albicans</i>	228	9.7%	221	2	1	0	0	4
<i>Staphylococcus aureus</i>	220	9.3%	85	11	68	15	24	17
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	110	4.7%	103	3	1	0	0	3
<i>Staphylococcus aureus MRSA</i>	103	4.4%	74	8	17	2	1	1
<i>S. pneumoniae PISP</i>	101	4.3%	21	2	36	41	1	0
<i>Streptococcus pyogenes</i>	71	3.0%	4	25	6	8	0	28
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	67	2.8%	64	0	0	1	0	2
<i>S. pneumoniae PRSP</i>	46	2.0%	8	0	21	17	0	0
<i>Candida glabrata</i>	42	1.8%	39	0	1	0	0	2
Group G <i>Streptococcus</i>	38	1.6%	8	5	0	1	1	23
<i>Streptococcus agalactiae</i>	32	1.4%	25	1	2	1	0	3
<i>Klebsiella oxytoca</i>	25	1.1%	24	0	0	0	1	0
<i>Escherichia coli</i>	23	1.0%	22	0	1	0	0	0
<i>Candida tropicalis</i>	13	0.6%	13	0	0	0	0	0
<i>Enterobacter cloacae</i>	13	0.6%	13	0	0	0	0	0
<i>Escherichia coli ESBL</i>	10	0.4%	10	0	0	0	0	0
<i>Serratia marcescens</i>	9	0.4%	7	0	2	0	0	0
<i>Enterobacter aerogenes</i>	8	0.3%	8	0	0	0	0	0
<i>Acinetobacter baumannii</i>	6	0.3%	6	0	0	0	0	0
<i>Pseudomonas fluorescens/putida</i>	6	0.3%	6	0	0	0	0	0
<i>Staphylococcus epidermidis</i>	6	0.3%	0	1	4	1	0	0
<i>Stenotrophomonas maltophilia</i>	5	0.2%	5	0	0	0	0	0
<i>P.aeruginosa (多剤耐性)</i>	1	0.0%	1	0	0	0	0	0
<i>Haemophilus sp</i>	19	0.8%	17	2	0	0	0	0
<i>Candida sp</i>	17	0.7%	16	0	0	0	0	1
その他	61	2.6%	41	2	9	1	1	7
総計	2,358	100.0%	1,021	93	602	495	38	109

呼吸器系 (入院)

細菌名	総菌数	%	喀痰	咽頭粘液	後鼻腔	鼻汁	鼻腔分泌物	その他
<i>Candida albicans</i>	193	20.4%	190	0	0	0	0	3
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	85	9.0%	79	0	3	1	0	2
<i>Staphylococcus aureus</i>	77	8.1%	45	1	26	2	2	1
<i>Staphylococcus aureus MRSA</i>	76	8.0%	64	0	11	1	0	0
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	67	7.1%	64	0	1	0	0	2
<i>Candida glabrata</i>	49	5.2%	49	0	0	0	0	0
<i>Haemophilus influenzae</i>	40	4.2%	23	0	9	7	0	1
<i>Moraxella catarrhalis</i>	35	3.7%	8	0	12	12	2	1
<i>Enterobacter cloacae</i>	28	3.0%	23	0	2	0	0	3
<i>Escherichia coli</i>	26	2.7%	24	0	0	0	0	2
<i>Klebsiella oxytoca</i>	21	2.2%	20	0	1	0	0	0
<i>Streptococcus agalactiae</i>	21	2.2%	17	0	1	0	0	3
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	19	2.0%	5	0	5	7	0	2
<i>Corynebacterium striatum</i>	18	1.9%	18	0	0	0	0	0
<i>Candida tropicalis</i>	13	1.4%	13	0	0	0	0	0
<i>Escherichia coli ESBL</i>	13	1.4%	13	0	0	0	0	0
<i>Serratia marcescens</i>	13	1.4%	10	0	1	0	0	2
<i>Stenotrophomonas maltophilia</i>	13	1.4%	11	0	0	0	0	2
<i>S. pneumoniae PISP</i>	11	1.2%	7	0	1	3	0	0
<i>Acinetobacter baumannii</i>	11	1.2%	10	0	0	0	0	1
<i>Enterobacter aerogenes</i>	11	1.2%	11	0	0	0	0	0
<i>Staphylococcus epidermidis MRS</i>	10	1.1%	6	0	4	0	0	0
<i>Enterococcus faecalis</i>	7	0.7%	6	0	0	0	0	1
Group G <i>Streptococcus</i>	7	0.7%	7	0	0	0	0	0
<i>Prevotella (B.) melaninogenica</i>	7	0.7%	4	0	0	0	0	3
<i>Pseudomonas fluorescens/putida</i>	7	0.7%	7	0	0	0	0	0
<i>Haemophilus s p</i>	9	1.0%	7	0	0	1	0	1
<i>Candida sp</i>	22	2.3%	22	0	0	0	0	0
その他	38	4.0%	32	0	4	2	0	0
総計	947	100.0%	795	1	81	36	4	30

消化器系 (外来) (便含む)

細菌名	総菌数	%	胆汁	便	肛門 周囲	膿 (消化器)	胃粘膜
<i>Helicobacter pylori</i>	106	46.1%	0	0	0	0	106
<i>Campylobacter jejuni</i>	86	37.4%	0	86	0	0	0
<i>Klebsiella oxytoca</i>	7	3.0%	0	6	1	0	0
<i>Campylobacter coli</i>	4	1.7%	0	4	0	0	0
<i>Salmonella O-4 group</i>	4	1.7%	0	4	0	0	0
<i>Enterococcus faecalis VRE</i>	1	0.4%	0	1	0	0	0
その他	22	9.6%	7	4	6	5	0
総計	230	100.0%	7	105	7	5	106

消化器系 (入院) (便含む)

細菌名	総菌数	%	胆汁	胆汁 (総胆管)	胆汁 (胆嚢内)	PTCD	便	膿 (消化器)
<i>Escherichia coli</i>	21	9.6%	2	0	19	0	0	0
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	17	7.8%	1	1	14	0	0	1
<i>Enterococcus faecium</i>	16	7.3%	6	1	8	1	0	0
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	15	6.9%	2	2	2	2	6	1
<i>Enterobacter cloacae</i>	14	6.4%	3	0	10	1	0	0
<i>Escherichia coli ESBL</i>	13	6.0%	1	0	2	1	6	3
<i>α-Streptococcus</i>	13	6.0%	4	1	8	0	0	0
<i>Candida albicans</i>	12	5.5%	1	1	0	1	9	0
<i>Enterococcus faecalis</i>	11	5.0%	3	1	7	0	0	0
<i>Klebsiella oxytoca</i>	11	5.0%	2	2	4	0	3	0
<i>Enterobacter aerogenes</i>	9	4.1%	3	0	4	0	2	0
<i>Citrobacter freundii</i>	5	2.3%	0	1	4	0	0	0
<i>Clostridium perfringens</i>	5	2.3%	1	0	4	0	0	0
<i>Enterococcus raffinosus</i>	5	2.3%	1	1	3	0	0	0
<i>Bacteroides fragilis group</i>	4	1.8%	1	0	1	0	0	2
<i>Campylobacter jejuni</i>	4	1.8%	0	0	0	0	4	0
<i>Morganella morganii</i>	3	1.4%	0	0	2	1	0	0
<i>Enterococcus faecalis VRE</i>	1	0.5%	0	0	0	0	1	0
その他	39	17.9%	9	2	16	1	9	2
総計	218	100.0%	40	13	108	8	40	9

泌尿生殖器系（外来）

細菌名	総菌数	%	尿	カテーテル尿	尿道分泌物	外陰部分分泌物	膣分泌物	帯下	膿(泌尿生殖器)
<i>Escherichia coli</i>	469	28.4%	374	44	0	0	41	1	9
<i>Streptococcus agalactiae</i>	160	9.7%	63	3	0	0	91	2	1
<i>Candida albicans</i>	156	9.4%	5	2	0	1	147	0	1
<i>Enterococcus faecalis</i>	135	8.2%	91	31	0	0	9	0	4
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	83	5.0%	58	13	0	0	12	0	0
<i>α-Streptococcus</i>	80	4.8%	48	8	0	0	23	0	1
<i>Escherichia coli ESBL</i>	64	3.9%	44	16	0	0	3	0	1
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	47	2.8%	24	15	0	0	7	0	1
<i>Staphylococcus aureus</i>	34	2.1%	11	2	0	0	19	1	1
<i>Coryneform bacteria</i>	28	1.7%	14	11	1	0	2	0	0
<i>Proteus mirabilis</i>	24	1.5%	21	1	0	0	1	1	0
<i>Staphylococcus aureus MRSA</i>	23	1.4%	9	5	0	0	7	2	0
<i>CNS</i>	22	1.3%	12	4	0	0	2	1	3
<i>Klebsiella oxytoca</i>	21	1.3%	15	5	0	0	1	0	0
<i>Candida glabrata</i>	19	1.1%	2	0	0	0	17	0	0
<i>Staphylococcus epidermidis</i>	19	1.1%	14	1	0	0	2	0	2
<i>Streptococcus pyogenes</i>	18	1.1%	2	0	0	1	15	0	0
<i>Enterococcus faecium</i>	17	1.0%	11	6	0	0	0	0	0
<i>MRCNS</i>	16	1.0%	13	2	0	0	1	0	0
<i>Corynebacterium striatum</i>	16	1.0%	11	5	0	0	0	0	0
<i>Citrobacter freundii</i>	15	0.9%	12	3	0	0	0	0	0
<i>Haemophilus influenzae</i>	15	0.9%	0	0	0	1	13	1	0
<i>Group G Streptococcus</i>	14	0.8%	8	3	0	0	3	0	0
<i>Staphylococcus epidermidis MRS</i>	13	0.8%	9	2	0	0	0	0	2
<i>Bacteroides fragilis group</i>	8	0.5%	2	1	0	0	1	0	4
<i>Citrobacter koseri</i>	8	0.5%	6	1	0	0	1	0	0
<i>Enterobacter aerogenes</i>	8	0.5%	5	3	0	0	0	0	0
<i>Enterobacter cloacae</i>	7	0.4%	4	2	0	0	1	0	0
<i>Morganella morganii</i>	7	0.4%	6	1	0	0	0	0	0
<i>Neisseria gonorrhoeae</i>	2	0.1%	1	0	0	0	1	0	0
<i>Candida sp</i>	20	1.2%	1	0	0	0	19	0	0
その他	86	5.2%	47	13	0	0	9	1	16
総計	1,654	100.0%	943	203	1	3	448	10	46

泌尿生殖器系（入院）

細菌名	総菌数	%	尿	カテーテル尿	尿道分泌物	外陰部分分泌物	膣分泌物	帯下	膿(泌尿生殖器)
<i>Escherichia coli</i>	120	22.4%	71	42	0	0	7	0	0
<i>Candida albicans</i>	56	10.5%	10	17	1	1	27	0	0
<i>Enterococcus faecalis</i>	53	9.9%	28	20	0	0	4	0	1
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	37	6.9%	21	14	0	0	2	0	0
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	32	6.0%	17	14	1	0	0	0	0
<i>Streptococcus agalactiae</i>	28	5.2%	7	1	0	0	19	1	0
<i>Escherichia coli ESBL</i>	25	4.7%	17	8	0	0	0	0	0
<i>Enterococcus faecium</i>	23	4.3%	10	12	0	0	0	0	1
<i>α-Streptococcus</i>	22	4.1%	14	5	0	0	3	0	0
<i>Candida glabrata</i>	10	1.9%	6	1	0	0	3	0	0
<i>Corynebacterium striatum</i>	10	1.9%	5	4	1	0	0	0	0
<i>Proteus mirabilis</i>	8	1.5%	4	4	0	0	0	0	0
<i>Group G Streptococcus</i>	7	1.3%	2	4	0	0	1	0	0
<i>Klebsiella oxytoca</i>	7	1.3%	5	2	0	0	0	0	0
<i>Staphylococcus aureus MRSA</i>	6	1.1%	5	0	0	0	1	0	0
<i>Staphylococcus aureus</i>	6	1.1%	2	1	0	0	3	0	0
<i>CNS</i>	6	1.1%	1	1	0	0	4	0	0
<i>Coryneform bacteria</i>	6	1.1%	3	1	0	0	2	0	0
<i>Citrobacter freundii</i>	5	0.9%	3	2	0	0	0	0	0
<i>Staphylococcus epidermidis MRS</i>	5	0.9%	5	0	0	0	0	0	0
<i>MRCNS</i>	4	0.7%	2	1	0	0	1	0	0
<i>Corynebacterium sp</i>	4	0.7%	2	2	0	0	0	0	0
<i>Enterobacter aerogenes</i>	4	0.7%	2	1	0	0	1	0	0
<i>Enterobacter cloacae</i>	4	0.7%	1	2	0	0	0	0	1
<i>Morganella morganii</i>	4	0.7%	0	3	0	0	1	0	0
<i>Serratia marcescens</i>	4	0.7%	1	2	1	0	0	0	0
<i>Staphylococcus epidermidis</i>	4	0.7%	3	1	0	0	0	0	0
<i>Candida sp</i>	9	1.7%	1	4	0	0	4	0	0
その他	26	4.9%	13	6	0	0	6	0	1
総計	535	100.0%	261	175	4	1	89	1	4

血液・穿刺液系 (外来)

細菌名	総菌数	%	胸水	腹水	髄液	関節液	動脈血	静脈血	穿刺液	その他
<i>Escherichia coli</i>	62	25.8%	0	0	0	0	5	57	0	0
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	18	7.5%	0	1	0	0	3	14	0	0
<i>CNS</i>	15	6.3%	0	0	0	0	1	14	0	0
<i>Staphylococcus epidermidis</i>	15	6.3%	0	0	0	0	5	9	1	0
<i>Staphylococcus aureus</i>	14	5.8%	0	0	0	2	0	4	8	0
<i>Staphylococcus epidermidis MRS</i>	13	5.4%	0	0	0	0	5	8	0	0
<i>Enterococcus faecalis</i>	11	4.6%	0	0	1	0	1	9	0	0
<i>MRCNS</i>	10	4.2%	0	0	0	0	2	7	1	0
<i>Escherichia coli ESBL</i>	7	2.9%	0	0	0	0	0	7	0	0
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	6	2.5%	0	0	0	1	0	5	0	0
<i>Klebsiella oxytoca</i>	5	2.1%	0	0	0	0	1	4	0	0
<i>Bacteroides fragilis group</i>	5	2.1%	0	1	0	0	0	4	0	0
<i>Clostridium perfringens</i>	4	1.7%	0	0	0	0	0	4	0	0
<i>Group G Streptococcus</i>	4	1.7%	0	0	0	1	0	3	0	0
<i>Bacillus subtilis</i>	3	1.3%	0	1	0	0	0	2	0	0
<i>Corynebacterium striatum</i>	3	1.3%	0	0	0	0	0	3	0	0
<i>Streptococcus constellatus</i>	3	1.3%	0	0	0	0	0	3	0	0
<i>Clostridium sp</i>	2	0.8%	0	0	0	0	0	2	0	0
<i>Helicobacter cinaedi</i>	2	0.8%	0	0	0	0	0	2	0	0
<i>Peptostreptococcus micros</i>	2	0.8%	0	0	0	0	0	1	0	1
<i>Peptostreptococcus prevotii</i>	2	0.8%	0	0	0	0	0	2	0	0
<i>Proteus mirabilis</i>	2	0.8%	0	0	0	0	0	2	0	0
<i>Staphylococcus aureus MRSA</i>	1	0.4%	0	0	0	0	1	0	0	0
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Actinomyces sp</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Aeromonas caviae</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Aeromonas hydrophila group</i>	1	0.4%	0	0	0	0	1	0	0	0
<i>Bacillus cereus</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Campylobacter coli</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Campylobacter jejuni</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Citrobacter amalonaticus</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Citrobacter freundii</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Corynebacterium sp</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Enterobacter cloacae</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Enterococcus casseliflavus</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Fusobacterium spp</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Haemophilus influenzae</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Haemophilus parainfluenzae</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Klebsiella sp</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Pasteurella multocida</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	0	1	0
<i>Pediococcus sp</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Propionibacterium acnes</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Staphylococcus lugdunensis (CNS) MRS</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Streptococcus agalactiae</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Streptococcus anginosus/milleri</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Streptococcus bovis</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Streptococcus constellatus/milleri</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Streptococcus mitis group</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Streptococcus pyogenes</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Streptococcus sanguis</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Streptococcus intermedius</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Streptococcus mitis/oralis</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Veillonella sp</i>	1	0.4%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>α-Streptococcus</i>	1	0.4%	1	0	0	0	0	0	0	0
総計	240	100.0%	1	3	1	4	25	194	11	1

血液・穿刺液系（入院）

細菌名	総菌数	%	胸水	腹水	髄液	関節液	動脈血	静脈血	穿刺液	その他
<i>Escherichia coli</i>	17	10.1%	0	5	0	0	2	16	2	1
<i>Staphylococcus epidermidis</i> MRS	16	9.5%	1	0	0	0	5	12	0	0
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	14	8.3%	0	2	0	0	2	9	0	0
<i>Staphylococcus aureus</i>	11	6.5%	3	0	0	0	2	1	1	1
MRCNS	11	6.5%	0	0	0	0	4	4	0	0
<i>Bacteroides fragilis</i> group	8	4.8%	0	4	0	0	0	1	2	1
<i>Staphylococcus aureus</i> MRSA	8	4.8%	0	0	0	1	1	2	2	1
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	7	4.2%	1	1	0	0	2	2	1	0
<i>Staphylococcus epidermidis</i>	6	3.6%	1	0	0	0	3	3	0	0
CNS	6	3.6%	0	1	0	0	1	4	0	0
<i>Enterococcus faecalis</i>	5	3.0%	0	4	0	0	0	2	0	0
<i>Enterococcus faecium</i>	5	3.0%	0	2	0	0	2	1	1	0
<i>Escherichia coli</i> ESBL	4	2.4%	0	1	0	0	0	5	0	0
<i>Candida albicans</i>	4	2.4%	0	4	0	0	1	0	0	0
<i>Citrobacter freundii</i>	4	2.4%	0	2	0	0	0	1	0	0
<i>Enterobacter cloacae</i>	3	1.8%	0	1	0	0	0	2	0	0
α - <i>Streptococcus</i>	3	1.8%	0	3	0	0	0	0	0	0
<i>Bacillus subtilis</i>	3	1.8%	0	1	0	0	1	0	0	0
<i>Clostridium perfringens</i>	2	1.2%	0	1	0	0	1	0	0	0
<i>Clostridium</i> sp	2	1.2%	0	1	0	0	1	0	0	0
Group G <i>Streptococcus</i>	2	1.2%	0	0	0	0	0	2	0	0
<i>Klebsiella oxytoca</i>	2	1.2%	0	0	0	0	0	2	0	0
<i>Lactobacillus</i> sp	2	1.2%	0	0	0	0	1	1	0	0
<i>Peptostreptococcus micros</i>	1	0.6%	1	0	0	0	0	0	1	0
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1	0.6%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Aeromonas hydrophila</i> group	1	0.6%	0	1	0	0	0	0	0	0
<i>Candida glabrata</i>	1	0.6%	0	0	0	0	1	0	0	0
<i>Candida tropicalis</i>	1	0.6%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Corynebacterium striatum</i>	1	0.6%	0	0	0	0	0	0	1	0
Coryneform bacteria	1	0.6%	0	0	0	0	0	0	0	1
<i>Cryptococcus neoformans</i>	1	0.6%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Enterobacter aerogenes</i>	1	0.6%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Enterococcus raffinosus</i>	1	0.6%	0	0	0	0	0	0	1	0
<i>Fusobacterium</i> spp	1	0.6%	0	0	0	0	0	0	1	0
<i>Haemophilus influenzae</i>	1	0.6%	0	1	0	0	0	0	0	0
<i>Klebsiella oxytoca</i> ESBL	1	0.6%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Moraxella</i> sp	1	0.6%	0	0	0	0	0	0	1	0
<i>Morganella morganii</i>	1	0.6%	0	1	0	0	0	0	0	0
<i>Prevotella</i> sp (non-pigmented)	1	0.6%	0	1	0	0	0	0	0	0
<i>Prevotella</i> sp (pigmented)	1	0.6%	1	0	0	0	0	0	0	0
<i>Propionibacterium acnes</i>	1	0.6%	0	1	0	0	0	0	0	0
<i>Proteus mirabilis</i>	1	0.6%	0	0	0	0	0	0	1	0
<i>Proteus vulgaris</i>	1	0.6%	0	1	0	0	0	0	0	0
<i>Salmonella</i> O-8 group	1	0.6%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Streptococcus agalactiae</i>	1	0.6%	0	0	0	0	0	1	0	0
<i>Streptococcus pyogenes</i>	1	0.6%	0	0	0	1	0	0	0	0
総計	168	100.0%	8	39	0	2	30	77	15	5

その他 (外来)

細菌名	総菌数	%	耳漏	皮膚	膿	爪	CVカテ ーテル	創部 浸出液	乳汁	その他 の材料
<i>Staphylococcus aureus</i>	182	20.6%	27	15	50	0	0	31	8	51
<i>Staphylococcus aureus MRSA</i>	43	4.9%	2	6	14	0	0	5	2	14
<i>Coryneform bacteria</i>	39	4.4%	5	3	12	0	0	4	2	13
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	38	4.3%	9	2	11	0	0	4	0	12
<i>CNS</i>	36	4.1%	9	2	8	2	1	5	1	8
<i>Staphylococcus epidermidis MRS</i>	36	4.1%	6	1	5	0	1	5	13	5
<i>Bacteroides fragilis group</i>	36	4.1%	0	0	17	0	0	2	0	17
<i>Staphylococcus epidermidis</i>	34	3.9%	5	1	11	0	0	3	2	12
<i>Escherichia coli</i>	33	3.7%	0	0	14	0	0	4	0	15
<i>α-Streptococcus</i>	32	3.6%	0	2	6	0	0	5	10	9
<i>Corynebacterium striatum</i>	30	3.4%	7	1	9	0	0	4	0	9
<i>Enterococcus faecalis</i>	27	3.1%	0	3	11	0	0	1	1	11
<i>Streptococcus agalactiae</i>	24	2.7%	0	3	8	0	0	3	2	8
<i>Streptococcus pyogenes</i>	19	2.2%	3	4	2	0	0	8	0	2
<i>Corynebacterium sp</i>	18	2.0%	6	1	4	1	0	2	0	4
<i>Peptostreptococcus asaccharolyticus</i>	16	1.8%	0	0	8	0	0	0	0	8
<i>Peptostreptococcus sp</i>	14	1.6%	0	0	7	0	0	0	0	7
<i>Prevotella sp (non-pigmented)</i>	14	1.6%	0	0	7	0	0	0	0	7
<i>MRCNS</i>	12	1.4%	2	2	2	0	1	1	1	3
<i>Group G Streptococcus</i>	12	1.4%	0	1	4	0	0	2	0	5
<i>Peptostreptococcus magnus</i>	10	1.1%	0	0	4	1	0	1	0	4
<i>Prevotella (B.) bivia</i>	10	1.1%	0	0	4	0	0	2	0	4
<i>Enterobacter cloacae</i>	9	1.0%	0	0	4	0	0	1	0	4
<i>Escherichia coli ESBL</i>	9	1.0%	0	0	4	0	0	0	0	5
<i>Citrobacter freundii</i>	8	0.9%	0	0	4	0	0	0	0	4
<i>Haemophilus influenzae</i>	8	0.9%	3	0	2	0	0	0	0	3
<i>Peptostreptococcus prevotii</i>	8	0.9%	0	0	4	0	0	0	0	4
<i>Staphylococcus lugdunensis (CNS)</i>	8	0.9%	0	0	3	0	0	0	2	3
<i>Candida albicans</i>	7	0.8%	3	1	1	1	0	0	0	1
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	7	0.8%	0	0	3	0	0	1	0	3
<i>Proteus mirabilis</i>	7	0.8%	0	0	3	0	0	1	0	3
<i>Candida sp</i>	6	0.7%	4	0	1	0	0	0	0	1
その他	91	10.3%	14	3	33	1	0	7	0	33
総計	883	100.0%	105	51	280	6	3	102	44	292

その他 (入院)

細菌名	総菌数	%	耳漏	膿	CVカテ ーテル	チュー ブ類	ドレー ン	創部 浸出液	その他 の材料
<i>Staphylococcus aureus</i>	25	7.4%	1	13	0	0	5	6	0
<i>Bacteroides fragilis group</i>	23	6.8%	0	13	0	0	6	2	2
<i>Escherichia coli</i>	22	6.5%	0	13	0	0	5	1	3
<i>Enterococcus faecalis</i>	21	6.2%	0	6	0	1	11	3	0
<i>Staphylococcus epidermidis MRS</i>	19	5.6%	0	3	7	1	5	2	1
<i>Corynebacterium striatum</i>	18	5.3%	0	4	2	0	8	4	0
<i>Enterococcus faecium</i>	18	5.3%	0	5	1	1	7	4	0
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	16	4.7%	0	6	1	1	4	3	1
<i>Enterobacter cloacae</i>	15	4.4%	0	6	0	2	5	2	0
<i>Candida albicans</i>	13	3.8%	0	4	1	0	8	0	0
<i>Staphylococcus aureus MRSA</i>	11	3.2%	0	3	1	2	0	3	2
<i>Escherichia coli ESBL</i>	11	3.2%	0	3	2	0	3	2	1
<i>MRCNS</i>	10	2.9%	1	2	0	0	7	0	0
<i>Coryneform bacteria</i>	7	2.1%	0	2	0	0	1	4	0
<i>Candida glabrata</i>	6	1.8%	0	1	1	0	3	1	0
<i>Klebsiella oxytoca</i>	6	1.8%	1	1	0	0	2	2	0
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	6	1.8%	0	4	2	0	0	0	0
<i>Streptococcus agalactiae</i>	5	1.5%	0	2	0	0	0	2	1
<i>α-Streptococcus</i>	5	1.5%	0	5	0	0	0	0	0
<i>Cryptococcus neoformans</i>	1	0.3%	0	1	0	0	0	0	0
<i>Candida sp</i>	2	0.6%	1	0	1	0	0	0	0
その他	80	23.5%	2	33	6	1	21	14	3
総計	340	100.0%	6	130	25	9	101	55	14

(3) 抗酸菌分離状況

年間抗酸菌陽性者	94		
検体別		菌種別	
喀痰	88	<i>M.tuberculosis</i> (PCRのみ陽性を含む)	9
胃液	2	<i>MAC</i> (PCRのみ陽性を含む)	43
胸水	0	<i>M.kansasii</i>	2
気管支洗浄液	1	<i>M.gordonae</i>	2
気管支擦過	2	<i>M.szulgai</i>	0
その他	1	<i>M.abscessus</i>	1
		<i>M.chelonae</i>	0
		<i>M.fortuitum</i>	1
		<i>M.peregrinum</i>	0
		同定不能	1
		同定せず (死亡や他院での同定ありのため同定希望なし)	1
		TB陰性確認のみ	34

10. 薬剤科・副作用報告

報告書No	患者	被疑薬名 (成分名)	経路/剤型 (用量) 期間	副作用名 (重症度/症状分類)	発現 期間	処置	併用薬	治療 (回復 期間)	添文記載 (文献 報告)	被疑薬使用疾患	経過
No.2014 0043	75歳~ 79歳 (男)	水溶性プレドニン 20mg (注射用プレ ドニゾロンコハク 酸エステルナトリ ウム)	静注/アンブル (20mg×2) 2015.1~6日 間	胃潰瘍 (消化 器2/06胃腸)	6日	中止	ゾシン注、生理食 塩液、デプレノ ン、カルボシステ イン、テオロン グ、アムロジピ ン、エリスロマイ シン、フリパス、 ツロブテロール テープ、ベネトリ ン、リノジェッ ト、プロムヘキシ ン	有/軽快	有	COPD増悪	【経過のポイント】 投与開始1日目 COPD増悪のため入院。ゾシン13.5mg/day・プレドニン40mg/day にて治療開始。入院時上記内服薬はすべて継続していた。 投与開始6日目 患者本人より黒色便ありと報告あり。医師よりプレドニン中止指示 あり。ステロイド性胃潰瘍・出血を疑いあり、オメプラゾール注開始。またカルバゾ クロム・トランサミン注も投与開始。食止め・アルロイドG内服開始。Hb10.6 被疑薬中止2日目 止血剤投与終了 被疑薬中止3日目 黒色便少量あり。上部内視鏡検査あり、結果として多発性潰瘍が認 められたが活動的な出血はなく、血液検査からも貧血の進行はなかった。Hb11.6 被疑薬中止5日目 PPI内服へ。 被疑薬中止8日目 ゾシン注終了。黒色便なくなったと本人の訴え有 被疑薬中止12日目 退院。退院日よりアルロイドG終了
No.2014 0094	70歳~ 74歳 (女)	ロキソプロフェン ナトリウム	経口/錠 (不 明) 不明~不明	喘息発作 (呼吸器2/09 呼吸器)	30分	中止	グリメピリド、他 不明	有/軽快	有	不明 (高血圧、糖尿 病、不明)	【経過のポイント】 咳喘症で他院加療中、糖尿病は当院通院治療中であった。 発現日12時ごろロキソプロフェンナトリウムを内服し、30分後、呼吸困難となり救急 要請。当院到着時、耳から首筋にかけてやや紅潮あり、喘鳴を認めた。PO2 : 72.9%、PCO2 : 51.8% 気管支拡張剤吸入、酸素3L/分使用、プレドニン20mg内服し、喘鳴は消失した。 酸素を中止した後、鼻閉感・耳掻痒感が残っていたため、ボララミン注5mgを投与し た。 3時間後には症状軽減、消退傾向にて、帰宅となった。
No.2015 0001	70歳~ 74歳 (男)	(A) ゴナックス 皮下注用120mg (デガレリクス酢 酸塩注射用) (B) ゴナックス 皮下注用80mg (デガレリクス酢 酸塩注射用)	(A) 皮下注/ バイアル (240 mg×1) 2014.8~1 回 (1回/4週) (B) 皮下注/ バイアル (80 mg×1) 2014.9~3 回 (1回/4週)	高血糖 (血糖値1/15 血糖)	約5ヵ 月	(A) 終 了 (B) 中 止	ボグリボース、グ リメピリド、ジャ ヌビア、ラベプラ ゾール、センノサ イド	有/回復 (18 日)	有	前立腺がん (2型糖尿病、 高血圧、脂質異 常、難治性逆流 性食道炎、便秘 症)	【経過のポイント】 投与開始1年9ヵ月前よりHbA1cは6.3~7.0で推移していた 被疑薬使用開始2ヵ月前 PSA15と高くフリパス内服開始した。2型糖尿病など有、 他院にて治療していた 被疑薬使用開始1日目 前立腺がんと診断。MAB療法開始、被疑薬開始。ゴナッ クスは初回のため240mg、以降は80mg。 被疑薬使用開始約5ヵ月後 前立腺がん手術予定のためDMコントロール目的で入院。 本人よりピカルタミド開始後、血糖値上昇していると訴え有。入院翌日よりインスリ ン(ヒューマログ、ランタス)追加となる HbA1c8.5 約6ヵ月後 手術実施、ピカルタミド終了 終了18日後 HbA1c7.0、血糖値92と改善。その後もインスリンは継続している。
No.2015 0002	50歳~ 59歳 (女)	アプルウェイ錠20 mg (トホグリフロ ジン水和物錠)	経口/錠 (20mg×1) 2015.2~68日	腎盂腎炎 (腎臓2/11 腎・泌尿器)	68日	中止	オースギ40錠等 湯、クレステール 、アムロジピン OD、カンデサル タン、エクア、ラ ンタス注ソロス ター	有/軽快	有	2型糖尿病 (高血圧、脂質 異常症、尿路結 石)	【経過のポイント】 10年前より、尿路感染、尿路結石の既往あり。昨年、腎盂腎炎で入院した。 投与開始日 他院で血糖コントロール目的のため、アプルウェイが追加となった。 投与開始68日目 排尿時に血尿を認め、当院に受診した。40.2℃の発熱、尿蛋白3+ 尿潜血1+ 腎盂腎炎が疑われ入院となった。セフメゾール注、アミカシン注の投与 を開始した。 投与開始69日目 アプルウェイとエクア、クレステール (脂質コントロール問題ない ため) を中止した。 (投与中止日) 血糖コントロールはインスリン投与にて行った。 尿培養結果より感受性良好な大腸菌が検出されたため、アミカシンの投与を中止した。 投与中止3日目 解熱した。 投与中止6日目 セフメゾール注を中止し、ラリキシン内服7日間へ変更した。エク アを再開した。 投与中止10日目 退院した。
No.2015 0003	65歳~ 69歳 (女)	クラリスロマイシ ン (クラリスロマイ シン錠)	経口/錠 (200mg×2) 2015.1~7日	①多形滲出性 紅斑 (過敏 2/01皮膚) ②掻痒 (過敏 1/01皮膚)	①9日 ②9日	終了	なし	①有/軽 快 ②有/軽 快	①有 ②有	ヘリコバクター ピロリ感染	【経過のポイント】 内服開始前 健康診断でピロリ菌感染について指摘される。 内服開始日 ピロリ除菌のためアモキシシリン、クラリスロマイシン、ネキシウムを 内服する。 内服開始8日目 (内服終了1日目) 1週間のみきり、内服終了。 内服終了2日目 全身に皮疹出現、掻痒あり。 内服終了4日目 皮疹が引かず、顔面にも出現したため皮膚科受診。 プレドニン30mg/日、エバスタチン10mg/日、デプレノン150mg/ 日、3日間内服。 内服終了6日目 皮疹は退色傾向、プレドニン30mg/日3日間追加される。その後 15mg/日4日間内服。エバスタチン、デプレノンも7日間継続処方あり。飲み切り終了。 内服終了13日目 紅斑、掻痒軽快。
		ネキシウムカプセル 20mg (エンメプ ラゾールマグネシ ウム水和物カプセル)	経口/Cap (20mg×2) 2015.1~7日	①多形滲出性 紅斑 (過敏 2/01皮膚) ②掻痒 (過敏 1/01皮膚)	①9日 ②9日	終了		①有/軽 快 ②有/軽 快	①有 ②有	ヘリコバクター ピロリ感染	
		アモキシシリン (アモキシシリン 水和物カプセル)	経口/不明 (750mg×2) 2015.1~7日	①多形滲出性 紅斑 (過敏 2/01皮膚) ②掻痒 (過敏 1/01皮膚)	①9日 ②9日	終了		①有/軽 快 ②有/軽 快	①有 ②有	ヘリコバクター ピロリ感染	

報告書No	患者	被疑薬名 (成分名)	経路/剤型 (用量) 期間	副作用名 (重症度/ 症状分類)	発現 期間	処置	併用薬	治療 (回復 期間)	添文記載 (文献 報告)	被疑薬使用疾患	経過
No.2015 0004	70歳～ 74歳 (女)	ラベキュアパック 400 (ラベプラ ゾールナトリウ ム・アモキシシリン 水和物・クラリス トロマイシンシ ート)	経口/錠 (0.5)ト×2) 2015.3～7日	①皮疹 (過敏2/01皮 膚) ②紅斑 (過敏2/01皮 膚) ③掻痒 (過敏1/01皮 膚)	①9日 終了 ②9日 ③9日	終了	デバス、セララ、 アロシートル、テ ノミン、アダ ラートCR、オル メテック、ベザ トールSR、ナウゼ リン、スクラル ファート、ペリ チーム、ラック ビー	①有/軽 快 ②有/不 明 ③有/未 回復	①有 ②有 ③有	ピロリ除菌 (慢性萎縮性胃 炎、逆流性食道 炎、高血圧、脂 質異常症、高尿 酸血症)	【経過のポイント】 内服開始前日 ラベキュア処方される。 内服開始日 朝から服用始める。 内服開始7日目 忘れず服用。 内服終了2日目 朝からむずむず、痒み。夕方から顔赤み、全身赤いぶつぶつ、膨れ上 がったようなものあり、全身に痒み、口内が腫れるような感じもする→メソジ ンタムめったが効果なし。 内服終了3日目 皮膚科を受診 前日と同程度の症状。プレドニゾン、レバミピド、 リンデロンVGクリーム、ザイザル処方。 内服終了9日目 顔面と鞍鞍の皮疹は改善、下肢の皮疹はまだわずかに残り、掻痒有 り。ザイザル、シフラル軟膏処方。 (1ヵ月以上前からランソプラゾールを服用しているが、特に症状無し。今まで抗生剤 では副作用はなかった)
No.2015 0005	70歳～ 74歳 (女)	ラベキュアパック 400 (ラベプラ ゾールナトリウ ム・アモ キシシリン水和 物・クラリスロ マイシンシ ート)	経口/錠 (0.5)ト×2) 2015.4～7日	①皮疹 (過敏2/13過 敏症) ②掻痒 (過敏1/13過 敏症)	①10 日 終了 ②10 日	終了	ミカルディス (20)、デバス (0.5)	①有/軽 快 ②有/不 明	①有 ②有	ピロリ除菌 (高血圧症)	【経過のポイント】 内服開始1日前 他院にてラベキュアパック(400)7日分処方 内服開始7日目 ラベキュアを全て服用し終了。 内服終了3日目 全身に皮疹(+)、掻痒(+)。当院皮膚科受診。ボラミン1A、 アタラックスPIA点滴。フェキソフェナジン120mg分2、ネオファージェンC配合錠6T 分3を5日分処方、経過観察。ミカルディス、デバス中止。 内服終了5日目 治療が始まるも変化無し。フェキソフェナジン倍量にて経過観察。 内服終了6日目 皮疹残るが悪化無し。シフラルクリーム0.05%追加にて経過観 察。 内服終了7日目 胸腹部の皮疹消退傾向。背部と臀部の紅斑は残る。 内服終了9日目 胸部の皮疹は消退。背部と臀部も軽快傾向。内服薬を飲み切り中止と する。
No.2015 0006	16歳～ 19歳 (女)	ロキソニン錠60 mg (ロキソプロ フェンナトリウム 60mg錠) ユナシン錠375mg (スルタミシリン トシル酸塩水和物 錠) アスピリン錠20 (チベピジンヒベ ンズ酸塩錠) メジコン錠15mg (デキストロメト ルファン臭化水素 酸塩水和物錠)	経口/錠 (60mg×3) 2015.3～3日 経口/錠 (375mg×3) 2015.3～5日 経口/錠 (20mg×3) 2015.3～5日 経口/錠 (15mg×3) 2015.3～5日	①多形滲出性 紅斑 (過敏 2/01皮膚) ②掻痒 (過敏 1/01皮膚) ①多形滲出性 紅斑 (過敏 2/01皮膚) ②掻痒 (過敏 1/01皮膚) ①多形滲出性 紅斑 (過敏 2/01皮膚) ②掻痒 (過敏 1/01皮膚) ①多形滲出性 紅斑 (過敏 2/01皮膚) ②掻痒 (過敏 1/01皮膚)	①13 日 中止 ②13 日 ①13 日 終了 ②13 日 ①13 日 終了 ②13 日	中止	テブレノンカプセ ル50mg	①有/不 明 ②有/不 明	①有 ②有	上気道炎 (なし)	【経過のポイント】 内服開始1日目 当院受診、咽頭痛のためユナシン、アスピリン、メジコン、ロキソマ リン、テブレノンを5日分処方され、内服を開始する。 内服開始3日目 ロキソニン、テブレノンの服用を3日目までで自己判断で終了す る。 内服開始5日目 ユナシン、メジコン、アスピリンが飲み切り終了となる。 内服終了8日後 夜間、上下肢(両手掌、両足底、両肘、両膝)に発赤と掻痒感が出 現。 内服終了10日後 皮膚科を受診する。エバステン10mg×2を7日分処方される。 その後、受診無し。
No.2015 0007	1歳～6歳 (男)	ワイドシリン細粒 20% (アモキシシリン 水和物細粒)	経口/細粒 (220mg×3) 2015.2～9日	①多形滲出性 紅斑 (過敏 2/01皮膚) ②掻痒 (過敏 1/01皮膚)	①7日 中止 ②7日	中止	ザジテンD.S、ア レジオン、シング レア、ムコダイ ン、ピオスリー、 ホクナリンテー プ、ヒアレイン点 眼	①有/ 回復 (10日) ②有/ 不明	①有 ②有	溶連菌感染症 (上気道炎、角 結膜炎)	【経過のポイント】 内服開始前日 溶連菌感染で発疹出現。 内服開始日 小児科を受診し、ワイドシリンが処方される。 内服開始8日目 両頬と四肢に紅斑出現。痒みも有り。 内服開始9日目 小児科と皮膚科を受診し、ワイドシリンを中止。(朝までは服用して いた) プレドニゾン9mg、アレジオン10mg処方。 内服中止3日目 皮疹ほぼ消失。 内服中止10日目 皮疹消失、回復。

報告書No	患者	被疑薬名 (成分名)	経路/剤型 (用量/期間)	副作用名 (重症度/症状分類)	発現 期間	処置	併用薬	治療 (回復 期間)	添文記載 (文献 報告)	被疑薬使用疾患	経過
No.2015 0008	80歳～ 84歳 (女)	トラムセット配合錠 (トラマドール塩酸塩・アセトアミノフェン配合剤錠)	経口/錠 (362.5mg×1回) 2015.4～13日	薬疹 (過敏2/01皮膚)	10日	中止	アトルバスタチン(5) エナラプリル(5) リマプロスタアル	有/軽快	有	右変形性股関節症の疑い(高血圧、脂質異常症、下肢虚血)	【経過のポイント】 内服開始日 整形外科受診 セレコックス、レバミピド、トラムセット、ノバミンが処方される。夕から内服。 開始7日目 ノバミン内服終了。 開始11日目 ヘその周り少数の発赤。
		ノバミン錠5mg (プロクロルペラジンマレイン酸塩錠)	経口/錠 (5mg×1回) 2015.4～7日	薬疹 (過敏2/01皮膚)	10日	終了	ファデクス(5) メコバラミン(500) レバミピド(100)	有/軽快	有	右変形性股関節症の疑い(高血圧、脂質異常症、下肢虚血)	開始12日目 顔面に発赤。 開始13日目 発赤が全身に広がる。近隣の内科を受診し、セレコックス、トラムセット内服中止の指示。ネオファージェン点滴。 開始14日目 当院の皮膚科を受診する。フェキソフェナジン(60) /バンデル軟膏0.1%処方 開始21日目 軽快
		セレコックス錠100mg (セレコキシブ錠)	経口/錠 (100mg×1回) 2015.4～13日	薬疹 (過敏2/01皮膚)	10日	中止		有/軽快	有	右変形性股関節症の疑い(高血圧、脂質異常症、下肢虚血)	開始21日目 軽快
No.2015 0009	75歳～ 79歳 (女)	オムニパーク300注シリンジ 125mL (イオヘキソールキット)	静注/デボ (125mLシリンジ×1本) 2015.3～1回	①薬疹 (過敏2/01皮膚) ②掻痒 (過敏1/01皮膚)	①1日 終了 ②1日		脂質異常症治療薬1種(薬剤名不明)、ファモチジン、レバミピド、ボドニン	①有/軽快 ②有/軽快	①有 ②有	胸骨(+) 体幹CT (脂質異常症、胃炎、右卵巣嚢腫)	【経過のポイント】 CT検査日 午後1時過ぎに造影CT検査を行う。造影剤としてオムニパークを使った。 検査翌日 夜8時過ぎ、入浴時に赤い皮疹に気づく。軽度の掻痒あり。 検査2日後 なんとなく胸が苦しい感じがして皮膚科に来院。頸部から体幹に浮腫性紅斑多発。ポララミン注1A、ネオフィリン注0.5A、サクシゾン300mg1Vを点滴投与。 プレドニゾン錠20mg/日、ファモチジン20mg/日、エバステン20mg/日、ジフラークリーム30gが処方される。 治療開始3日目 紅斑の改善は見られない。前回と同じ薬剤を処方され、経過観察となる。 治療開始8日目 紅斑はおよそ半分くらい改善。プレドニゾン錠を10mg/日に減量し、その他の薬剤は前回と同じ処方が出る。 治療開始14日目 血管拡張はあるものの、紅斑軽快。内服を漸減し、終診となる。
No.2015 0010	60歳～ 64歳 (男)	ゾシン静注用4.5 (タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム静注用)	静注/バイアル (4.5g×3) 2015.6～8日	①薬疹 (過敏2/01皮膚) ②掻痒 (過敏1/01皮膚)	①8日 中止 ②8日		生食、アルピニー坐剤、マグミット錠、センソサイド錠、ウルソデオキシコール酸錠、テトラミド錠、アミノバクト配合顆粒、ランソプラゾールOD錠、ロキソマリン錠、ピオスリー配合錠	①有/軽快 ②有/回復 ③有/回復 (3日)	①有 ②有	胆管炎 (切除不能肝門部領域胆管腫、便秘症、うつ病、低アルブミン血症)	【経過のポイント】 胆管癌でGIC療法施行中。1クール目終了後退院。胆管炎を起こし再入院。2クール目は中止されている。 投与開始1日目 胆管炎に伴う発熱のためゾシン4.5gを1日4回投与。 投与開始6日目 ゾシン4.5gを1日3回投与となる。 投与開始8日目 全身に発疹、浮腫性紅斑が発現。痒みを伴う。ゾシン中止となる。 ポララミン5mg/A、ネオファージェン20mL/Aを1日2回投与を開始。 投与中止3日目 全身の発疹は残るものの、掻痒感は改善。 ポララミン、ネオファージェンから内服抗アレルギー薬と外用ステロイドへ変更。 エバステン5mg×4T、ジフラークリーム処方。 投与中止4日目 クラビット500mg4日分処方。 投与中止7日目 通常時、発疹・発赤はなし。入浴後に発赤が出現するものの、数時間で改善する。 投与中止8日目 退院のため終診。
No.2015 0011	75歳～ 79歳 (女)	サーカネッテン配合錠 (パラフレボン・センナ末配合剤錠)	経口/錠 (2T×3) 2015.4～3日	発疹 (過敏2/01皮膚)	3日	中止	バイアスピリン、ランソプラゾールOD、クレステール、バルサルタン、カルベジロール、エパロース、カルボシステイン、アムロジピン、ハイベン、レバミピド、酸化マグネシウム、プロクトセディル軟膏	有/軽快	有	内痔核 (心不全、陈旧性心筋梗塞、不安定狭心症、高血圧、骨粗鬆症、脂質異常症、難治性逆流性食道炎、便秘症、腰椎椎体骨折、非結核性好酸菌症既往)	【経過のポイント】 内服開始3日前 入院中、排便時出血あり。外科対診し内痔核の診断 内服開始日 夕食後よりサーカネッテン6T/日で服用 開始3日目 体幹、四肢に発疹出現。粟粒大の紅斑多発。皮膚科受診、昼からサーカネッテン中止。 (内服中止1日目) フェキソフェナジン2T7日分、ヒルドイドソフト：ジフラーミックス処方 内服中止7日目 改善傾向見られ、皮膚科薬剤飲み切り中止。
No.2015 0012	50歳～ 59歳 (女)	注射用エンドキサ ン500mg (シクロホスファミド水和物注射用)	静注/バイアル (880mg×1回) 2015.6～1日	①発熱性好中球減少症 (血液3/10血液) ②嘔気・嘔吐 (消化器2/06胃腸)	①12日 終了 ②1日		生食、デュロテップMT/パッチ(8.4)・(4.2)、イブプロフェン錠(100)、デカドロン錠(4)、カロナル錠(200)、インジナール	①有/回復 ②有/回復 (6日)	①有 ②有	転移性乳がん	【経過のポイント】 転移性乳がん(肺、胸腰椎、多発LN)にてweekly-PTX+BV療法を9クール1回目まで実施、終了していた。 実施当日 AC療法(初回)実施。インターバル3週間。 実施1日後 朝に嘔気・嘔吐あり。ナウゼリン坐剤30mg使用。退院となる。トラベルミン配合錠、ブラミール15mg内服開始。 実施2日後 嘔気・嘔吐治まらず、嘔吐は3回あり。 実施3日後 退院後の嘔気・嘔吐、脱水により再入院。飲食不可、嘔吐4回あり。電解質異常なし。ナウゼリン坐剤30mg使用。ソルデム3A 500mL、ソルラクトS500mL、ダイタミックス注、エリーテン注10mg、アタラックス-P点滴投与、ブラミール錠30mgに増量、ノバミン錠5mg頓用で追加。 実施5日後 嘔吐はなくなるが、嘔気継続。ノバミン錠15mgに増量。 実施7日後 嘔気消失。 実施11日後 夜、38.1℃の発熱あり。クーリング実施。 実施12日後 白血球数770/μL、好中球292/μLまで低下。グランシリンジ(75μg)、マキシブーム4g分2投与。夜、37.2℃まで解熱する。 実施16日後 マキシブーム4g分2投与、この日で終了となる。経過良好で、退院となる。白血球数6030/μL、好中球4703/μL 体温35.8℃
		(A) ドキソルピ ン塩酸塩注射用 50mg「NK」 (ドキソルピ ン塩酸塩注射用) (B) ドキソルピ ン塩酸塩注射用 10mg「NK」 (ドキソルピ ン塩酸塩注射用)	(A) 静注/バイアル (50mg×1回) 2015.6～1日 (B) 静注/バイアル (35mg×1回) 2015.6～1日	①発熱性好中球減少症 (血液3/10血液) ②嘔気・嘔吐 (消化器2/06胃腸)	①12日 終了 ②1日 終了	(A) 終了 (B) 終了		①有/回復 ②有/回復 (6日)	①有 ②有	転移性乳がん	

報告書No	患者	被疑薬名 (成分名)	経路/剤型 (用量) 期間	副作用名 (重症度/ 症状分類)	発現 期間	処置	併用薬	治療 (回復 期間)	添文記載 (文献 報告)	被疑薬使用疾患	経過
No.2015 0013	70歳～ 74歳 (男)	パレリンシロップ 5% (パルプロ酸ナト リウムシロップ)	経口/シロップ (600mg×2) 2014.12～8カ 月	血小板減少症 (血液3/10血 液)	4ヵ月	継続	ラファラ [®] -iOD、 カビア (中止と再 開を繰り返す)、 ユリス、カビド、カ アリール (2カ 月)、オゾツ (2ヵ月)、アミ ジツ (14日)、オ カ点眼、リ [®] MTG 点眼、シタラA点 眼、内服開始17年	有/未回 復	有	てんかん (胃癌術後、脳 挫傷、脳腫瘍術 後、慢性閉塞隅 角緑内障、うっ 血性心不全、心 房細動、貧血、 前立腺肥大症、 鼻出血、高尿酸 血症、起立性低 血圧)	【経過のポイント】 内服開始 てんかんに対してラファラ [®] の内服を開始した。 内服開始15年後より、血小板が時々10.4万/μl、9.3万/μlと低いことあり。 内服開始16～17年目、血小板8.6万～27.1万/μlと変動あり。ヘパ [®] DC [®] も平均8～ 10g/dl前後と低めであった。この間、時々鼻出血あり。 内服開始17年11ヵ月、肺炎/DICで入院時、血小板4.7万/μlに低下、その10日後には 29.1万/μlに回復した。入院中にパ [®] カ [®] に変更となった。その後も血小板は8.6～ 19.3万/μlで変動あり。 内服開始18年4ヵ月、鼻出血/器質性肺炎で入院時、血小板4.4万/μlに低下、その9日 後には25万/μlに回復した。 内服開始18年7ヵ月、肺炎で入院時、血小板5.0万/μlに低下、その18日後7.3万/ml まで上昇し、退院となった。なお、入院1ヵ月前にラファラ [®] は中止していた。
		デバケンR錠200 mg (パルプロ酸ナト リウム徐放錠 (1))	経口/錠 (600mg×2) 1997.1～17年	血小板減少症 (血液3/10血 液)	約15 年	終了	11ヵ月まで併用→ ス [®] ビ [®] ラ [®] 、ヒソ [®] ロ [®] 、ハーフジゴ キシン、イ [®] ア [®] リ	有/未回 復	有	てんかん (胃癌術後、脳 挫傷、脳腫瘍術 後、慢性閉塞隅 角緑内障、うっ 血性心不全、心 房細動、貧血、 前立腺肥大症、 鼻出血、高尿酸 血症、起立性低 血圧)	
No.2015 0015	60歳～ 64歳 (男)	クラリスロマイシ ン錠200mg「サウ イ」 (クラリスロマイ シン錠)	経口/錠 (200mg×2) 2015.4～7日	多形滲出性紅 斑 (過敏3/01皮 膚)	11日	終了	小青竜湯、エバス チン、ザルティ ア、テネリア、メ トグルコ、ボグリ ボース、グリメモ リド、ペザフィブ ラート、アムロジ ピン、バイアスピ リン、ランソプラ ゾール	有/軽快	有	感冒 (前立腺肥大 症、糖尿病、脂 質異常症、高血 圧、逆流性食道 炎、狭心症)	【経過のポイント】 内服開始日 風邪で受診。クラリスロマイシン、エバスチン、小青竜湯処方される。 クラリスロマイシンは一週間飲み切り終了。他の2剤は感冒症状軽快したため自己判断 で服薬中止した。 内服終了4日目 皮疹に気づく。痒みなし。結膜正常。 内服終了5日目 動悸が激しくなる。紅斑が全身に広がる。 内服終了8日目 当院受診。ボララミン処方される。 内服終了9日目 皮膚科受診。プレドニン、エバスチン、ファモチジン処方される。す ぐに症状軽快。
No.2015 0016	70歳～ 74歳 (男)	クラビット錠500 mg (レボフロキサシ ン水和物錠 (2))	経口/錠 (500mg×1) 2015.6～2日	スティープン スジョンソン 症候群 (過敏3/01皮 膚)	1日	中止	パリエット、リパ ロ、ユリノーム、 アムロジピン、メ リスロン、ダイピ ン	有/軽快	有	腰痛 (高血圧、脂質 異常症、高尿酸 血症、逆流性食 道炎)	【経過のポイント】 内服開始日 腰痛で受診。帰宅後クラビット、ダイピンを服用。夕方から口唇に痒み 異変出現。 内服中止日 クラビットは2日間のみ服用。 内服中止2日目 便秘で受診。同時に口唇腫脹も診てもらい、マグラックス、セレス タミン処方される。 内服中止3日目 腰痛で受診。ロキソニン、プルゼニド処方される。 内服中止4日目 口唇の腫れ、出血が増悪。 内服中止5日目 受診。ビドキサル、ハイボン、アフタソロン軟膏処方される。 内服中止6日目 当院受診。口唇びらんあり、右目横びらんあり、痒みあり、目症状な し、発熱なし。 プレドニゾン20mg、ファモチジン、アズノール処方される。 内服中止13日目 軽快
No.2015 0017	70歳～ 74歳 (男)	クラリスロマイシ ン錠200mg「サウ イ」 (クラリスロマイ シン錠)	経口/錠 (200mg×2) 2015.6～2日	①倦怠感 (その他1/03 精神・神経) ②嘔気 (消化器1/06 胃腸) ③目のチカチ カ (精神1/03精 神・神経)	①1時 間 ②1時 間 ③1時 間	中止	ハーフジゴキシ (0.125)、バイ アスピリン、エナ ラプリルマレイン 酸(5)、ファモ チジン(20)、 ワーファリン (1)、フロセミ ド(10)、テプレ ノン、フリバス (75)、アレンド ロン酸、エディ ロール	①無/回 復(2時 間) ②無/回 復(2時 間) ③無/回 復(2時 間)	①有 ②有 ③無	腎部毛嚢炎 (骨粗鬆症、慢 性胃炎、慢性心 不全、慢性心房 細動、前立腺肥 大症、高血圧 症、腹部大動脈 瘤)	【経過のポイント】 内服開始日 腎部毛嚢炎に対してクラリスロマイシン(200)2T2×処方 夕方から 服用開始 開始2日目 朝1T内服。服用後1時間程で倦怠感、嘔気、目のチカチカ出現。横になり 2時間ほどで症状治まった。 夕方1T内服。服用後再び倦怠感、嘔気出現。2時間ほどで症状治まった。 家族より看護師へ電話連絡あり。服用中止し翌日皮膚科外来受診。
No.2015 0018	20歳～ 29歳 (女)	クラリスロマイシ ン錠200mg「サウ イ」 (クラリスロマイ シン錠)	経口/錠 (200mg×1) 2015.8～1回	アナフィラキ シー (過敏3/13過 敏症)	1日未 満	中止	メイラックス1 mg、ワイバックス 0.2mg、フスタ ゾール10mg、アン プロキソール15 mg、フェキソフェ ナジン60mg	有/軽快	有	感冒 (パニック障 害)	【経過のポイント】 内服開始1日前 感冒症状出現 内服開始日 近医受診。カロナール・フスタゾール・アンプロキソール・フェキソ フェナジン・クラリスロマイシンが処方され、10時半頃内服。同時にバナナ・ヨー グルトも摂取。短時間睡眠をとり15時頃起床すると皮疹が出現していた。顔を含めほぼ 全身に紅斑・むずがゆさ認められた。近医受診し抗アレルギー薬(薬名不明)投与。セ レスターナ処方あり内服するも回復せず。次第に悪寒、呼吸苦認め救急要請。19時頃 にはピークより紅斑は消失しつつあったが依然症状有り。サクシゾン300mg、ボララ ミン5mg投与あり。 救急搬入時血圧107/59、体温39.3度。アナフィラキシーのセカンドショックに備え 入院にて経過観察となる。 内服中止1日目 午前には皮疹消失し解熱。夜再び軽度皮疹出現しサクシゾン300mg、 ボララミン5mg投与。 内服中止3日目 症状再燃無し。退院。プレドニゾン経口投与で継続。
		カロナール錠200 (アセトアミノ フェン錠)	経口/錠 (400mg×1) 2015.8～1回	アナフィラキ シー (過敏3/13過 敏症)	1日未 満	中止		有/軽快	有	感冒 (パニック障 害)	

報告書No	患者	被疑薬名 (成分名)	経路/剤型 (用量/期間)	副作用名 (重症度/症状分類)	発現 期間	処置	併用薬	治療 (回復 期間)	添文記載 (文献 報告)	被疑薬使用疾患	経過
No.2015 0019	40歳～ 49歳 (女)	ジクロフェナクナ トリウム坐剤25mg 「JG」 (ジクロフェナク ナトリウム坐剤)	経直腸/坐薬 (25mg×1) 2015.7～1回	急性肝障害 (肝臓3/07 肝・胆)	1日	終了	アナペイン注、キ シロカイン、プリ ディオ、ネオシ ネジン、生理食塩 液、トランサミン	無/回復 (19 日)	有	術後創部疼痛 (人工股関節置 換術、変形性股 関節症、貧血)	【経過のポイント】 術前2ヵ月前 術前採血 AST14 ALT11 LD144 手術当日 術前内服はクエン酸第一飲のみ 変形股関節症にて人工股関節置換術施行、術時全被疑薬およびアナペイン注、キシロ カイン、プリディオ、ネオシネジン、生理食塩液、トランサミン注、デキサート注
		セファゾリンNa 点滴静注用1g バッグ「NP」 (セファゾリンナ トリウムキット (2))	静注/バイアル (1g×1) 2015.7～1回	急性肝障害 (肝臓3/07 肝・胆)	1日	終了	注、デキサート 注、自己血、フエ ン酸第一飲使用	無/回復 (19 日)	有	人工股関節置換 術 感染予防 (人工股関節置 換術、変形性股 関節症、貧血)	使用。 術後疼痛にて同日、ジクロフェナク坐剤使用 術後1日目 術後処置薬としてロキソニン、レバミピド100mg それぞれ3T3Xで開始 同日午後 AST、ALTの異常上昇 (AST1864 ALT1436)、午後その他血液検査 実施 (検査値参照)、補液開始 (4日間で終了)
		エスラックス静注 50mg/5.0mL (ロクロニウム臭 化物注射液)	静注/バイアル (50mg×1) 2015.7～1回	急性肝障害 (肝臓3/07 肝・胆)	1日	終了	無/回復 (19 日)	有	人工股関節置換 術 筋弛緩 (人工股関節置 換術、変形性股 関節症、貧血)	人工股関節置換 術 筋弛緩 術後2日目 AST347 ALT810 改善傾向。術後疼痛にロキソニン、レバミピド常用再開 術後3日目 AST117 ALT481 術後9日目 AST 28 ALT85 術後19日目 AST 14 ALT17 検査値正常化 その後、検査値安定 術後60日目に退院	
		1%ディプリバン 注一キット (プロボフォール キット)	静注/アンブル (700mg×1) 2015.7～1回	急性肝障害 (肝臓3/07 肝・胆)	1日	終了	無/回復 (19 日)	有	人工股関節置換 術 鎮静 (人工股関節置 換術、変形性股 関節症、貧血)	人工股関節置換 術 鎮静 (人工股関節置 換術、変形性股 関節症、貧血)	
		アルチバ静注用2 mg (レミフェンタニ ル塩酸塩注射液)	静注/バイアル (1.5mg×1) 2015.7～1回	急性肝障害 (肝臓3/07 肝・胆)	1日	終了	無/回復 (19 日)	有	人工股関節置換 術 麻酔 (人工股関節置 換術、変形性股 関節症、貧血)	人工股関節置換 術 麻酔 (人工股関節置 換術、変形性股 関節症、貧血)	
No.2015 0020	50歳～ 59歳 (女)	(A) レバミピド 錠100mg「NP」 (レバミピド錠 (1)) (B) レバミピド 錠100mg「NP」 (レバミピド錠 (1))	(A) 経口/錠 (100mg×2) 2015.7～10日 (B) 経口/錠 (100mg×3) 2015.7～1日	①薬疹 (過敏 2/01皮膚) ②掻痒感 (過 敏1/01皮膚)	①8日 ②8日	(A) 中 止 (B) 中 止	無し	①有/軽 快 ②有/軽 快	①有 ②有	胃炎 【経過のポイント】 内服開始日 近医整形外科にてセレコックス (100) 2T2×、リリカ (25) 2C2×、 レバミピド (100) 2T2×夕方から服用 開始8日目 皮疹出現 (顔面・躯幹)、かゆみあり 開始10日目 (中止1日目) 皮膚科受診、整形処方薬中止。入院勧めるも本人拒否。 通院にてステロイドパルス療法を行う。デキサート6.6mg、ネオファージェン20ml点 滴、PSL30mg、レバミピド100mgは3T3×へ増量、ザイザル5mg2T2内服治療開始 内服中止2日目 顔面体幹の紅斑悪化。念のためレバミピド→ファモチジン20mg2T2	
		リリカカプセル25 mg (プレガバリンカ プセル)	経口/Cap (25mg×2) 2015.7～10日	①薬疹 (過敏 2/01皮膚) ②掻痒感 (過 敏1/01皮膚)	①8日 ②8日	中止	無し	①有/軽 快 ②有/軽 快	①有 ②有	左臀部疼痛 (筋 肉硬直による痛 み) 内服中止3日目 顔面の紅斑→淡紅斑へ、びまん性、体幹はやや褐色調へ。痒みも軽 快。サクシゾン500mg、ネオファージェンD/V 内服中止9日目 皮疹軽快、PSL漸減し終診。	
		セレコックス錠 100mg (セレコキ シブ錠)	経口/錠 (100mg×2) 2015.7～10日	①薬疹 (過敏 2/01皮膚) ②掻痒感 (過 敏1/01皮膚)	①7日 ②7日	中止	無し	①有/軽 快 ②有/軽 快	①有 ②有	左臀部疼痛 (筋 肉硬直による痛 み) 内服中止9日目 皮疹軽快、PSL漸減し終診。	
No.2015 0021	85歳～ 89歳 (女)	アレシラールカ プセル250mg (セファクローカ プセル)	経口/Cap (250mg×3) 2015.8～1回	アナフィラキ シー (過敏3/13過 敏症)	90分	中止	アムロジピン、アル マイラー、ジル チアゼム、アルジ オキサ、プロテカ ジン、フォルセ ニッド、アルセチ ン	有/軽快	有	耳漏 (高血圧、脂質 異常症、胃炎、 便秘) 【経過のポイント】 内服開始日 (内服中止1日目) 耳漏で耳鼻科を受診し、アレシラール処方される。内服1時間後、手が赤くなり痒 み出現。その後全身に発疹、痒み、目の充血、胸が苦しくなり救急車にて来院、入院 される。アドレナリン注、ボララミン注、ソル・メルコート注投与され、症状改善さ れるが、その後再度発疹、痒みが出現。ボララミン注、フェキソフェナジン錠内服し 改善される。 内服中止2日目 軽快退院	
No.2015 0022	1歳～6歳 (女)	(A) ワイドシリ ン細粒20% (アモキシシリン 水和物細粒) (B) ワイドシリ ン細粒20% (アモキシシリン 水和物細粒)	(A) 経口/細 粒 (250mg×2) 2015.8～5日 (B) 経口/細 粒 (233mg×3) 2015.8～7日	①中毒疹 (過敏2/01皮 膚) ②掻痒症 (過敏1/01皮 膚)	①13 日 ②13 日	(A) 終 了 (B) 終 了	テラコートリル軟 膏、アレジオン DS	①有/軽 快 ②有/軽 快	①有 ②有	伝染性膿疱疹、 中耳炎 【経過のポイント】 服用歴1ヵ月・2ヵ月・3ヵ月前にワイドシリン服用歴有り。 内服開始日 他院受診。中耳炎でワイドシリン500mg2×5日分 開始6日目 当院皮膚科で伝染性膿疱疹の診断。700mg3×7日分、アレジオン、テラ コートリル処方 開始13日目 (内服終了2日目) 顔、体幹、頭皮などの痒み、紅斑、発赤あり。微熱 37℃あり 開始14日目 アレジオン増量・バンデル軟膏0.1%処方 開始17日目 紅斑・痒み軽快。	
No.2015 0023	16歳～ 19歳 (女)	市販薬：バファリン A錠	経口/錠 (2錠×1) 2015.9～1回	①顔面浮腫 (過敏2/12浮 腫) ②掻痒 (過敏1/13過 敏症)	①30 分 ②30 分	中止	なし	①有/軽 快 ②有/軽 快	①有 ②有	頭痛 【経過のポイント】 内服開始日 夕食におでんの練り物を摂取。頭痛あり。夕食1時間後にOTCバファリン A錠服用。30分後からまぶたの腫れ、痒み出現。その後顔面全体、目に腫れが広がっ た。救急外来受診し、ファモチジン、ボララミン点滴投与した。 中止1日目 上記症状軽減するも、浮腫あり。目はほとんど開いていない。トラネキサ ム酸、PSL 20mg、ファモチジン、フェキソフェナジンが処方となった。 中止2日目 冬瓜、みょうが、白米、ゴマ豆腐、コロッケ摂取。入浴後に腕、腹部に尊 麻疹。左頬に影疹2個。咽頭痛少しあり。PSL10mgに減量し、飲み切り終了。エバステ ン、トラネキサム酸は継続。以後受診無し。	

報告書No	患者	被疑薬名 (成分名)	経路/剤型 (用量/期間)	副作用名 (重症度/症状分類)	発現 期間	処置	併用薬	治療 (回復 期間)	添文記載 (文献 報告)	被疑薬使用疾患	経過
No.2015 0024	70歳～ 74歳 (男)	リリカパセル25 mg (プレガバリンカ パセル)	経口/錠 (25mg×2) 2015.8～19日	①発疹 (過敏1/01皮 膚) ②そう痒 (過敏1/01皮 膚)	①20 日 ②20 日	中止	クレストール (2.5)、バイア スピリン、ランソ プラゾール、マグ ミット、ベシケア OD (5)、フリ バスOD (25)、 セレコックス、レ バミピド	①有/回 復 (20 日) ②有/軽 快	①有 ②有	右下肢痛 (不整脈、前立 腺肥大症、脂質 異常症、便秘 症、過活動性膀 胱)	【経過のポイント】 内服開始日 整形外来 右下肢痛に対してリリカ (25) 2cap、セレコックス2錠、レ バミピド2錠/日処方。夕から服用。 内服開始11日目 背中に赤い小さな発疹が出現。痒みあり。内服継続。 内服開始14日目 皮膚科外来受診。湿疹と診断。リンデロンDP軟膏処方。 内服開始15日目 整形外来受診。右下肢痛改善傾向のためセレコックス、レバミピド は終了。リリカは継続して処方。内服継続。 内服開始20日目 下肢に皮疹が出現。痒みあり。患者自己判断により内服中止。 (内服中止1日目) 内服中止10日目 皮膚科外来受診。エバチン2錠/日、ジフルールクリーム処方。 内服中止14日目 皮膚科外来受診。下肢に紅斑散在、そう痒あり。デルモベート軟 膏、ロラタジン20mg、プレドニゾン20mg開始。 内服中止20日目 背部、下肢の皮疹消退。
No.2015 0025	70歳～ 74歳 (男)	レバミピド錠100 mg [NP] (レバミピド錠 (1))	経口/錠 (100mg×2) 2015.8～14日	①発疹 (過敏 1/01皮膚) ②そう痒 (過敏1/01皮 膚)	①20 日 ②20 日	終了	クレストール (2.5)、バイア スピリン、ランソ プラゾール、マグ ミット、ベシケア OD (5)、フリ バスOD (25)、 リカ	①有/回 復 (25 日) ②有/軽 快	①有 ②有	胃炎 (不整脈、 前立腺肥大症、 脂質異常症、便 秘症、過活動性 膀胱)	【経過のポイント】 内服開始日 整形外来 右下肢痛に対してリリカ (25) 2cap、セレコックス2錠、レ バミピド2錠/日処方。夕から服用。 内服開始11日目 背中に赤い小さな発疹が出現。痒みあり。内服継続。 内服開始14日目 皮膚科外来受診。湿疹と診断。リンデロンDP軟膏処方。 内服開始15日目、終了1日目 整形外来受診。右下肢痛改善傾向のためセレコックス、 レバミピドは終了。リリカは継続して処方。内服継続。 内服終了6日目 下肢に皮疹が出現。痒みあり。患者自己判断により内服中止。 内服終了15日目 皮膚科外来受診。エバチン2錠/日、ジフルールクリーム処方。 内服終了19日目 皮膚科外来受診。下肢に紅斑散在、そう痒あり。デルモベート軟 膏、ロラタジン20mg、プレドニゾン20mg開始。内服終了25日目 背部、下肢の皮 疹消退。
No.2015 0026	60歳～ 64歳 (女)	セフボドキシム ロキセチル (100)	経口/錠 (200mg×2) 2015.8～5日 間	①皮疹 (過敏 2/01皮膚) ②掻痒 (過敏 1/01皮膚)	①5日 ②5日	中止	アリスタリカガ ル ハミット	①有/軽 快 ②有/不 明	①有 ②有	抜歯 (脂質異常症、 パセドウ病、気 管支喘息)	【経過のポイント】 治療開始1日目 抜歯後夕方からセフボドキシム (100) 4T×、オパイルン (125) パセドウ病、気 管支喘息 治療開始2日目 朝水溶性下痢と腹部の違和感あり受診。ピオスリー3T×処方 治療開始5日目 下痢は落ち着いた。午後から全身に皮疹・かゆみ (+) セフボドキシ ムとオパイルンは夕方まで内服。 投与開始6日目 (中止1日目) 午後当院 (休日外来) 受診し、ソルデム1号、サクシ ゾン300mg、ボラミン点滴。フェキソフェナジン処方。セフボドキシム、オパイル ンは中止指示あり。 中止2日目 皮膚科受診し、デキサート1.65mg、ネオファージェン注点滴。プレドニ ン20mg、ファモチジン、フェキソフェナジン内服処方。 中止6日目 掻痒残るが皮疹軽快。翌日よりプレドニゾン漸減開始。
No.2015 0027	65歳～ 69歳 (男)	ヒルロイドロー ション0.3% (ヘパリン類似物 質液)	外用/ローショ ン (1回) 2015.6～1回	①接触性皮膚 炎 (過敏1/01 皮膚) ②掻痒 (過敏 1/13過敏症)	①半 日 ②半 日	中止	降圧薬 (薬名不 明)、7.5%ナトリ ウム	①有/回 復 (2 日) ②有/回 復 (2 日)	①有 ②有	びまん性紅斑 (手足爪白癬、 高血圧、体部白 癬)	【経過のポイント】 開始日 顔にびまん性の紅斑あり、ヒルロイドローション処方 夕方入浴後に顔に1回だけ塗った。 中止1日目 朝起きた時点で顔面掻痒、紅斑、痛みなし 受診しロコイド軟膏処方。 中止3日目 症状回復
No.2015 0028	1歳～6歳 (男)	ワイドシリン細粒 200 (アモキシシリン 水和物細粒)	経口/細粒 (167mg×3) 2015.6～8日	①多形滲出性 紅斑 (過敏 2/01皮膚) ②掻痒 (過敏 1/13過敏症)	①8日 ②8日	中止	ピオスリー	①有/軽 快 ②有/回 復 (3日)	①有 ②有	溶連菌感染症咽 頭炎	【経過のポイント】 内服開始1日目 当院にて咽頭炎にワイドシリン開始10日処方となる。 内服開始8日目 (内服中止1日目) 夕方昼寝から起きたら発赤、発疹が全身に出来てい た。痒みもあった。 内服中止2日目 外来受診。ワイドシリンによる副作用と診断された。プレドニゾン 7mg・アレロック顆粒0.5%・テブレノン細粒10%・テクスメテンユニバーサルクリー ム・ロコイド軟膏を処方された。 内服中止4日目 外来受診。症状軽快、痒みなし。 内服中止5日目 PSL4mgに減量。 内服中止7日目 PSL2mgに減量。アレルギーは特になが、虫刺されなどで腫れや すい体質である。
No.2015 0029	60歳～ 64歳 (女)	(A) バンコマイ シン塩酸塩点滴静 注用1g [ファイ ザー] (バンコマイシン 塩酸塩注射用) (B) バンコマイ シン塩酸塩点滴静 注用1g [ファイ ザー] (バンコマイシン 塩酸塩注射用)	(A) 静注/パ イアル (1g×2) 2015.9～12日 間 (1日休薬) (B) 静注/パ イアル (0.8g×2) 2015.9～1日	薬疹 (過敏2/01皮 膚)	13日	(A) 終 了 (B) 中 止	ファモチジン20 mg、ソルデム3A 500mL、ビーフ リード500mL、 生理食塩液 100mL	有/軽快	有	カテーテル感染 (脳梗塞後遺 症、脳出血後遺 症)	【経過のポイント】 HPNを施行していた 投与開始1日目 CV感染症疑いにて入院 バンコマイシン1g×2投与。 投与後、顔面紅潮あり、速度落として投与。その後、紅潮消失。 投与開始8日目 培養結果よりピクシリン2g×4に変更。 投与開始9日目 発熱あり効果乏しいと判断し、抗生剤はバンコマイシン1g×2へ もどした。 投与開始13日目 血中濃度VCM22投与量減量。 投与開始14日目 (中止1日目) 胸部から背部にかけて広範囲の発赤。掻痒は返答無 く不明。バンコマイシン中止し、ボラミン5mg、ネオファージェン20mL投与。 投与中止2日目 水溶性プレドニゾン注30mg投与開始。連日投与。 シフルール軟膏、リンデロンV軟膏処方。 投与中止7日目 水溶性プレドニゾン注20mg減量。薬疹はほぼ消失 投与中止12日目 水溶性プレドニゾン注10mgを投与しステロイド終了。

報告書No	患者	被疑薬名 (成分名)	経路/剤型 (用量・期間)	副作用名 (重症度/症状分類)	発現 期間	処置	併用薬	治療 (回復 期間)	添文記載 (文献 報告)	被疑薬使用疾患	経過
No.2015 0030	85歳～ 89歳 (女)	セファゾリンNa 注射液1g [NP] (セファゾリンナ トリウム注射液)	静注/バイアル (1g×1) 2015.11～1回	①呼吸苦 (呼吸器2/09 呼吸器) ②全身紅斑 (過敏2/01皮 膚) ③掻痒 (過敏1/01皮 膚)	①10 分後 ②10 分後 ③10 分後	終了	ラシックス注20 mg、カンレノ酸カ リウム注200mg、 ソルデム3A 200mL、ランソ プラゾールOD (30)、テプレノ ンカプセル (50)、アムロジ ピン (5)、マグ テクト配合内服 液、生理食塩液20 mL	①有/回 復 (7時 間) ②有/回 復 (7時 間) ③有/軽 快	①有 ②有 ③有	ペースメーカー 挿入手術 (心弁膜症、房 室ブロック、高 血圧、難治性逆 流性食道炎、胃 潰瘍既往)	【経過のポイント】 投与日ペースメーカー手術前にセファゾリン1g、生食20mLで5分で投与 投与開始10分後 両上肢発赤、掻痒感、軽度呼吸困難感認め。血圧165/76、酸素 飽和度93%、HR42。主治医上申し酸素3L。水溶性プレドニゾン20mg、ボララミン 5mg点滴開始。発赤全身に広がるが膨隆無し。背部を中心に掻痒感強くなる。およそ1 時間後、酸素飽和度98%、血圧152/69、HR41、呼吸困難感・発赤・掻痒感改善して いく。 投与開始7時間後 呼吸困難、発赤なし。
No.2015 0031	65歳～ 69歳 (女)	オーグメンチン配 合錠250R S (アモキシシリン 水和物・クラブラ ン酸カリウム錠)	経口/錠 (250mg×3) 2015.10～7日	①薬疹 (過敏 2/01皮膚) ②掻痒 (過敏 1/01皮膚)	①11 日 ②11 日	終了	アドエア500ディ スカス60吸入用、 アスベリン錠	①有/軽 快 ②有/軽 快	①有 ②有	扁桃炎 (喘息性気管支 炎)	【経過のポイント】 内服開始日 感冒症状のため内科受診。扁桃炎診断でアスベリン、カルボシステイ ン、オーグメンチン、カロナール頓用処方あり。昼から服用開始。カロナールは 200mgを2錠内服した。 開始7日目 処方薬全て飲みきる。 内服終了4日目 夜20時頃から体幹、四肢に発疹出現。痒みのため睡眠できなかつ た。 内服終了5日目 皮膚科受診。体幹四肢に紅色丘疹多発。エバステン、プレドニゾ ン、ファモチジン、デルモベート軟膏処方。昼から服用開始、痒み軽減 内服終了7日目 体幹四肢の皮疹軽減
		カロナール錠200 (アセトアミノ フェン錠)	経口/錠 (400mg×1) 2015.10～1回	①薬疹 (過敏 2/01皮膚) ②掻痒 (過敏 1/01皮膚)	①11 日 ②11 日	終了		①有/軽 快 ②有/軽 快	①有 ②有	扁桃炎 (喘息性気管支 炎)	
		カルボシステイ ン錠250mg [トー ワ] (カルボシス テイン錠)	経口/錠 (250mg×3) 2015.10～7日	①薬疹 (過敏 2/01皮膚) ②掻痒 (過敏 1/01皮膚)	①11 日 ②11 日	終了		①有/軽 快 ②有/軽 快	①有 ②有	扁桃炎 (喘息性気管支 炎)	
No.2015 0033	50歳～ 59歳 (男)	キュビシン静注用 350mg (ダブトマ イシン注射液)	静注/バイアル (700mg×1) 2015.12～1回	中毒疹増悪 (過敏2/01皮 膚)	1日	中止	プロポフォール、 フェンタニル、ノ ルアドレナリン、 エホチール、ボラ ラミン、フェキシ フェナジン	有/軽快 有	有	蜂か織炎 (糖尿病、高尿 酸血症)	【経過のポイント】 1日目 他院皮膚科で蜂か織炎の治療のため入院。ユナスピン注、ゾシン注、リンタン ジ注、バイコマイシン注投与。 30日目 症状改善したため、自宅退院。オーグメンチン、サワシリン処方。 33日目 発熱、倦怠感出現。体動困難となり、当院に搬入。入院となった。 壊死性筋膜炎疑いでメロペネム注、クリンダマイシン注、バイコマイシン注投与。 34日目 前医でバイコマイシン注による血液毒性疑いあり、バイコマイシン注から キュビシン注へ変更。うっ滞性皮膚炎に対しボララミン注5mg×3開始。人工呼吸器管 理となり、鎮痛に対しフェンタニル注、鎮静に対しプロポフォール注開始。昇圧目的 にエホチール注投与。ノルアドレナリン注開始。 36日目 皮膚悪化傾向のため、抗生剤全て中止。パルス療法3日間開始。ボララミン 内服へ切り替え。 39日目 プレドニゾン注100mg/日開始。人工呼吸器離脱したため、フェンタニル 注、プロポフォール注終了。ノルアドレナリン注終了。 44日目 プレドニゾン80mg内服へ切り替え。 65日目 ボララミン内服からフェキシフェナジン内服へ変更。 66日目 漸減し、プレドニゾン10mg内服へ減量。皮疹はほぼ軽快。 71日目 プレドニゾン内服終了。退院。 【確定試験】DLST:メロペネム (-)、クリンダマイシン (+)、バンコマイシン (±)、キュビシン (-)
		クリンダマイシン 注600mgシリンジ 「タイヨー」 (クリンダマイ シンリン酸エステル キット)	静注/アンブル (600mg×3) 2015.12～3日	中毒疹増悪 (過敏2/01皮 膚)	3日	中止		有/軽快 有	有	蜂か織炎 (糖尿病、高尿 酸血症)	
		塩酸バンコマイシ ン点滴静注用0.5 g「マイラン」 (バンコマイシン 塩酸塩注射液)	静注/バイアル (0.5g×1) 2015.12～1日	中毒疹増悪 (過敏2/01皮 膚)	1日	中止		有/軽快 有	有	蜂か織炎 (糖尿病、高尿 酸血症)	
		メロペネム点滴静 注用0.5g「明 治」 (メロペネム水和 物注射液)	静注/バイアル (0.5×2) 2015.12～3日	中毒疹増悪 (過敏2/01皮 膚)	3日	中止		有/軽快 有	有	蜂か織炎 (糖尿病、高尿 酸血症)	
No.2015 0034	75歳～ 79歳 (男)	ユナスピン静注用 1.5g (スルバクタムナ トリウム・アンピ シリンナトリウム 静注用)	静注/バイアル (3g×3) 2015/9～5日 間	血小板減少 (血液3/10血 液)	5日	中止	ブラビックス75 mg、ワーファリン 2mg、パファリン 配合錠A81mg、カル ベジロール2.5 mg、ニコランマー ト15mg、生理食塩 液、ソルデム3A	有/回復 (20 日)	有	肺炎 (陳旧性心筋梗 塞、陳旧性脳梗 塞、慢性心房細 動、ステント植 え込み状態、気 管支喘息、2型 糖尿病、糖尿病 性網膜症、脂質 異常症、高血圧 症、難治性逆流 性食道炎)	【経過のポイント】 開始157日前 心肺停止で他院へ救急搬送。冠動脈狭窄があり、PCI施行。その後 リハビリ目的で当院へ転院となる。 開始124～106日前 持参処方箋を当院の薬へ変更、(併用薬参照) 血小板15.7万/μL 同日胆のう炎発症、抗生剤使用 (リアソフィン注で開始しカルベニン注へ変更した) その後退院。 開始25～1日前 発熱がつづいたため2回入院 (肺炎および胆のう炎/胆管炎疑い) リア ソフィン注、セフオン注、ユナスピン注 (4.5g/日) を使用した。(ユナスピン開始 時: BUN8.0 CRE0.64 eGFR91 血小板56.8万、退院時31.1万) 開始1日目 発熱で再入院。肺炎として治療開始。ユナスピン注開始 (9g/日)。前回 ユナスピン使用時と比べ腎機能に変化はなかった (BUN8.6 CRE0.58 eGFR101) 開始6日目 (中止1日目) 急激な血小板減少あり。前回入院時使用していたが、被疑薬 としてユナスピン注は中止。血液内科にもコンサルトし、ランソプラゾールも中止と なる。血小板輸血を3日間行う。 血小板 7000 白血球数 4890 Tbil0.7 AST57 ALT31 CK19 BUN6.6 CRE0.61 eGFR96 CRP3.10 中止5日目 発熱続いたためリアソフィン注開始。血小板3.5万/μL 中止8日目 リアソフィンはメロペネムへ変更。13日間使用し、抗生剤終了となる。 中止20日目 血小板17.5万/μL 内服中止29日目 退院。

報告書No	患者	被疑薬名 (成分名)	経路/剤型 (用量) 期間	副作用名 (重症度/ 症状分類)	発現 期間	処置	併用薬	治療 (回復 期間)	添文記載 (文献 報告)	被疑薬使用疾患	経過
No.2015 0035	75歳～ 79歳 (男)	ランソプラゾール OD錠15mg [JG] (ランソプラゾール錠)	経口/錠 (15mg×1) 2015.04～ 163日	血小板減少 (血液3/10血液)	163日	中止	ブラビックス75mg、ワーファリン2mg、バファリン配合錠A81mg、カルベジロール2.5mg、ニコランマー15mg、生理食塩液、ソルデム3A	有/回復 (20日)	有	難治性逆流性食道炎 内服開始34日前 心肺停止で他院へ救急搬送。冠動脈狭窄があり、PCI施行。その後リハビリ目的で当院へ転院となる。 内服開始1～19日目 持参処方箋を当院へ変更、(併用薬参照) 血小板15.7万/μL 同日胆のう炎発症、抗生剤使用(リアソフィン注で開始しカルベニ注へ変更した)その後退院 内服開始100～124日目 発熱が持続ため2回入院(肺炎および胆のう炎/胆管炎疑い) 管支喘息、2型糖尿病、糖尿病性網膜症、脂質異常症、高血圧 内服開始125日目 発熱で再入院。肺炎として治療開始。ユナスピン注開始(9g/日)。 前回ユナスピン使用時と比べ腎機能に変化はなかった(BUN8.6 CRE0.58 eGFR101) 内服開始130日目(中止1日目) 急激な血小板減少あり。前回入院時使用していたが、被疑薬としてユナスピン注は中止。血液内科にもコンサルトし、ランソプラゾールも中止となる。血小板輸血を3日間行う。 血小板 7000 白血球数 4890 Tbil0.7 AST57 ALT31 CK19 BUN6.6 CRE0.61 eGFR96 CRP3.10 内服中止5日目 発熱続ためリアソフィン注開始。血小板3.5万/μL 内服中止8日目 リアソフィンはメロネペムへ変更。13日間使用し、抗生剤終了となる。 内服中止20日目 血小板17.5万/μL 内服中止29日目 退院。	
No.2015 0036	30歳～ 39歳 (女)	ジスロマック錠 250mg (アジスロマイシン水和物錠)	経口/錠 (500mg×1) 2015.9～1回	薬剤性肝炎 (肝臓3/07肝・胆)	半日	中止	アスペリン錠20mg 3T3X、カルボシステイン錠500mg [トローワ]3T3X、ロキソプロフェン錠60mg [日医工] 3T3X (ジヒドロコデインリン酸塩散1%1g1X)	有/回復 (28日)	有	上気道炎 【経過のポイント】 定期通院・定期内服薬は特になし。 開始1日目(中止1日目) 咳および鼻水症状が強く、他院耳鼻咽喉科受診。被疑薬、併用薬で処方あり。帰宅後(お昼頃)、耳鼻科医師より指示があり、夜服用分(1日目)のジスロマック錠250mg2錠をお昼に服用、毎食後の薬3種類(アスペリン、カルボシステイン、ロキソプロフェン)も服用した。服用数時間後、発汗が目立つがそのまま休息した。夕方、毎食後の薬3種類(アスペリン、カルボシステイン、ロキソプロフェン)を服用したが、発汗のほか息苦しさ、咳、立ちくらみを自覚。その後下痢・心腔部痛・意識状態低下したため救急搬送。ブチルミン20mg+生食100mL、シデム3A500mL点滴投与。当院で診察、検査で軽度肝機能障害 肝腫大 胆嚢周囲浮腫あり 急性肝炎疑いでそのまま入院となる。ジヒドロコデインは一度も使用していない。入院時AST65 ALT37 γ-GT 30 ALP161 中止1日目 咽頭痛などありセチルピリジニウム、マズレニン処方。食事再開したため補液は終了。血圧102/67 脈拍 71 体温 36.8度 AST 427 ALT 408 Tbil0.5 LD421 γ-GT 78 ALP195 AMY 35 CK33 CRP 3.48と AST、ALT上昇 WBC7590 Eos0.0% Lym8.7% Neut86.4% 院内HCV抗体(-)、院内HBs抗原(-)、HBe抗原(-)、CMV/M/El CMV/M/ 0.56: (-)、HA-IgM抗体 0.12: (-)、EBV/VCA-IgG 320、EBV/VCA-IgM10未満、EBV/EBNA 320 中止2日目 AST 123 ALT 247 Tbil0.5 γ-GT 63 ALP164 中止5日目 AST 20 ALT 81 Tbil0.6 γ-GT 78 CRP 0.23 WBC3620 Eos1.7% Lym37.3% Neut52.2%。全身状態改善のため退院。 中止28日目 退院後のフォロー目的で外来受診。体調悪化などはなし。AST16 ALT10	

